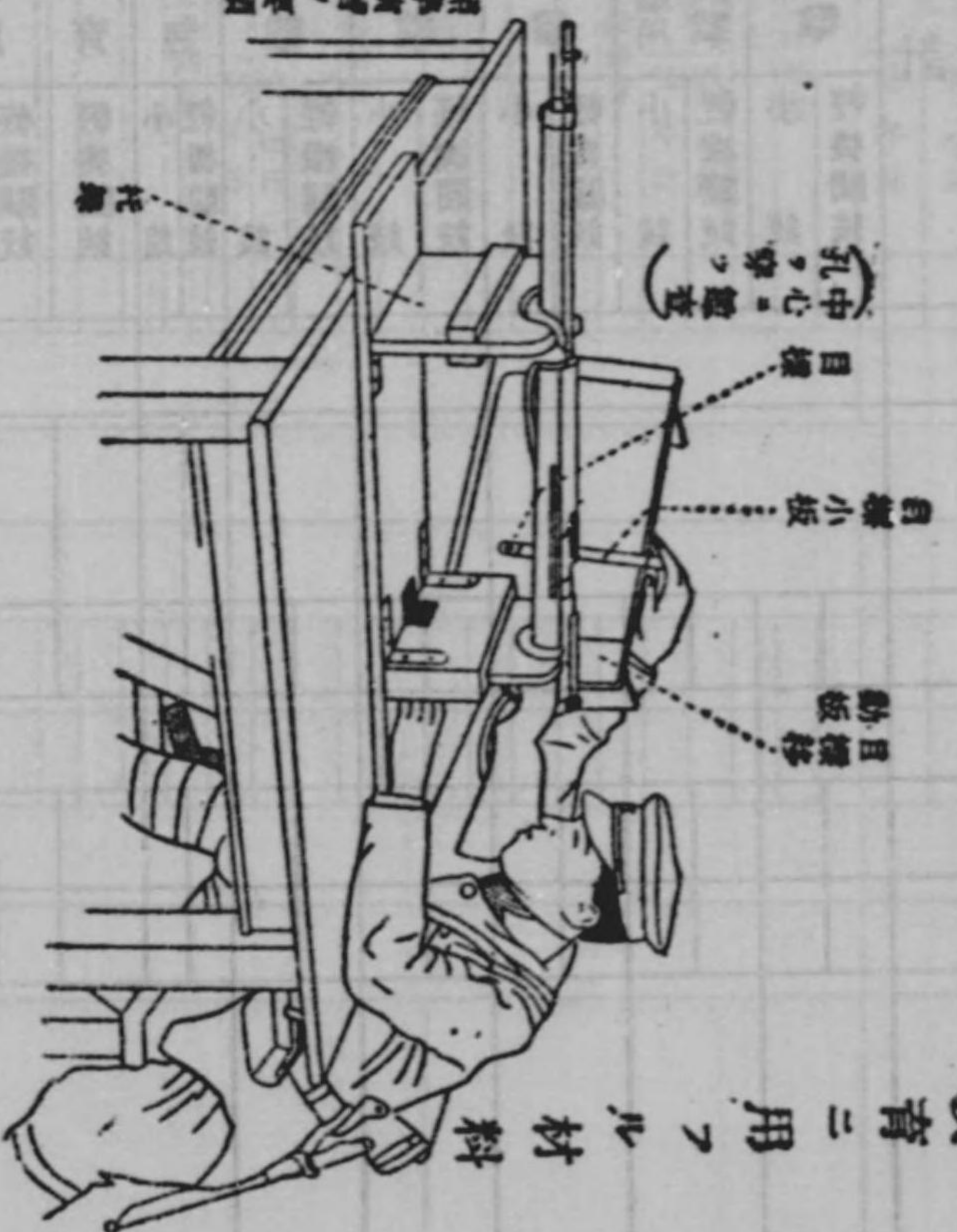


附圖

其準照

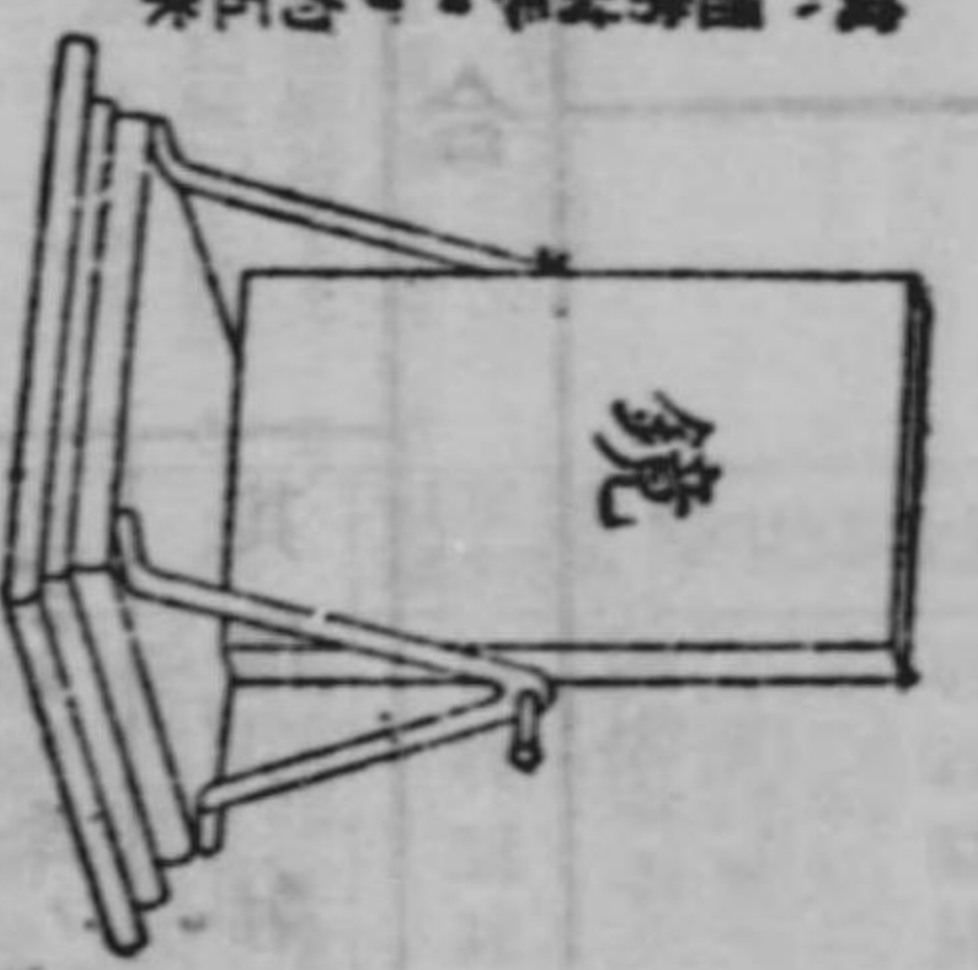
照準ノ教育ニ用ル材料



照準演習ノ要領

- 一 先ノ尺ヲ托架上ニ托シ鏡面上ノ某一點ヲ照準線ヲ導ク
- 一 次ニ目鏡小板ヲ移動シテ鏡面上ニ映ル四小板ノ目鏡後ノ下際ヲ先ニ導ク
- 一 照準演習ト同ク操作ス依リ照準線板上ノ目鏡ノ下際ヲ導ク
- 一 移動板トトシテ約五米ノ距離ニ置ク

第五十一ノ要領ニ依リ照準ノ構造ニ



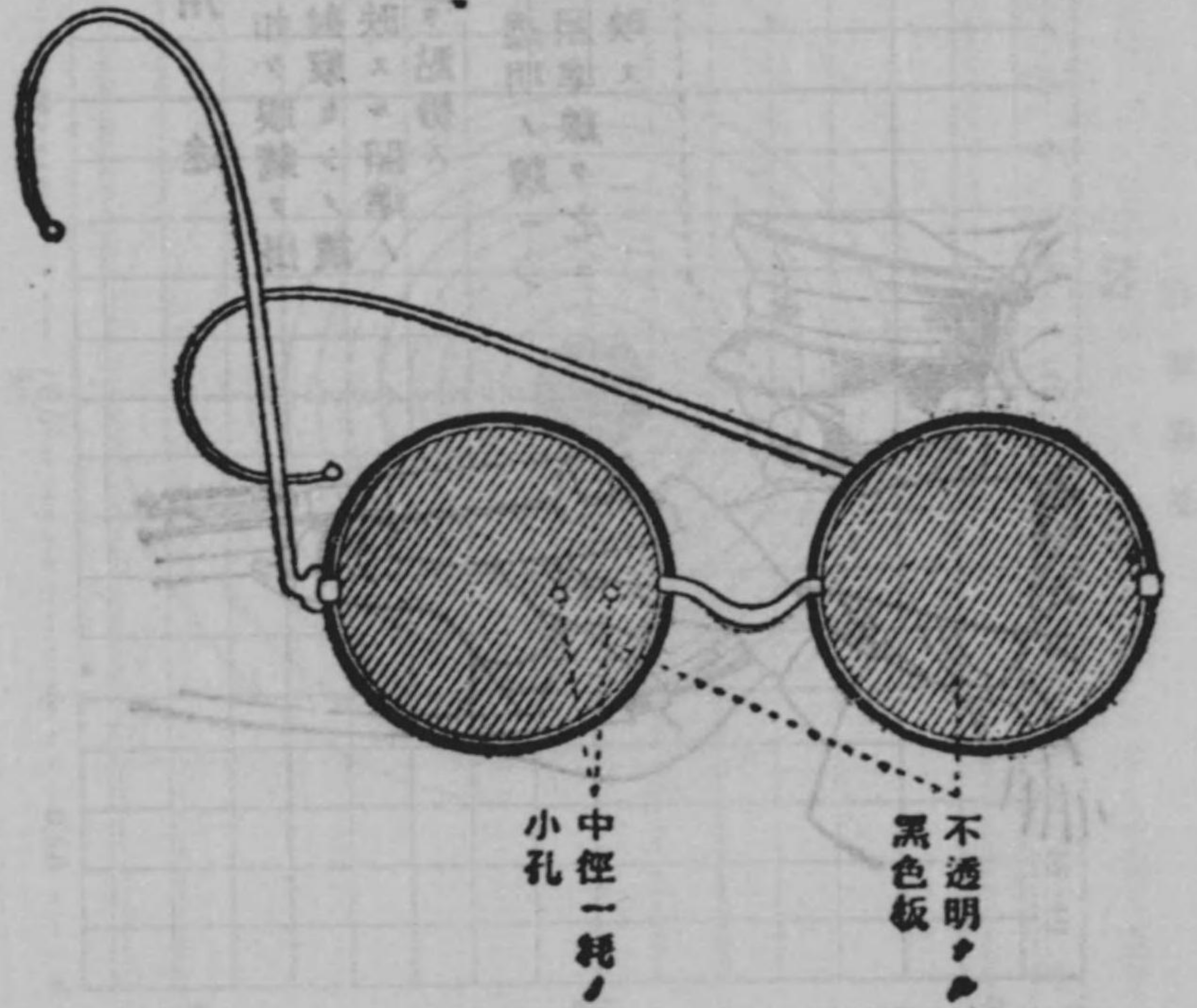
鏡ハ通常対手ニ約五米ノ距離ニ置ク

用途

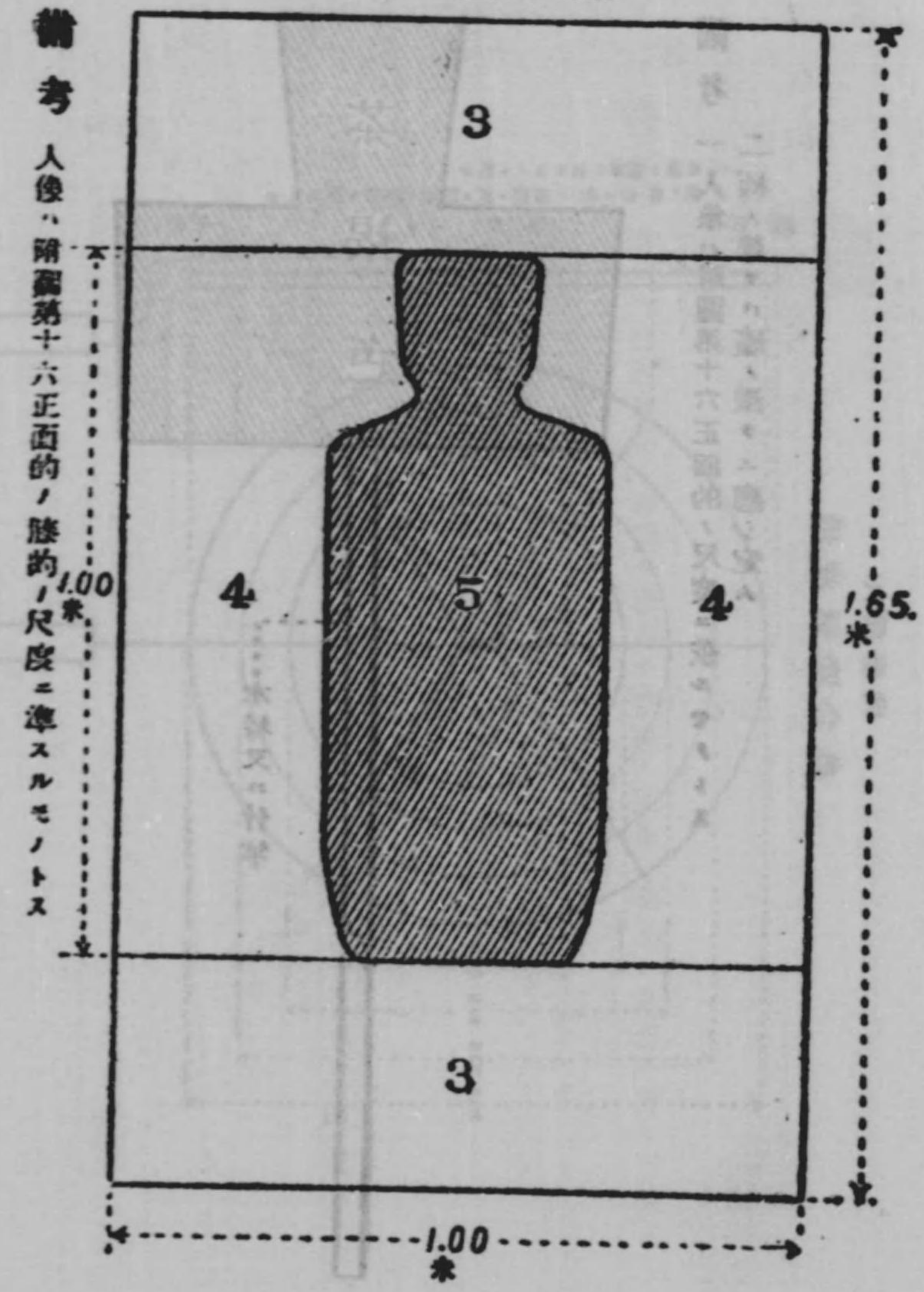
照準ノ點檢及
命中試驗等ニ
用フ

照準
使用法

射撃姿勢ノ種類ニ依リ二箇ノ孔ノ内何レカノ一孔ヲ通シテ照準ス若シ二箇ノ孔トモ眼ニ合ハサルトキハ黑色板ヲ超ハシテ孔ノ位置ヲ移動ス

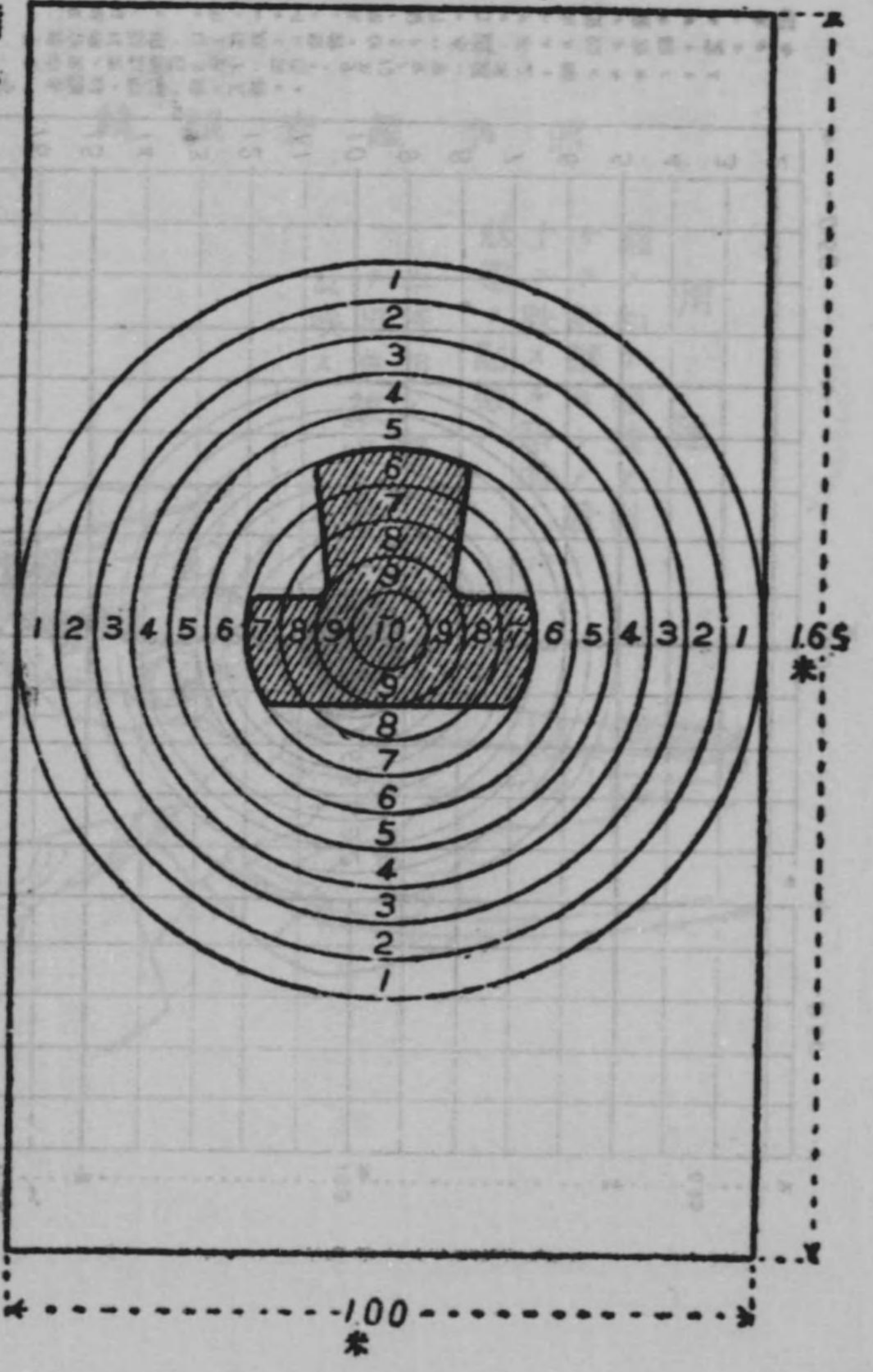


第五圖
人的(畫)膝

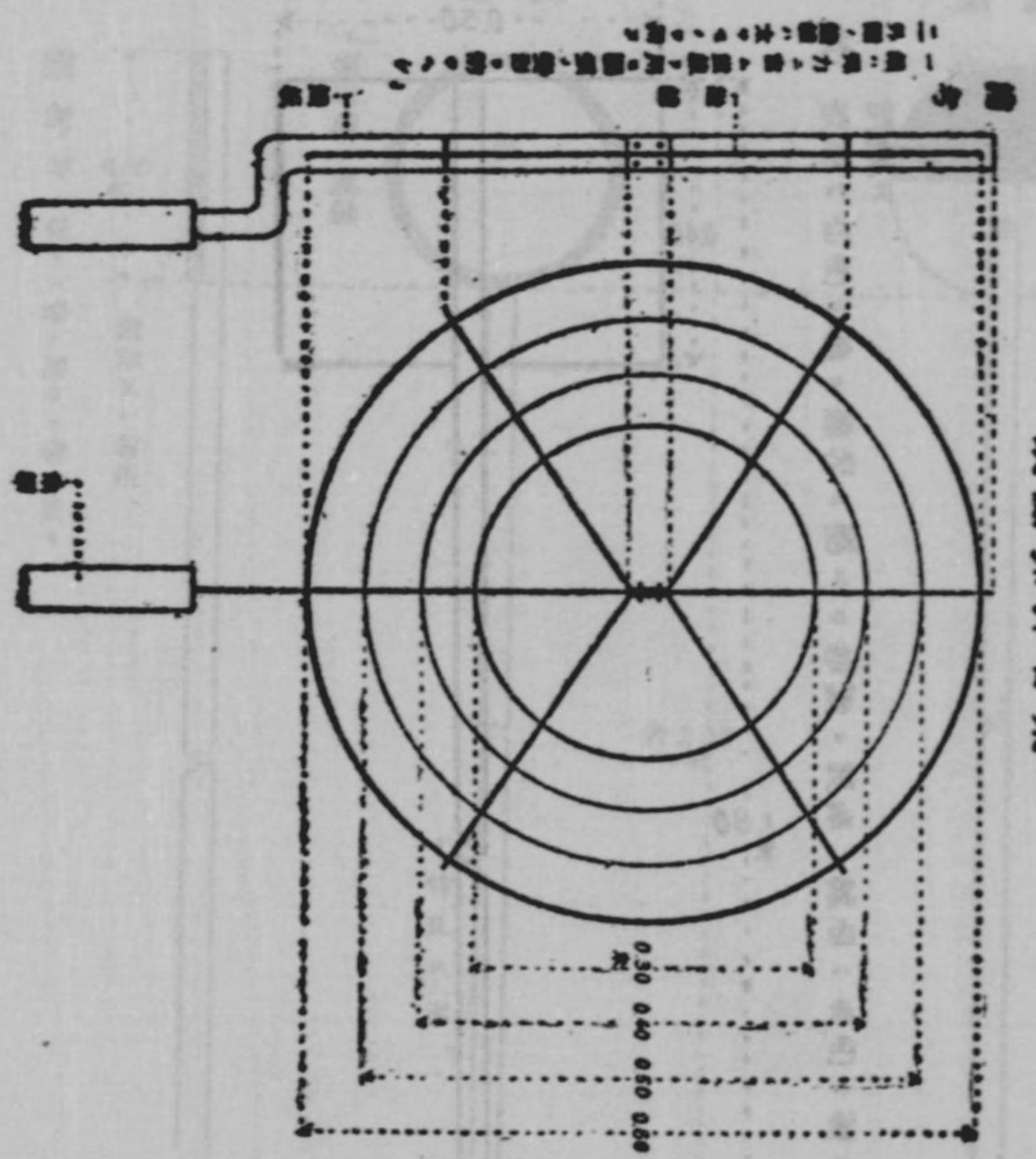


備考 人像、附圖第十六正面的ノ膝的ノ尺度ニ準スルモノトス

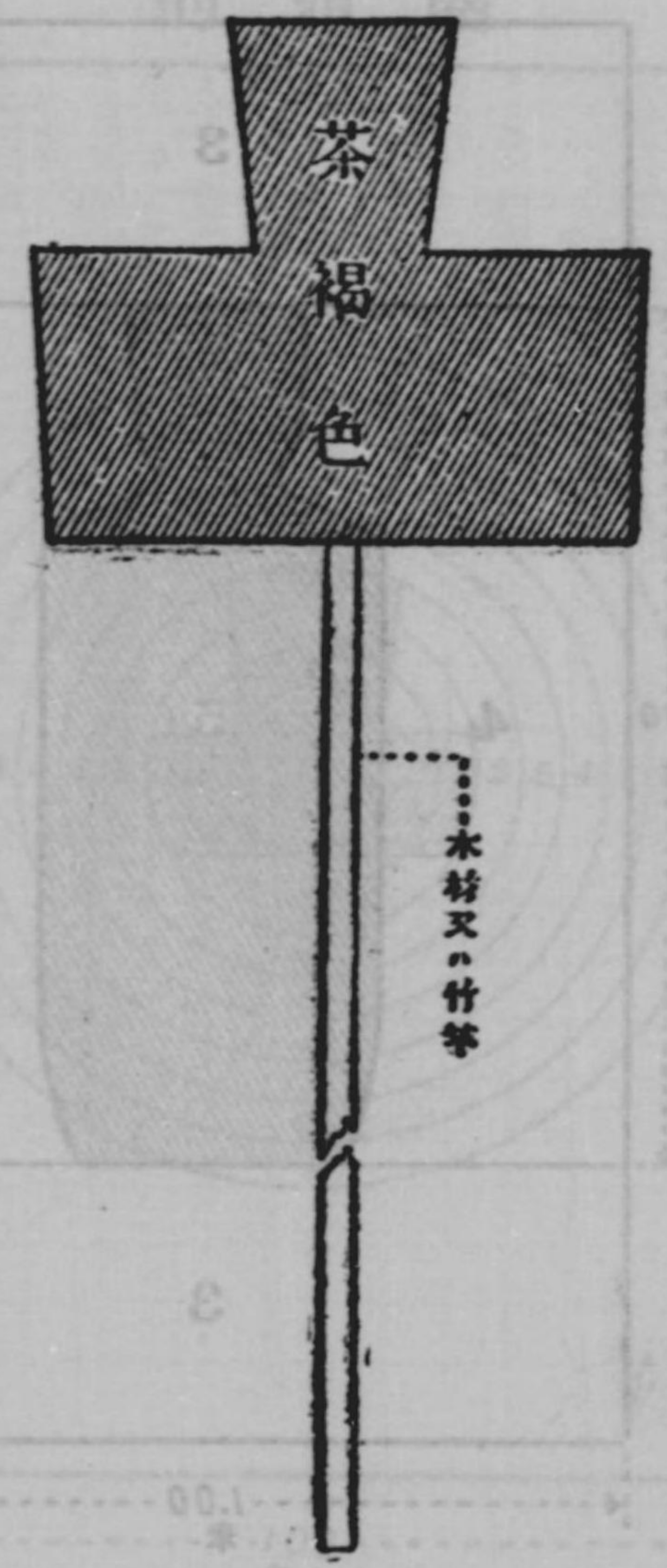
附圖第三
的頭圈



備考 一人像ハ種角ヲ除キタル茶褐色ヘ時宜ニ依リ黑色ヲ用アルコトヲ得以下同シ
一頭のヨシチ厚紙等ノ以テ製作シ圖的ニ附スルモノトス
二黒合線探點儀ヲ以テ探點スル習會ニ在リテハ附圖第二ニ準シ方眼ヲ畫キタル
ニ米幅員ノヒノツ用アルヲ可トス

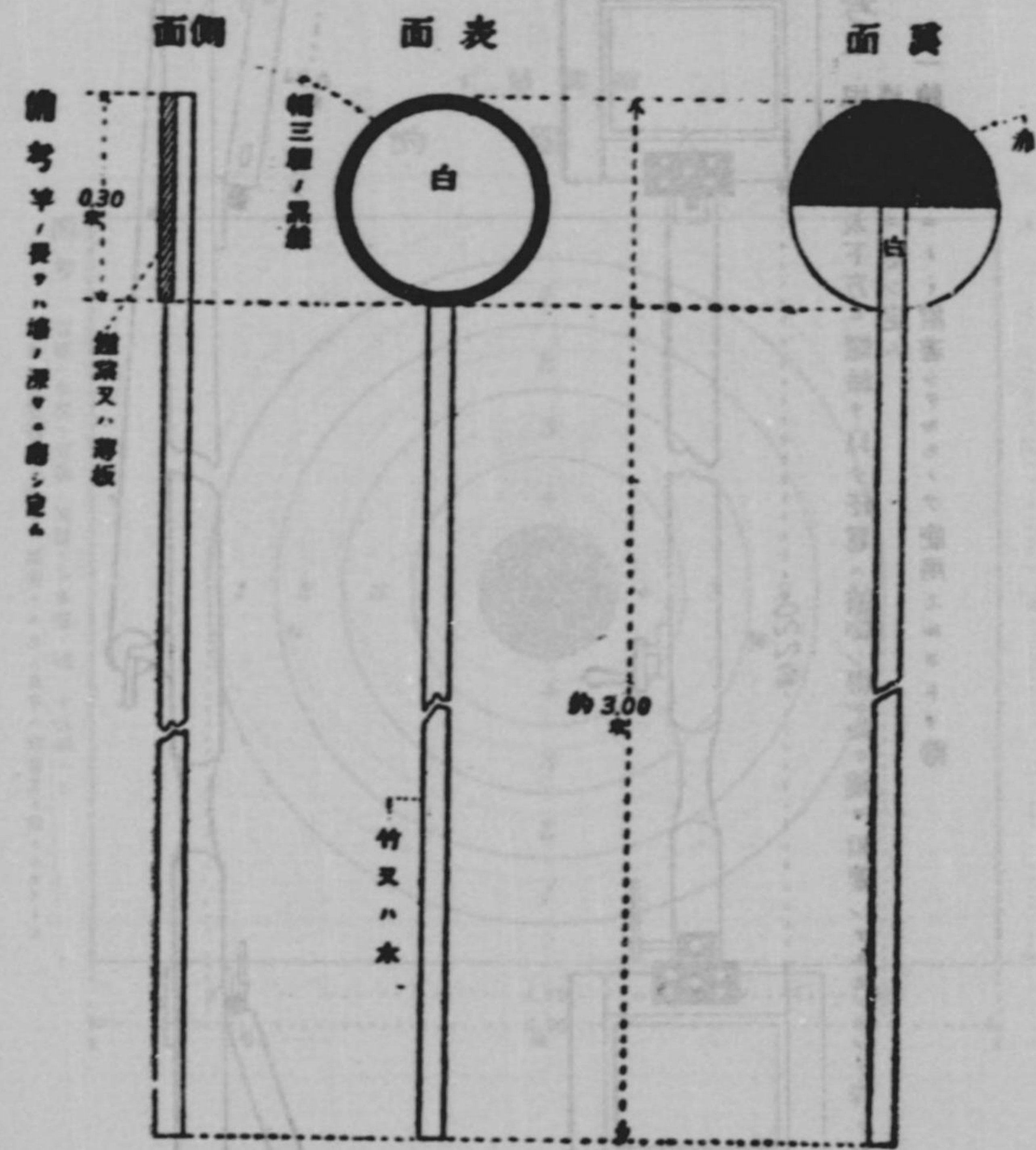


附圖第五
 人像的(伏)刻

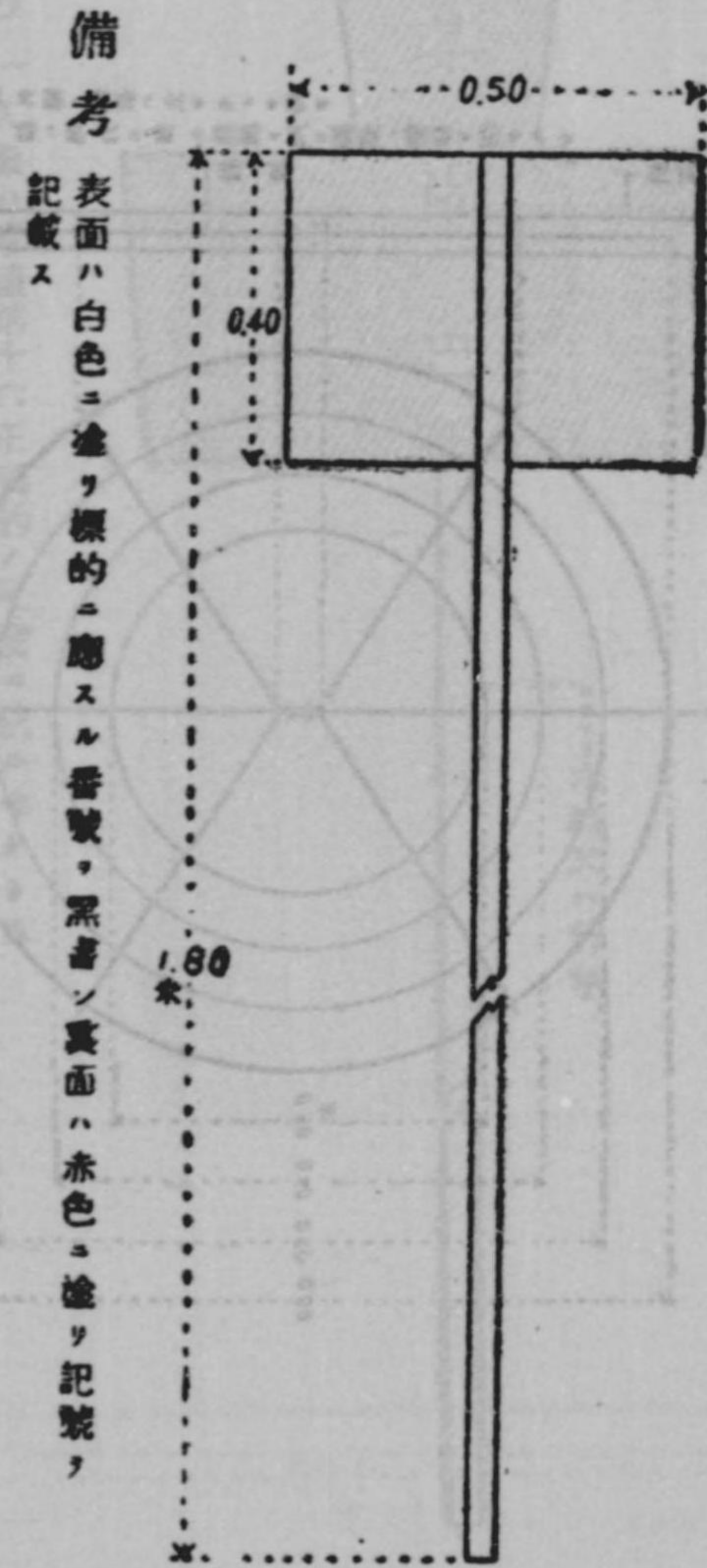


備考 一人像ハ附圖第十六正面的ノ尺度ニ依ルベシ
 二柄ノ長サハ腹ノ深サニ應シ定ム

示點竿



附圖第七
記號板



一 十 第 圖 附
的 頭 圖 大

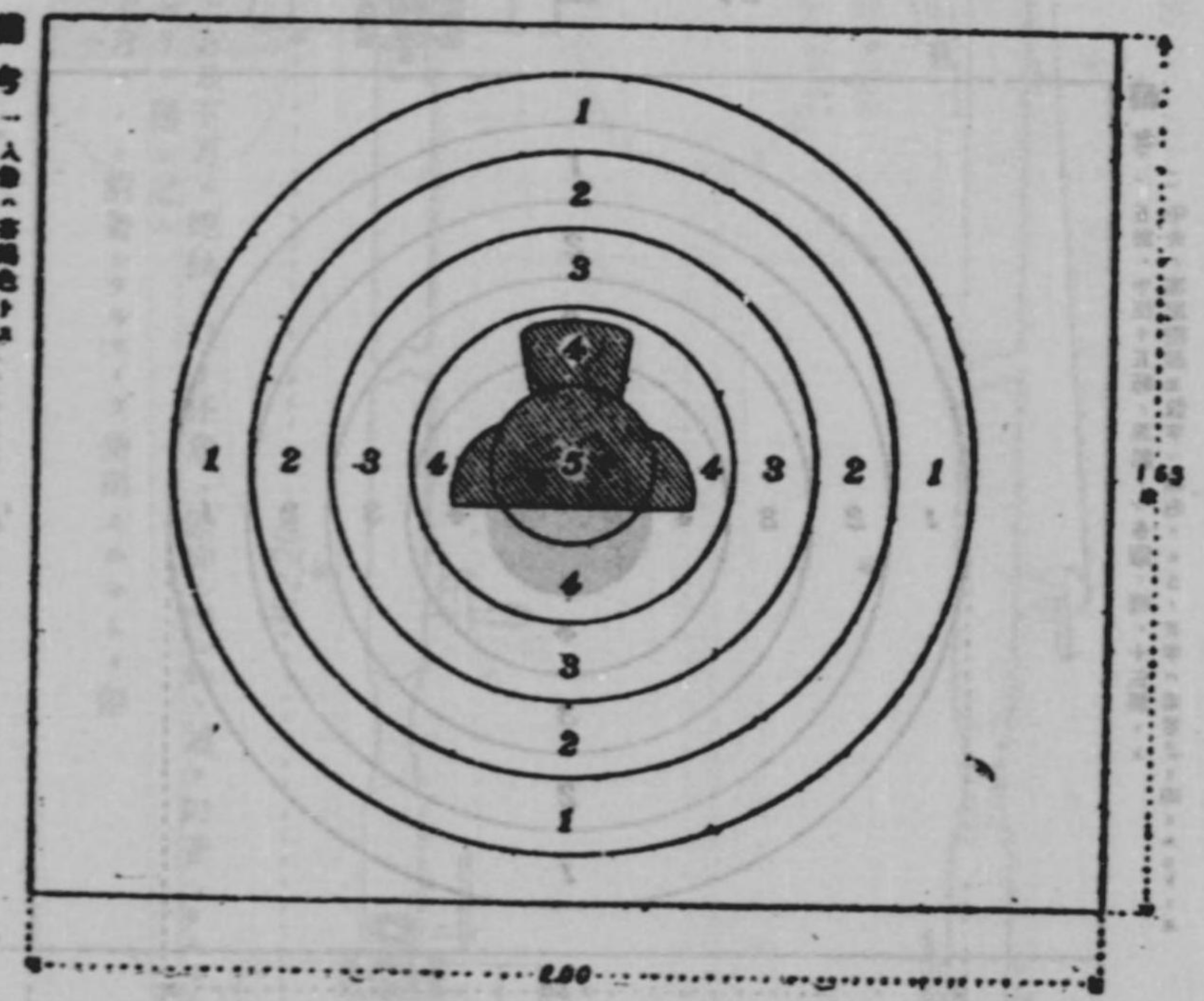
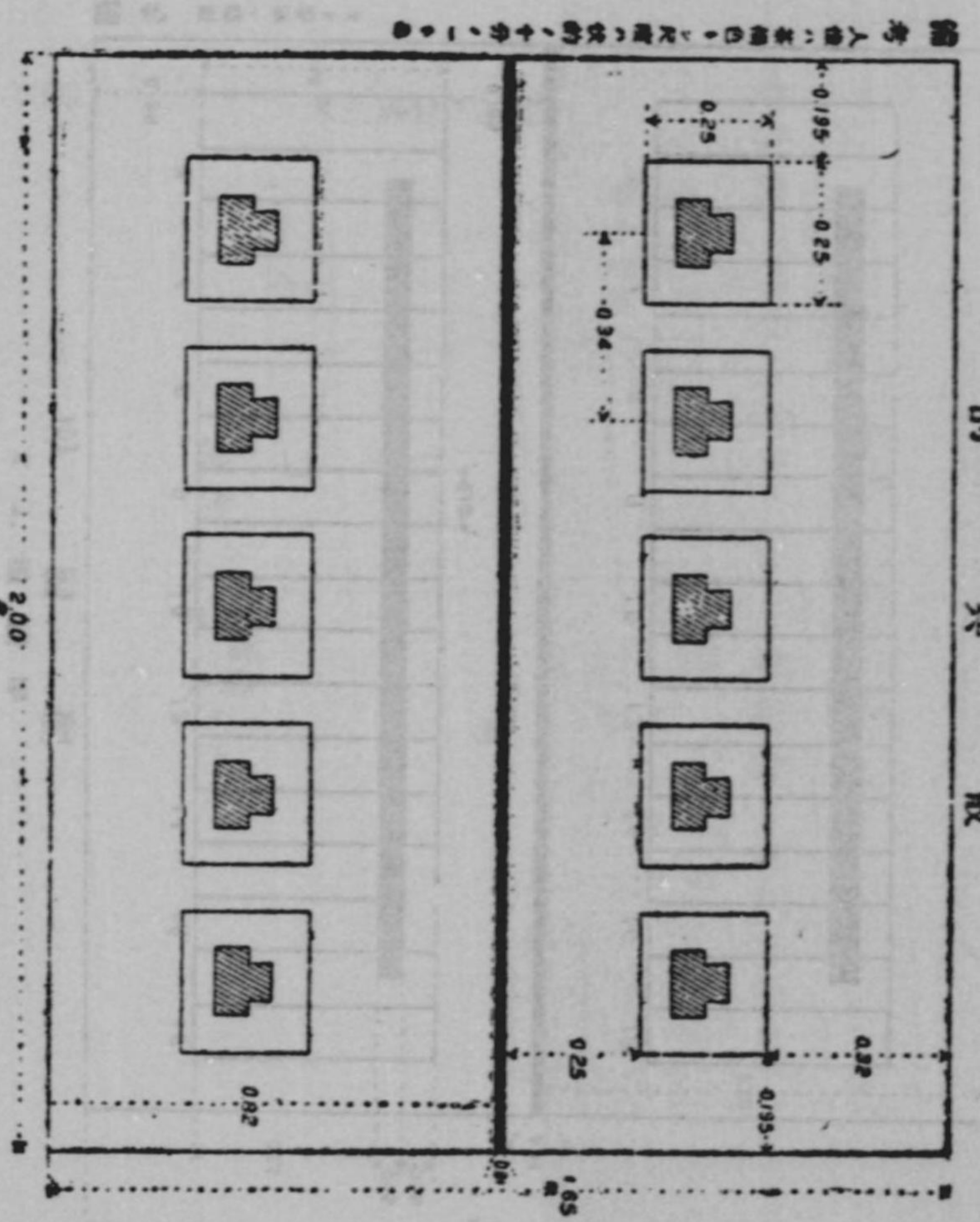


圖 考 一 人 物 一 客 體 色 十 五
其 他 客 體 大 圖 考 一 人 物



的 二十第圖附 散

圖 考 人 物 一 客 體 色 十 五
其 他 客 體 大 圖 考 一 人 物

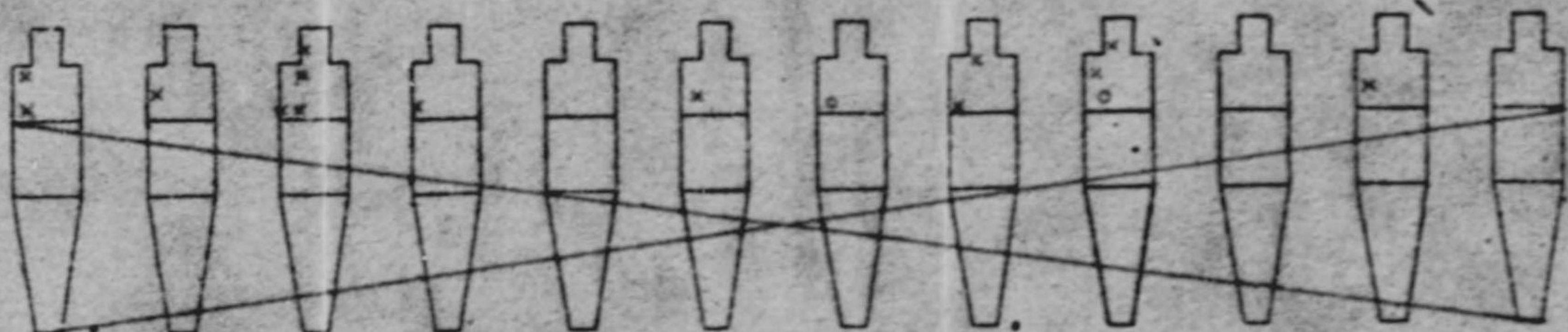
五 十 第 圖 附

圖 痕 彈 擊 射 關 戰

米3 隔間 12 數員 類種的標回2第的1第擊射關戰隊小

日五十月四

登記者 太田上等兵



命 命
中 中
的 的
數 數
〇 X 〇 X
- 八 二 四

備考

〇 X 〇 X
〇 X 〇 X
〇 X 〇 X
〇 X 〇 X

日 月
回 第的 第

日 月
回 第的 第

日 月
回 第的 第

日五十月四
回 2 第的 2 第

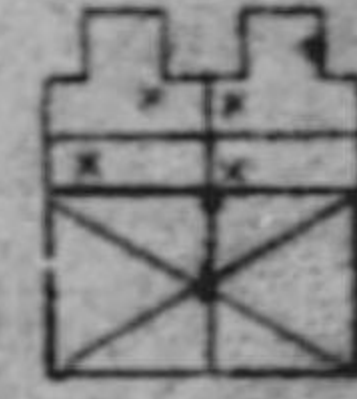
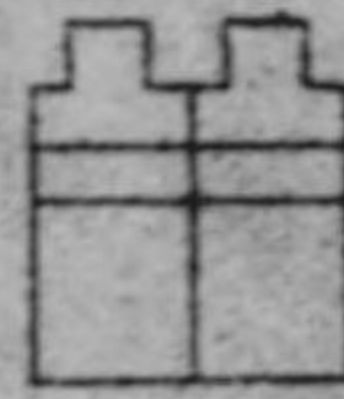
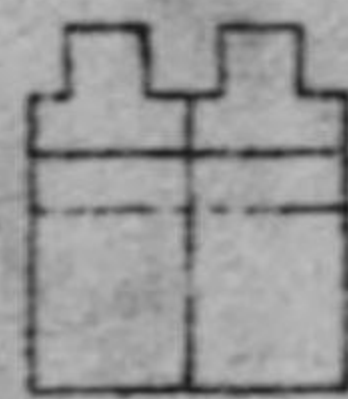
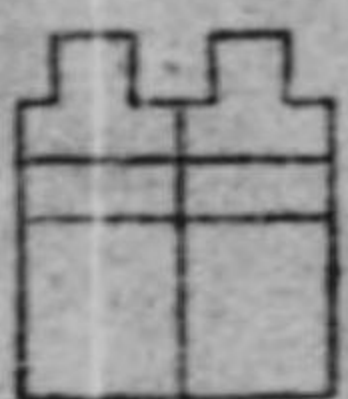
登記者 山川上等兵

〇 X

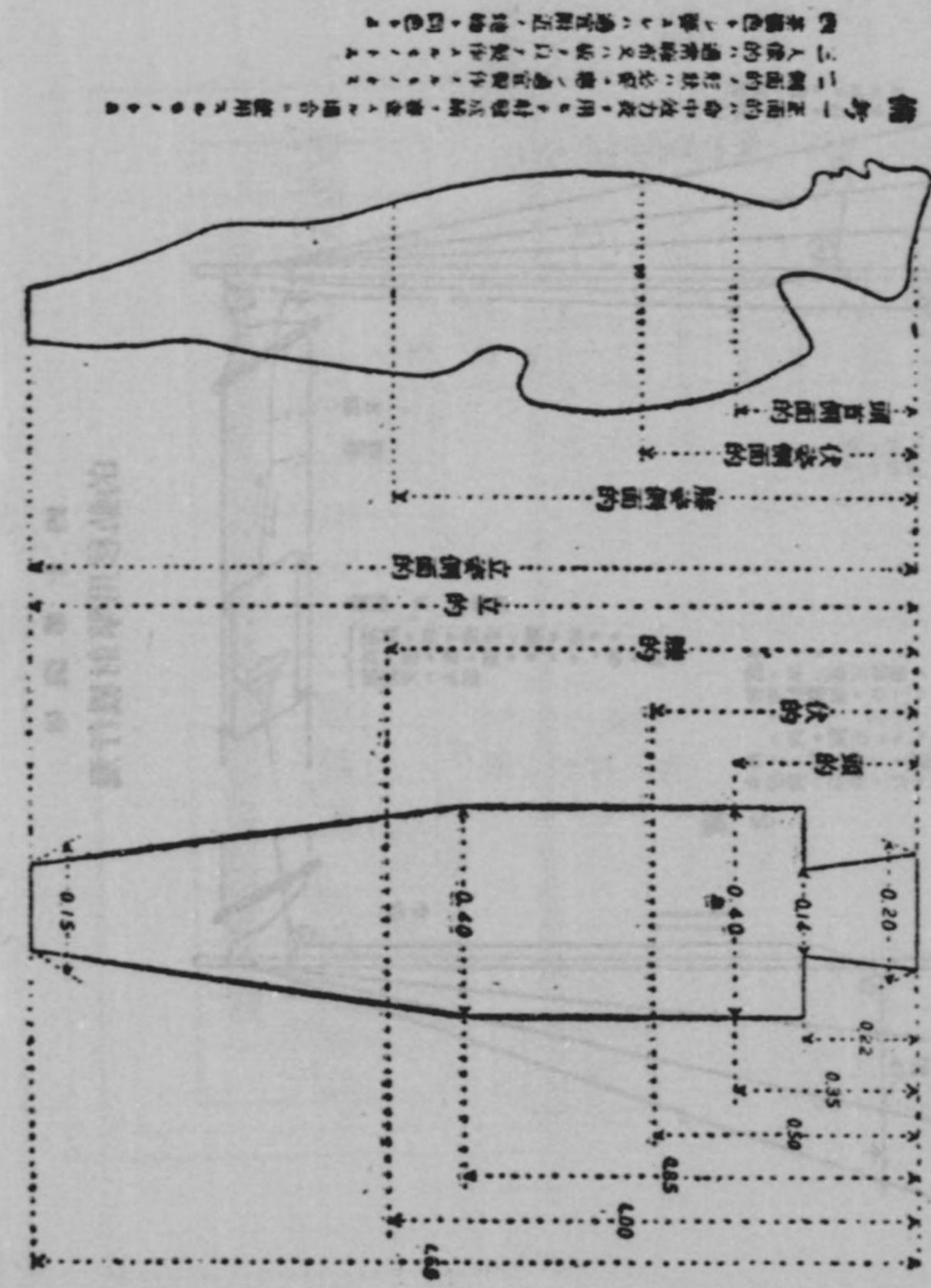
〇 X

〇 X

〇 X

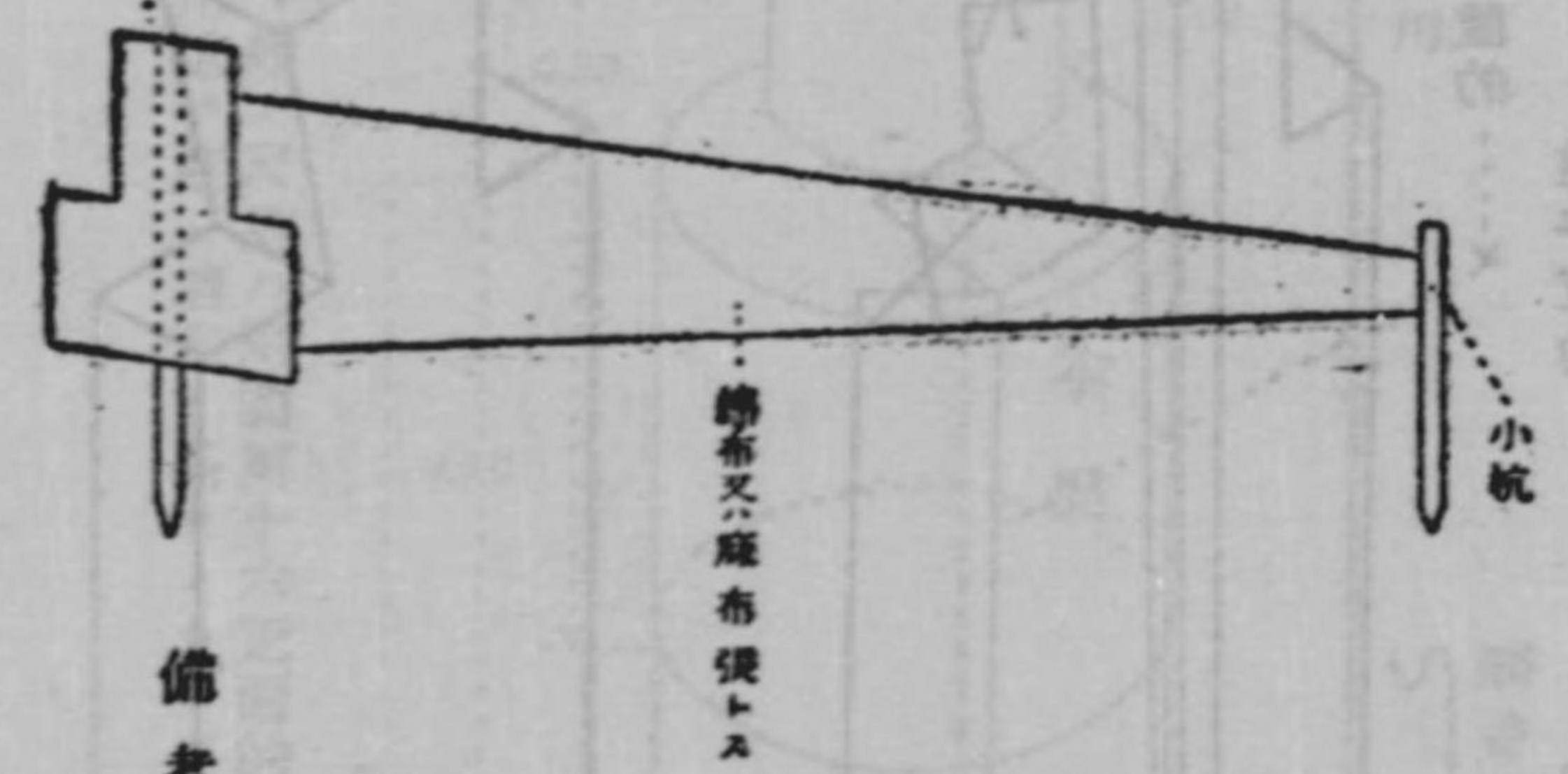


第六十圖 人的面側像

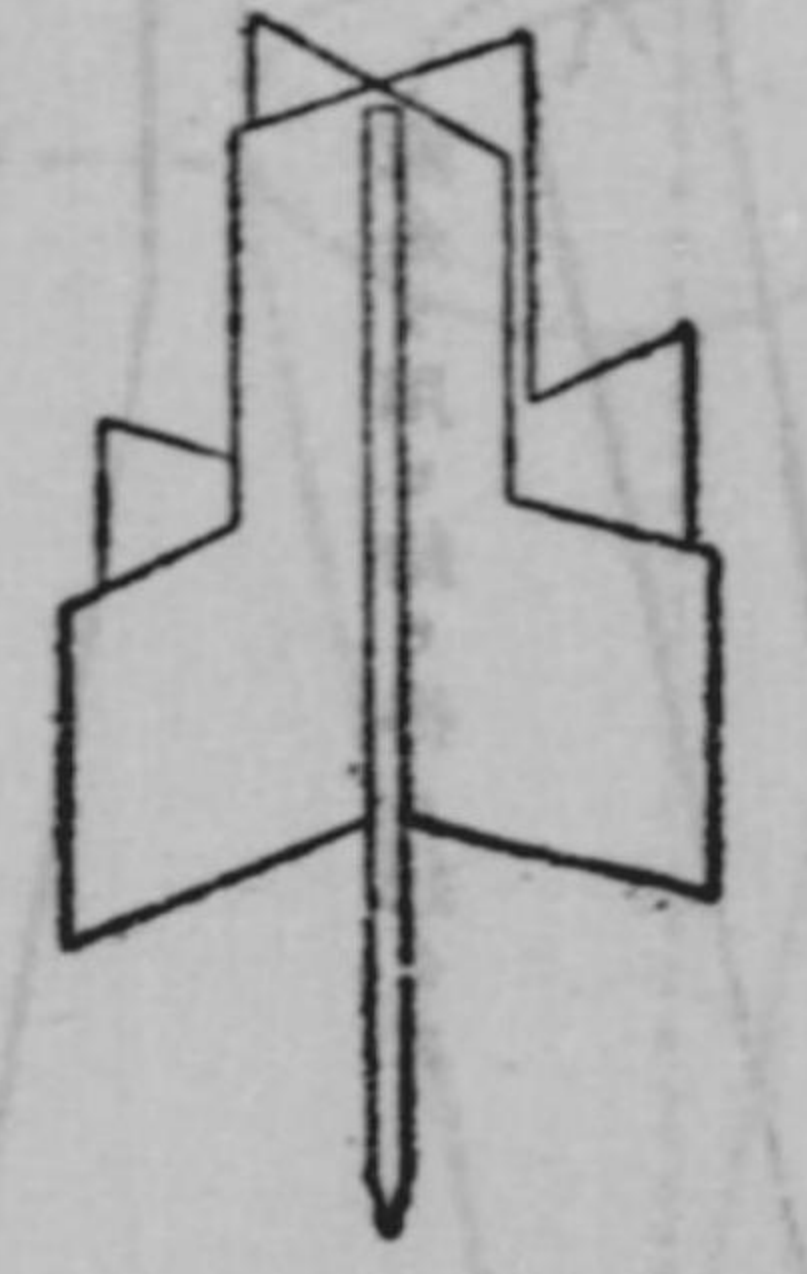


例方又ハ斜方向ニ射撃スヘキ標的ハ附圖第十七ノ如キ丁字の十字の
又ハ附圖第十八ノ如キ立體的ヲ用フ

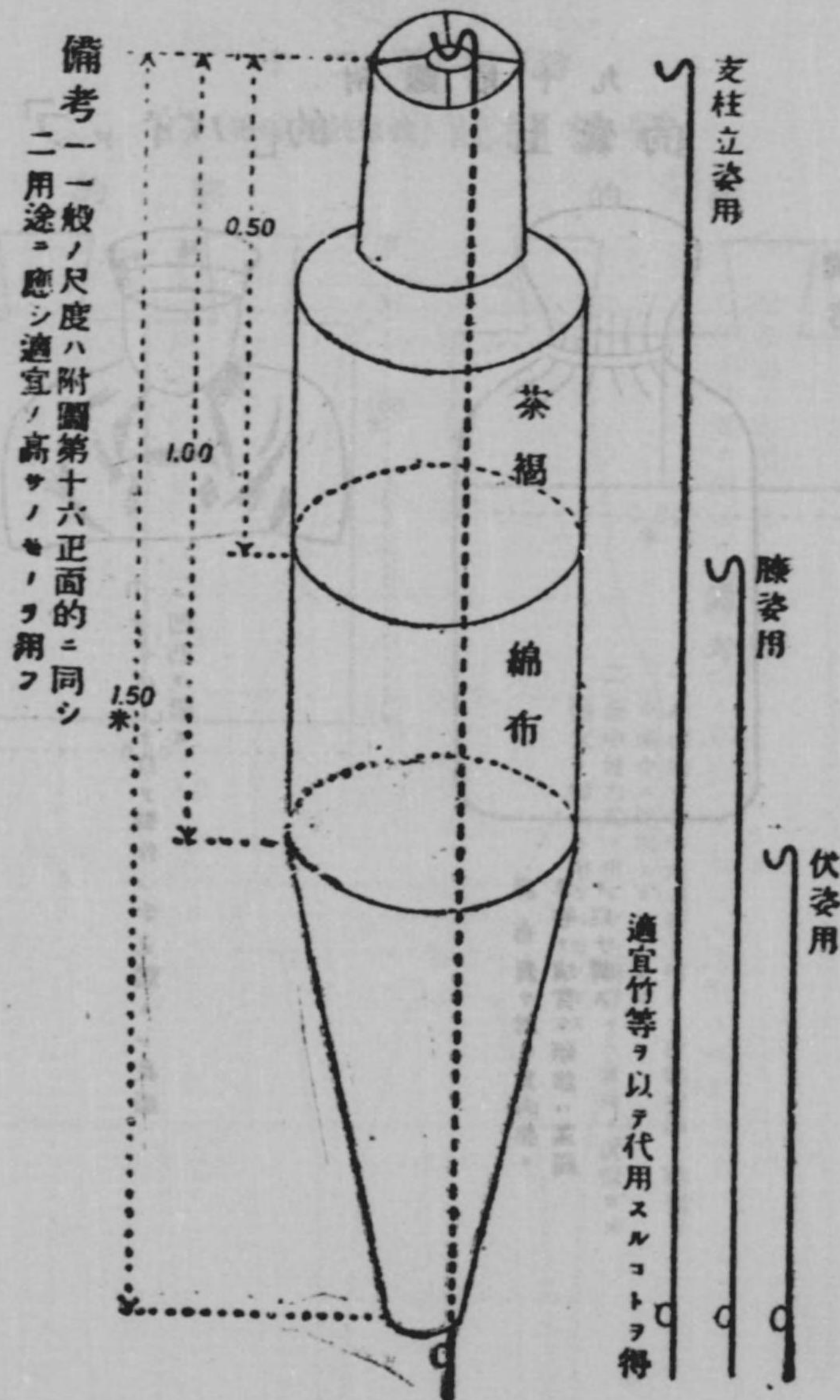
第七十圖 附圖 的 字 丁



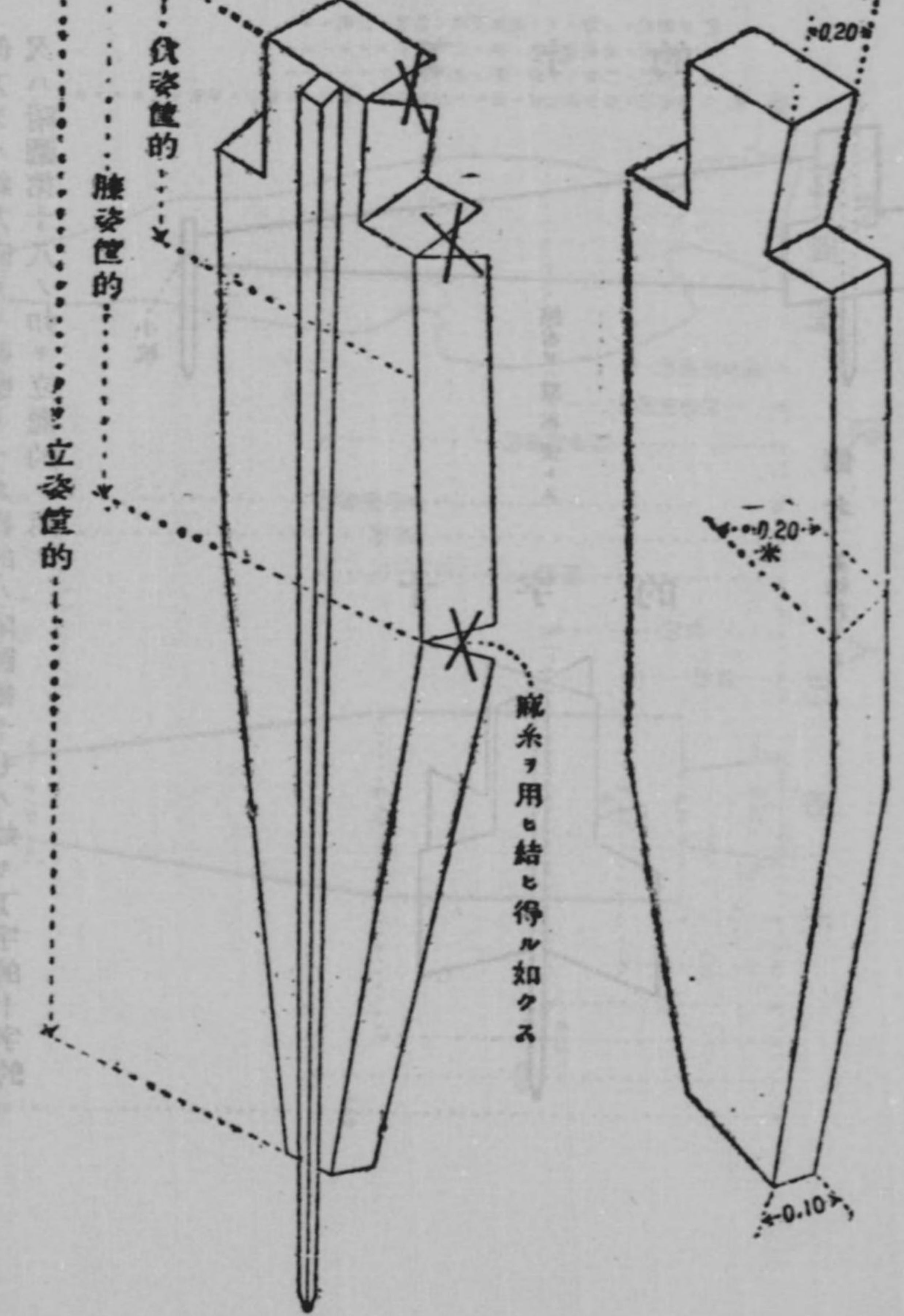
的 字 十



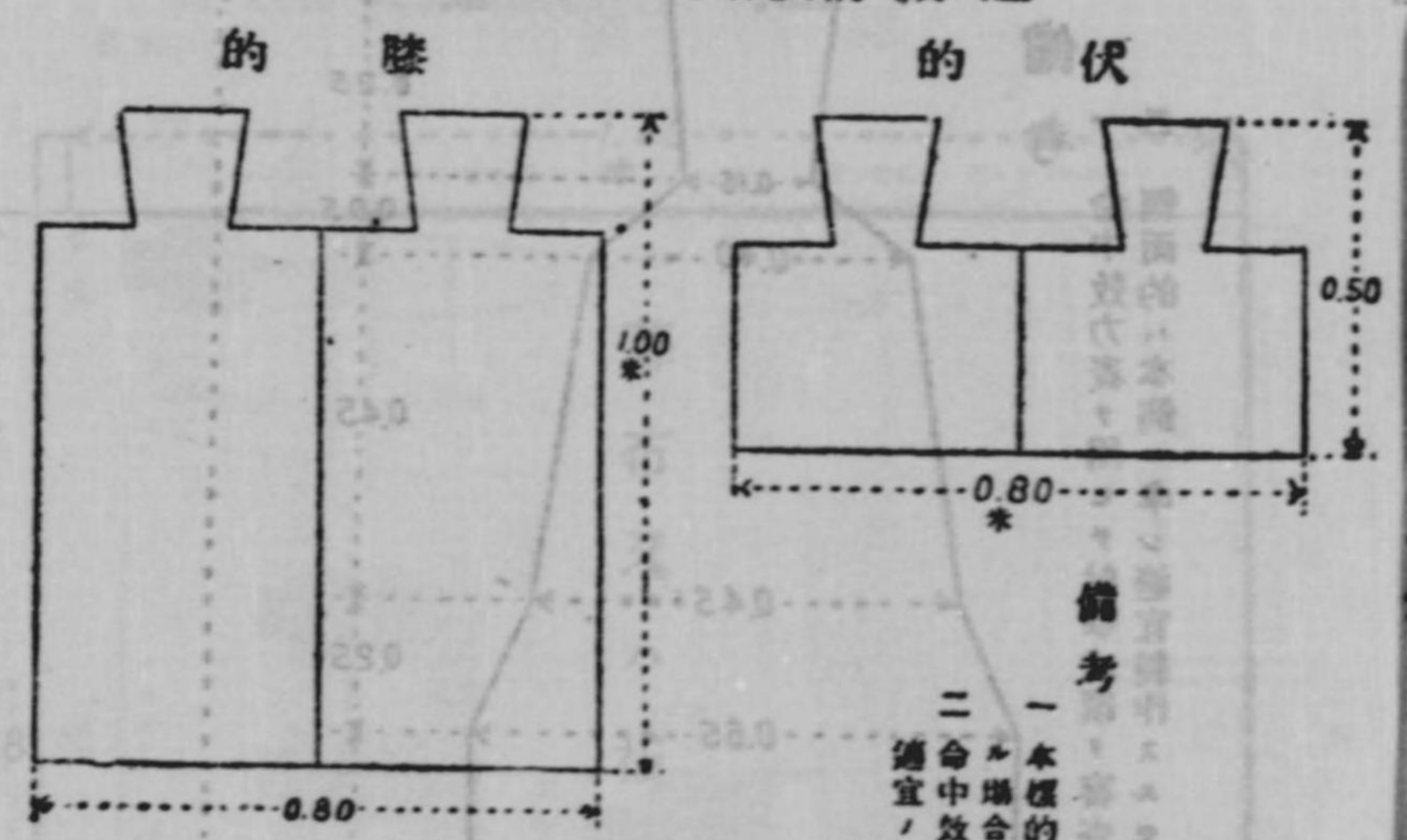
的幕體立



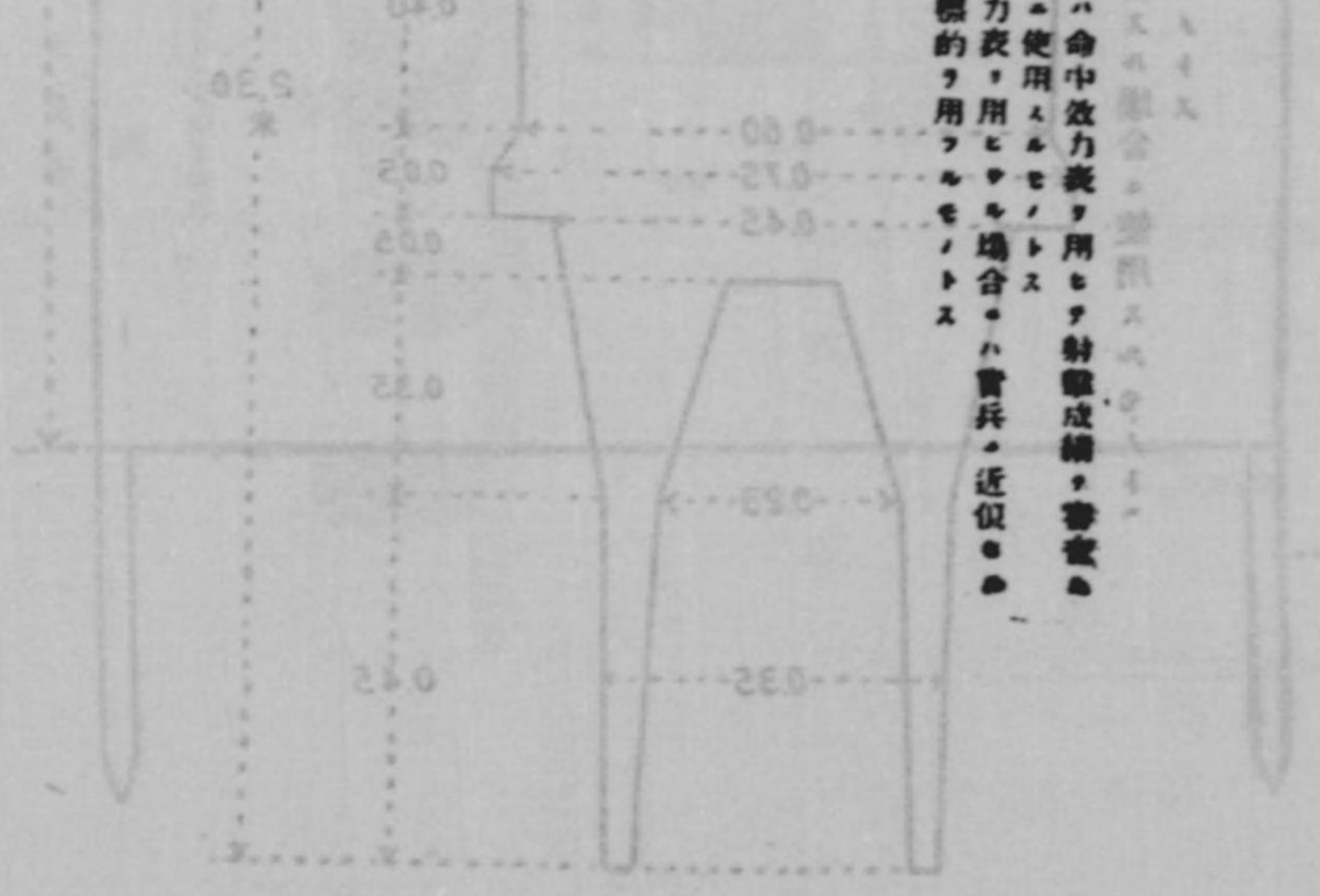
八、十 第圖附
 的體 立
 的筐紙 的筐板



第十二圖附
的 (砲兵步銃關機) 銃關機輕



備考
一 本機のハ命中效力表ヲ用ヒテ射撃成績ヲ審査スル場合ニ使用スルセトス
二 命中效力表ヲ用ヒテ射撃成績ヲ審査スル場合ハ官兵ノ近位ニ適宜ノ標的ヲ用ラセトス



九十第圖附
的 囊土 的「パイア」

備考
直立ノ爲メハ適宜ノ統又ハ縫線ヲ用フ

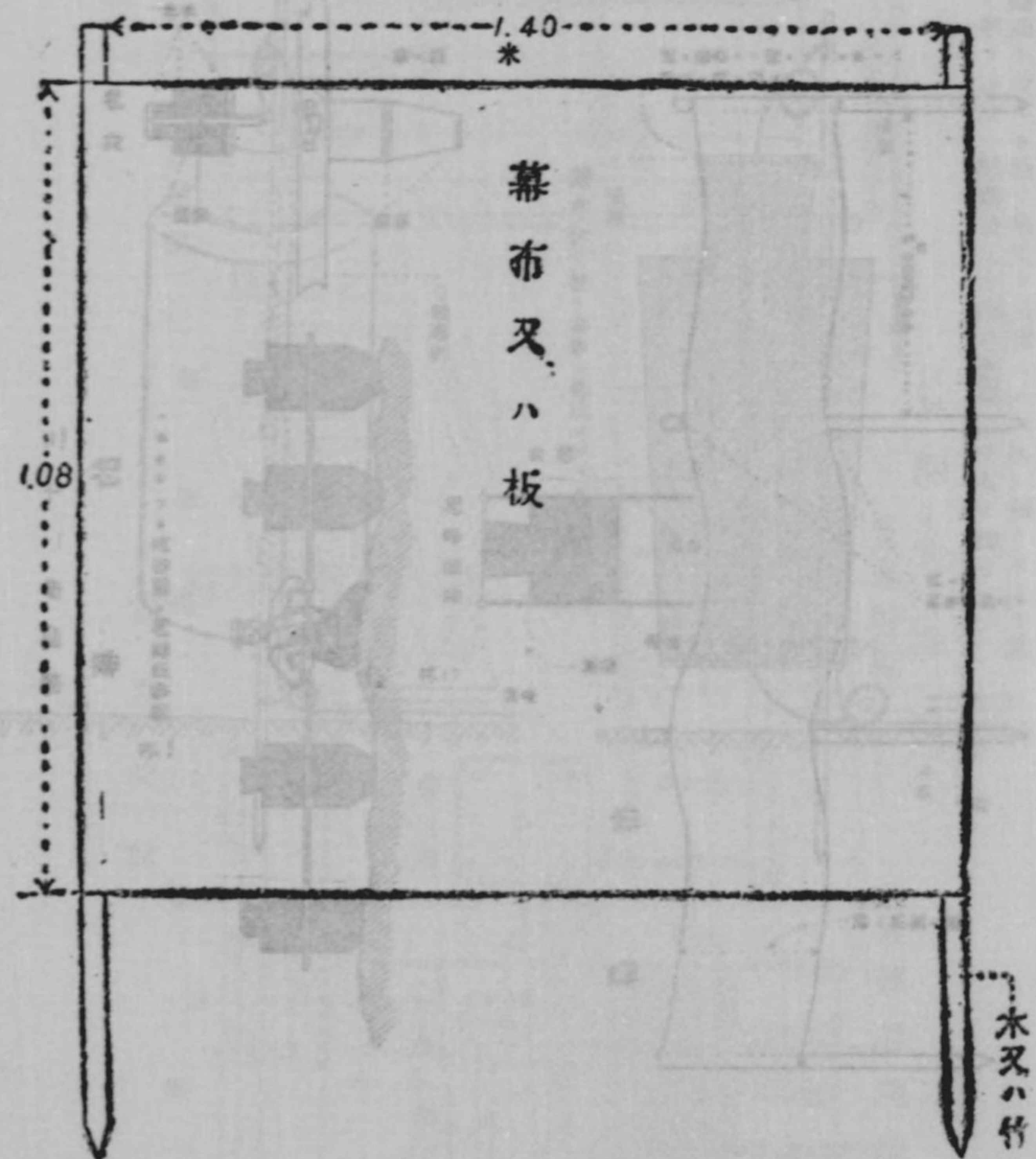


「パイア」ヲ以テ製作ノ半立體トシ表面ニ凹凸ヲ附ス

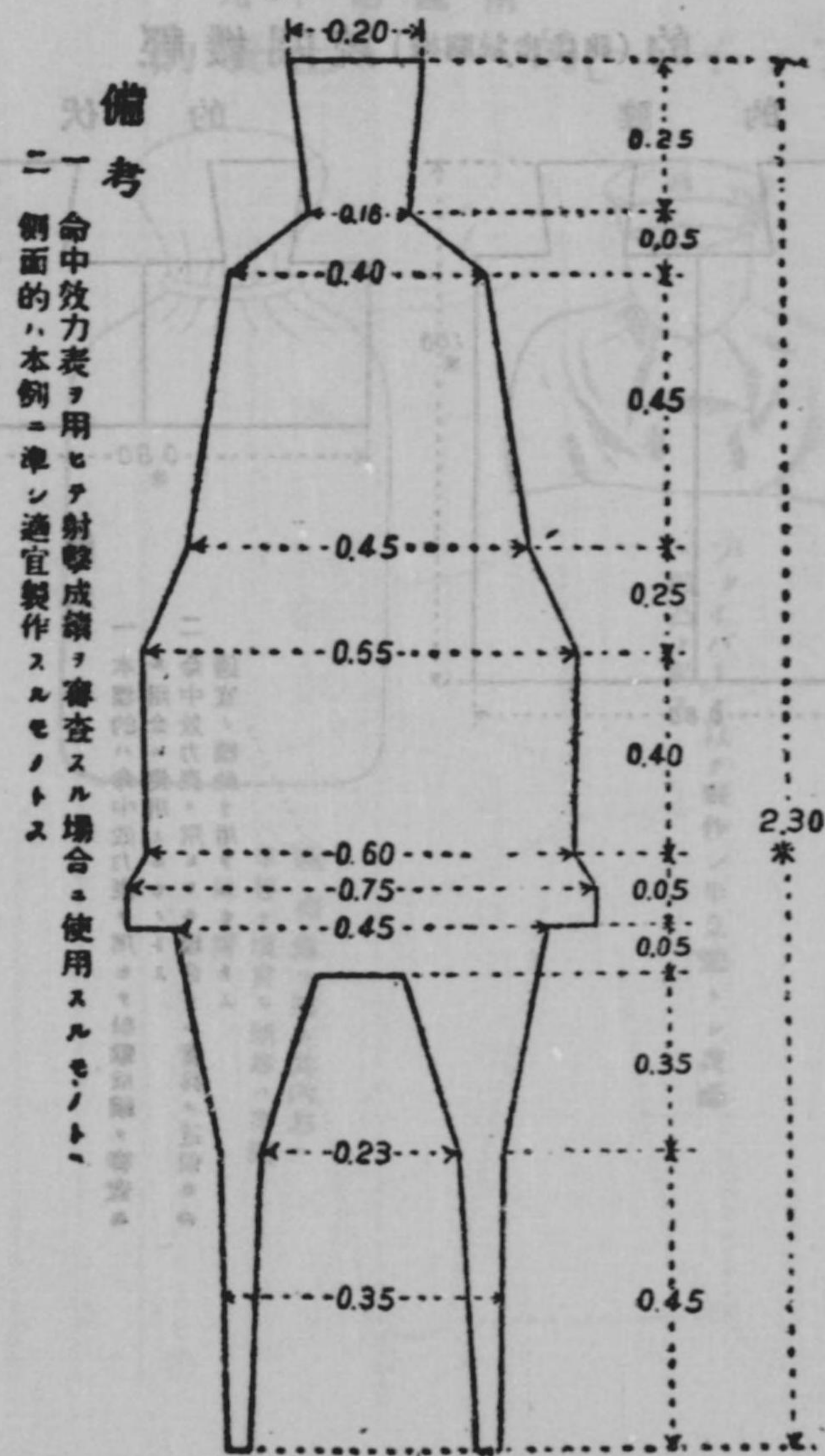
麻布製ヲ用ヒ其内部ニ草等ヲ填寫シ頭部ハ蓋ヲ以テ縛ス

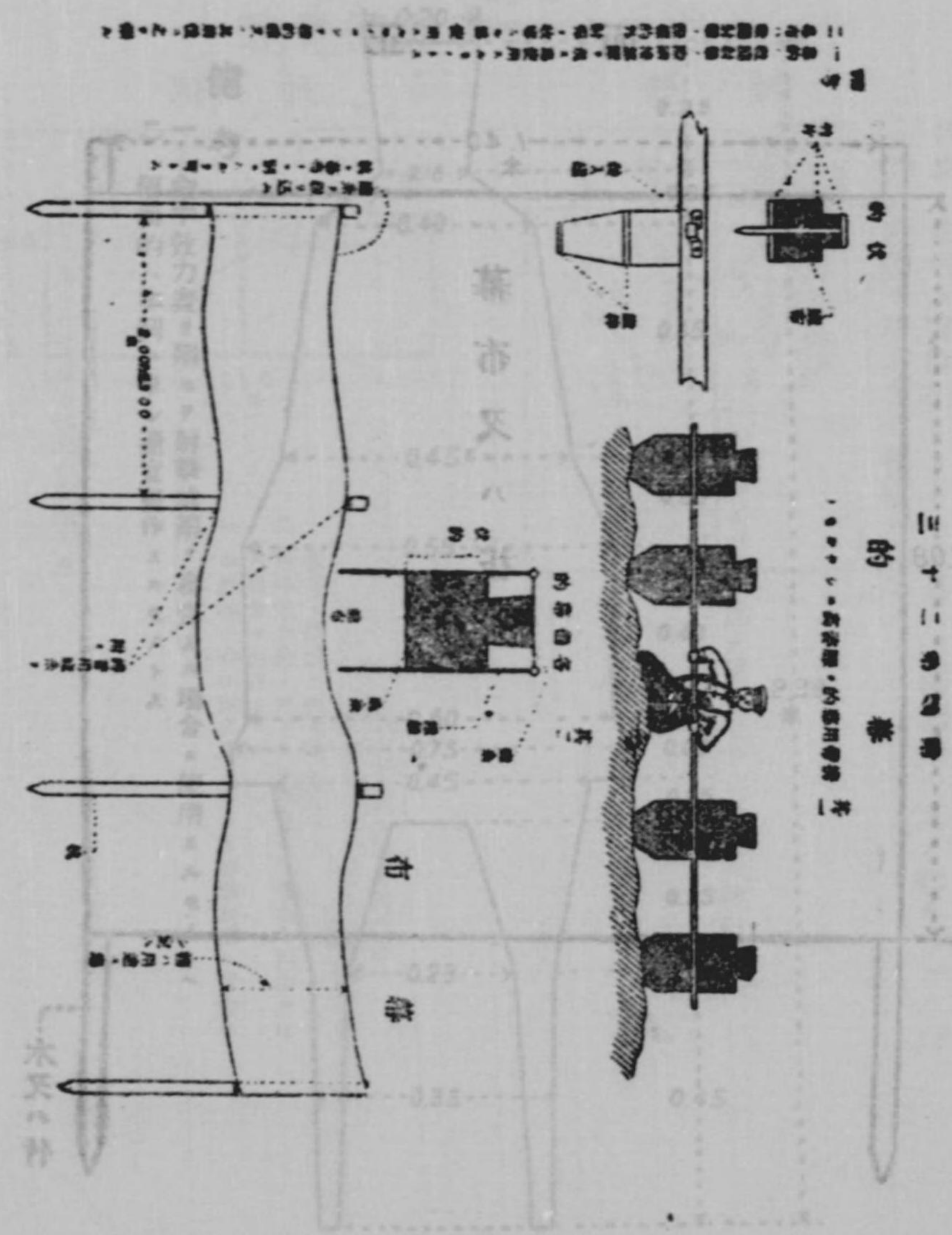
目視ノ景況ヲ實際的ナラシムル爲ニハ附圖第十九ノ如キ「パイア」の土囊的ヲ用フルヲ有利トス

二十二第圖附
的兵砲
面正



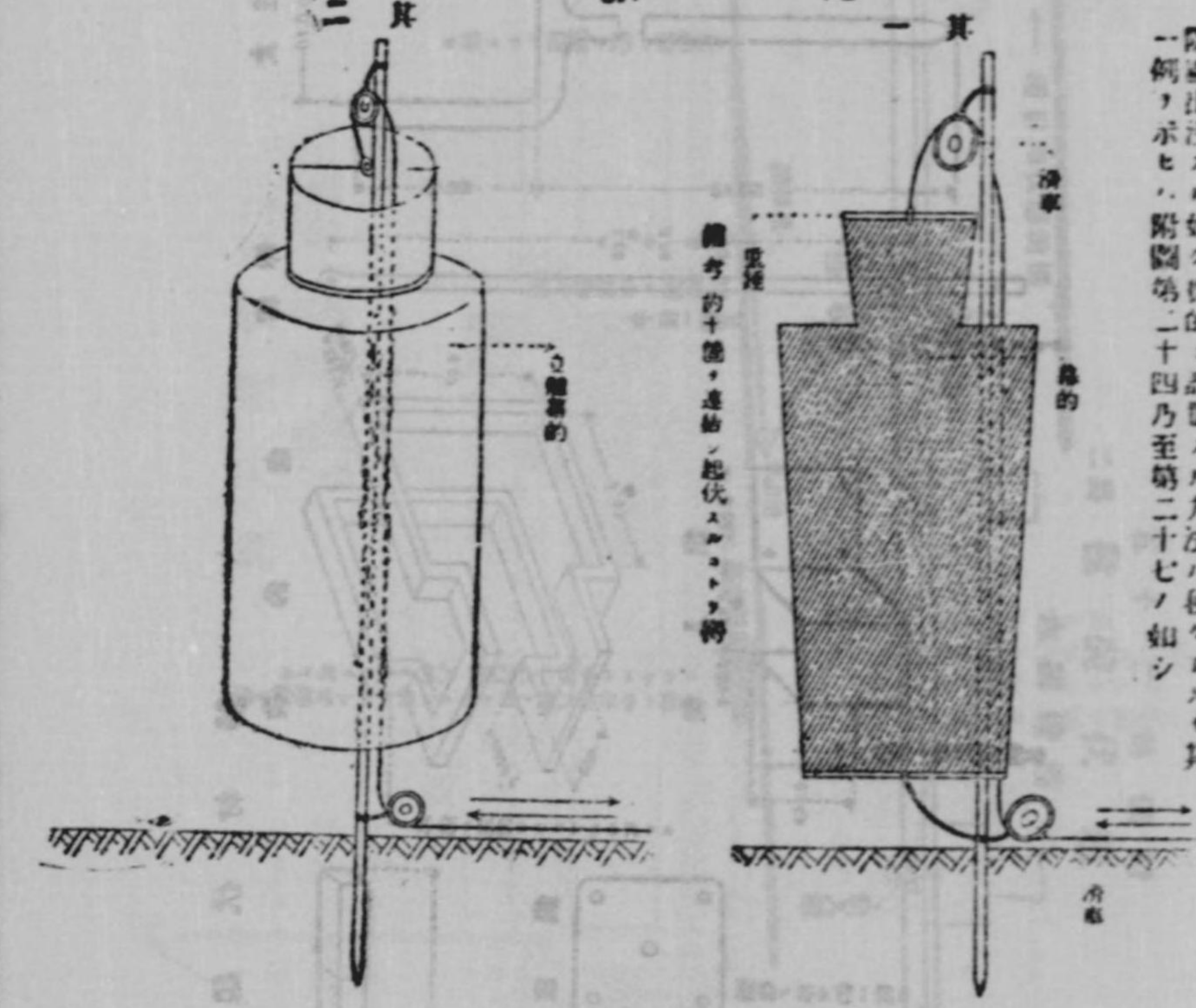
一十二第圖附
的兵騎
面正



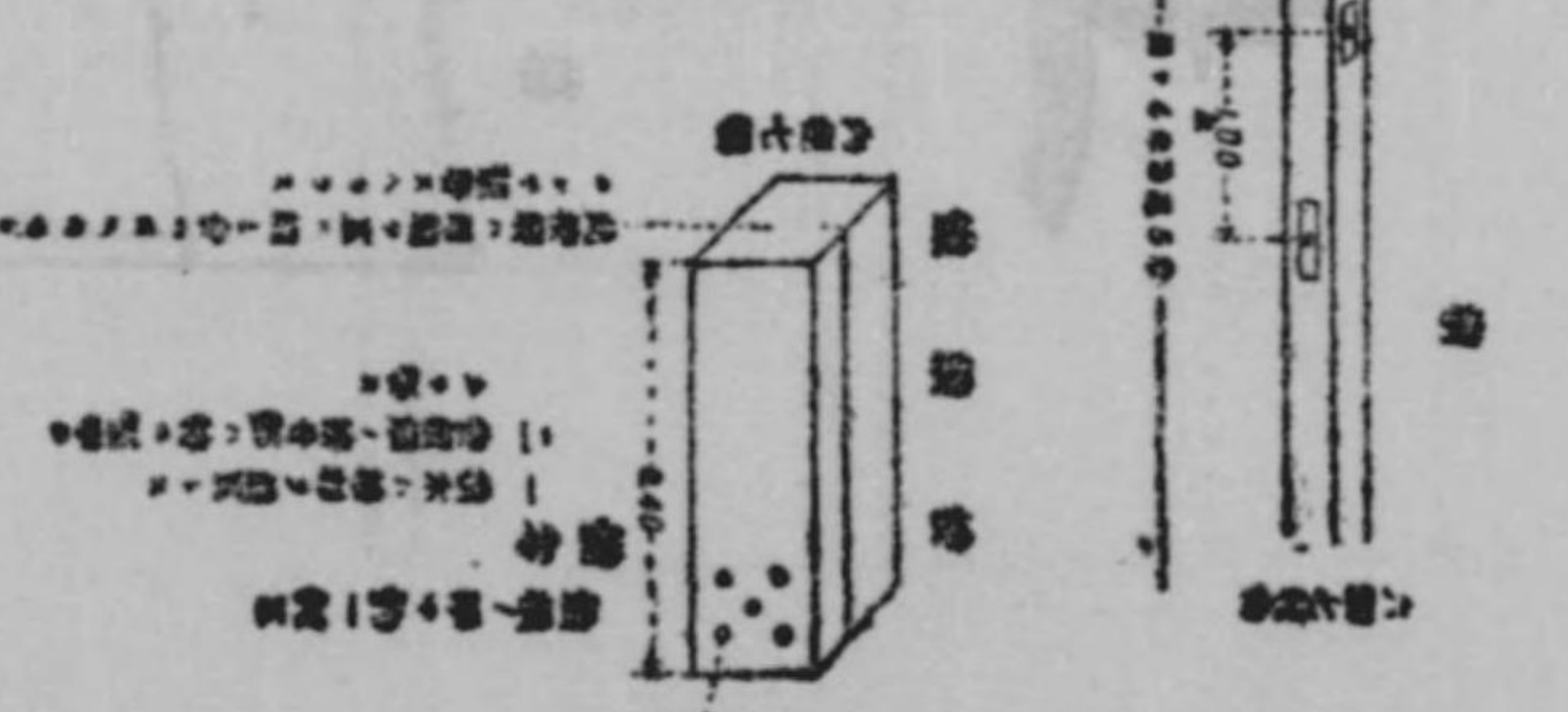
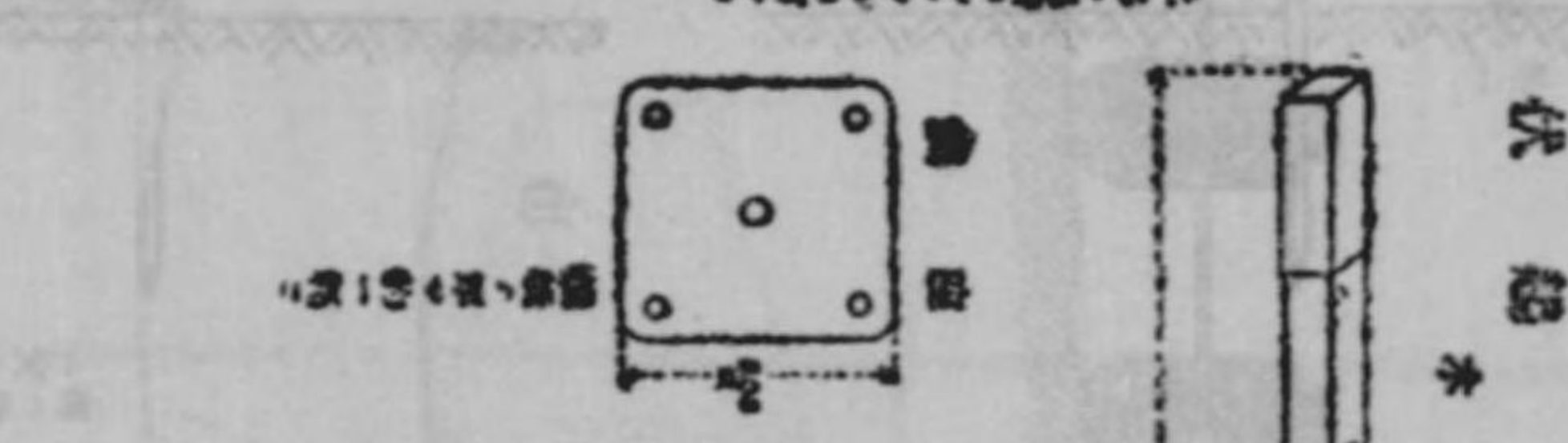
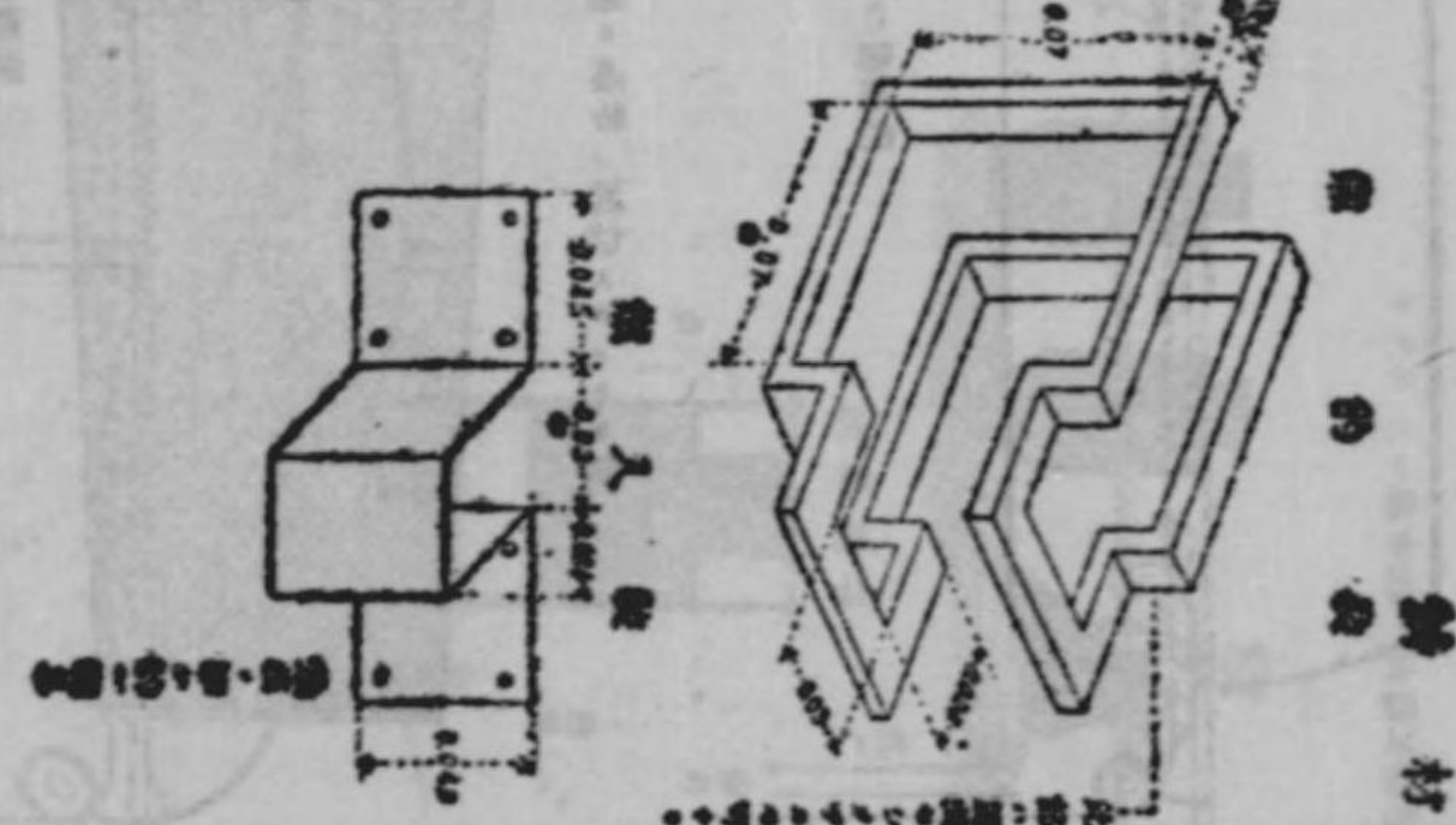
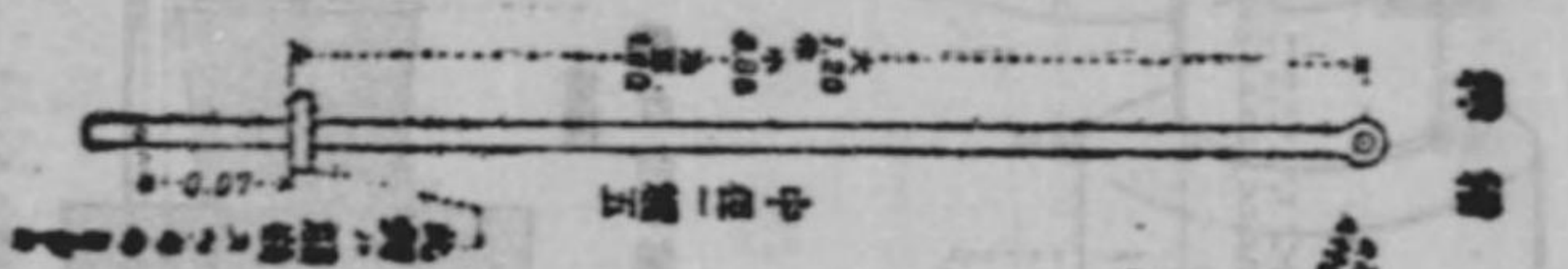
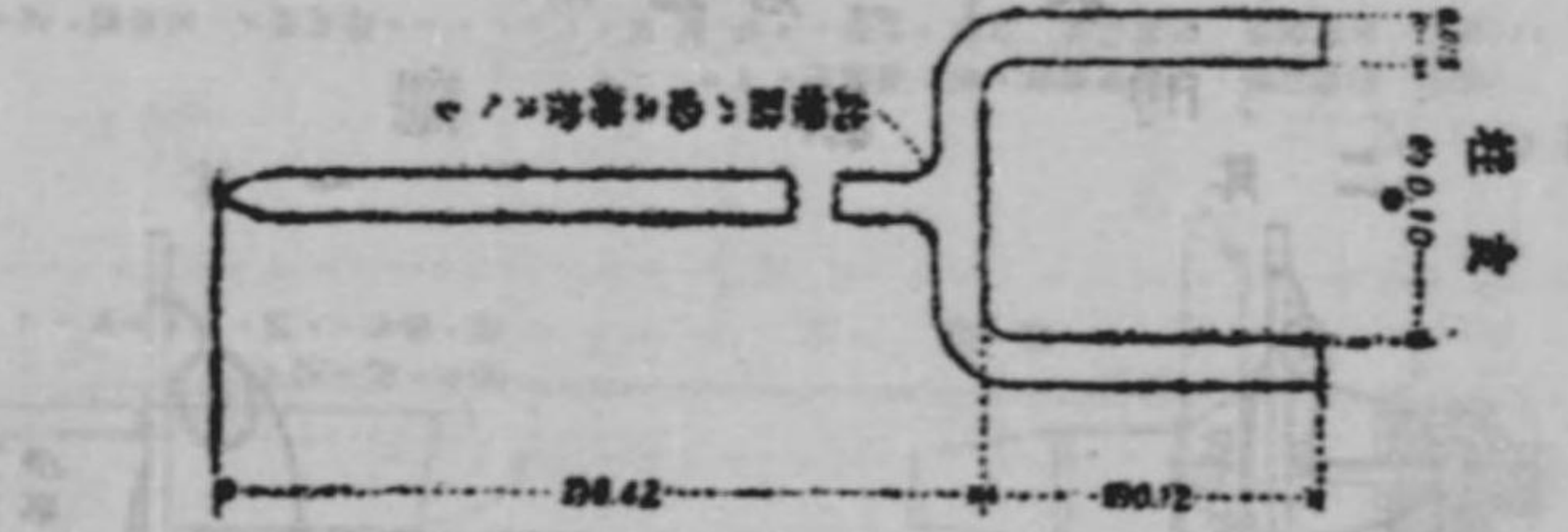
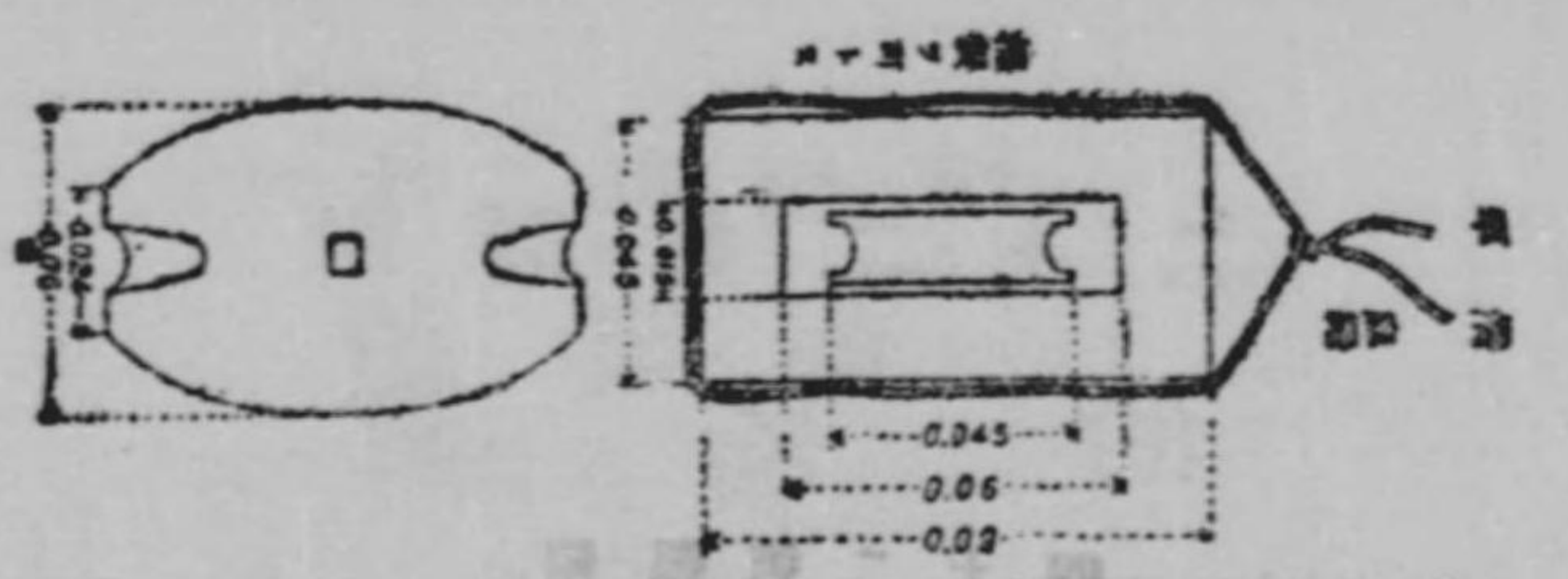


四十二第圖附

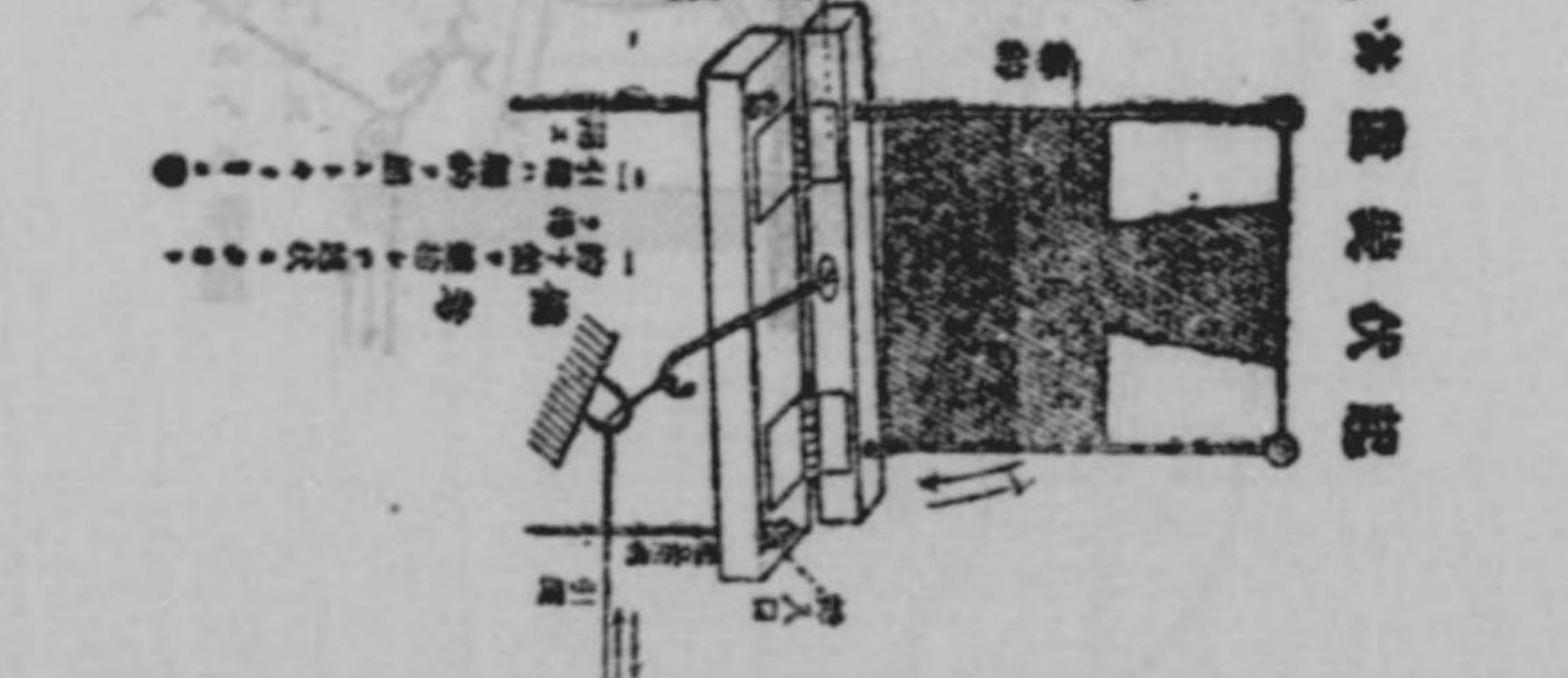
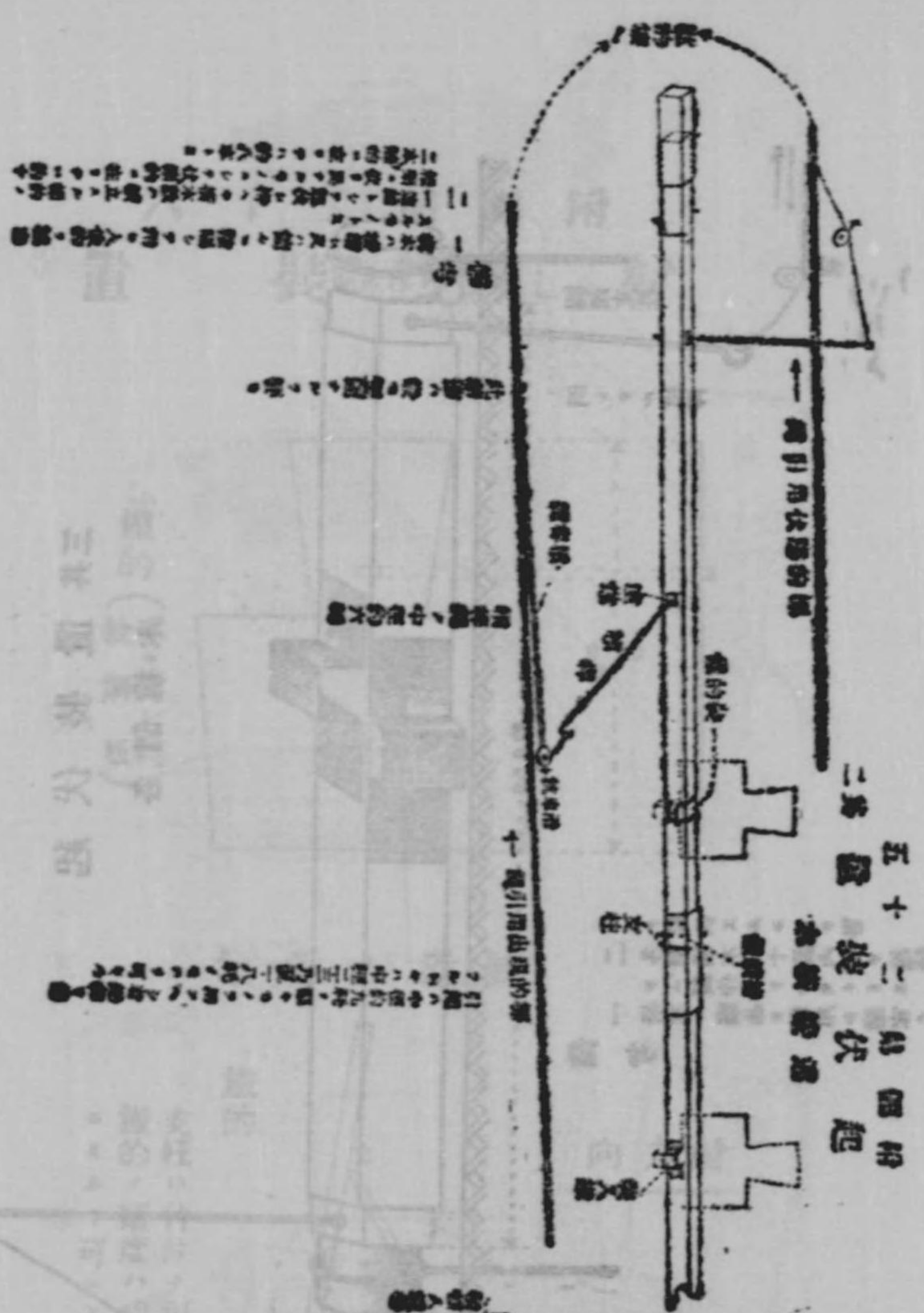
的 顯 隱



一 筒内出沒スル如ク標的ヲ設置スル方法ハ種々アルモ其 一例ヲ示シ、附圖第二十四乃至第二十七ノ如シ



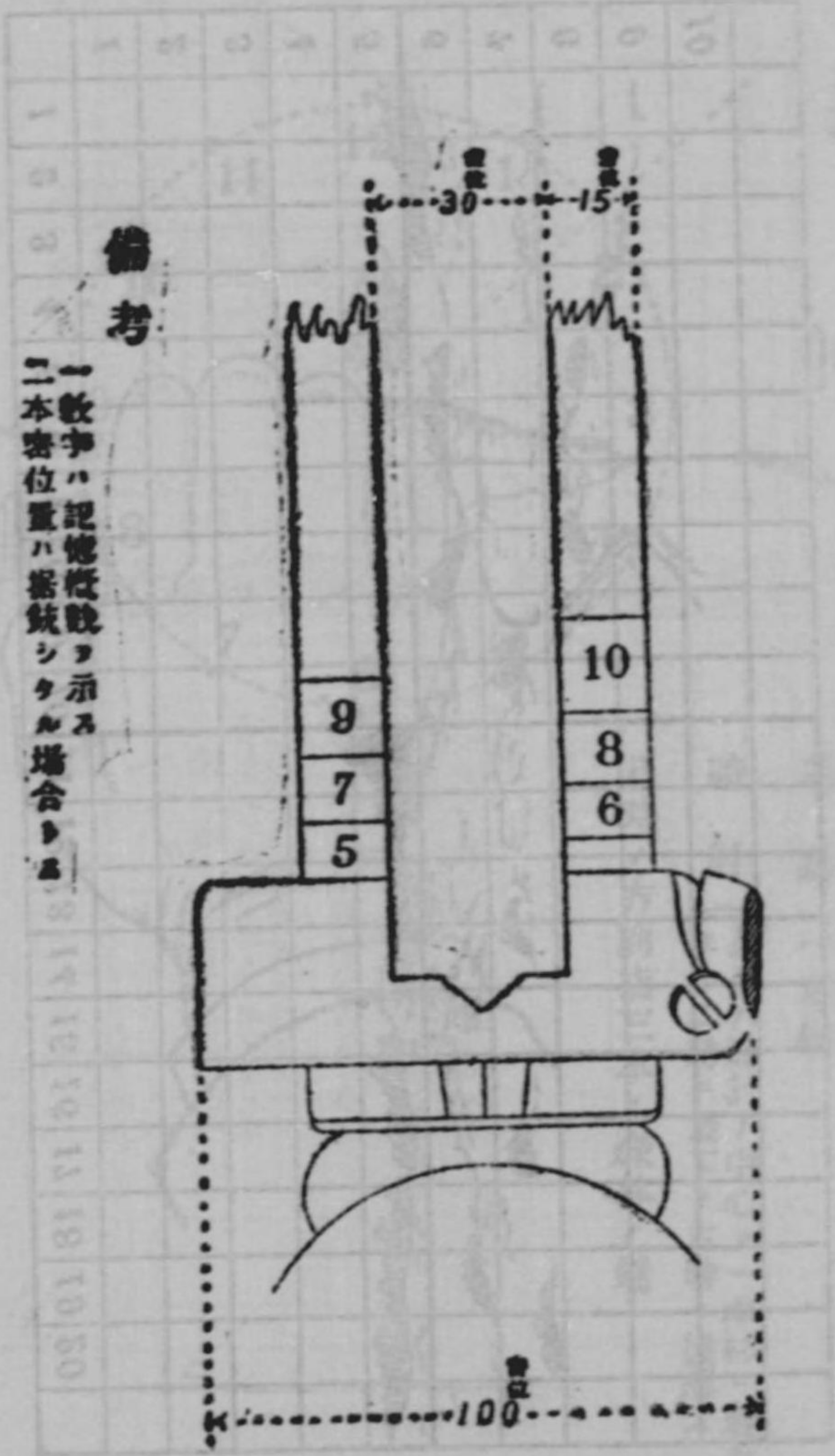
起伏機一與之各部之起機，其六次，如左



起機裝機

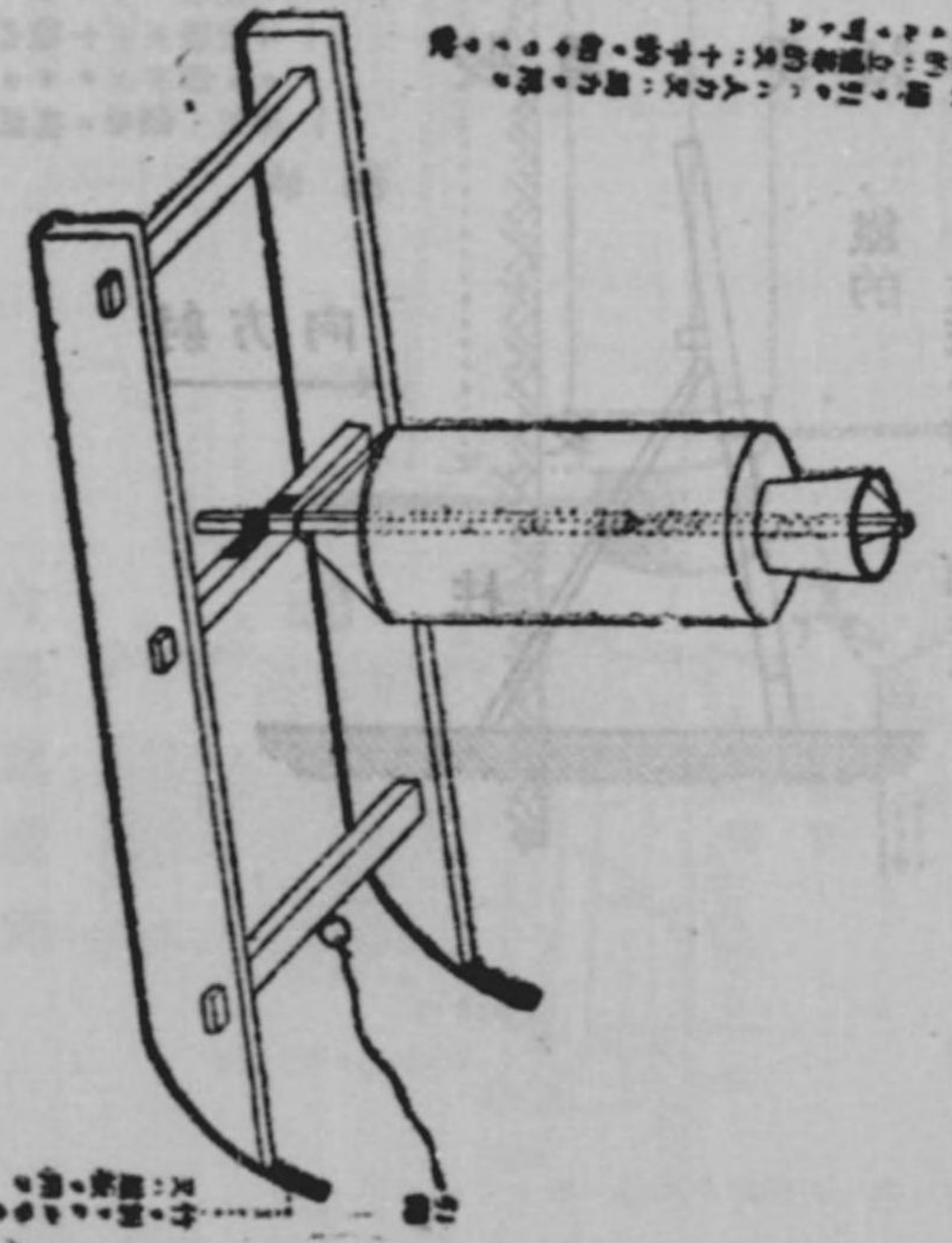
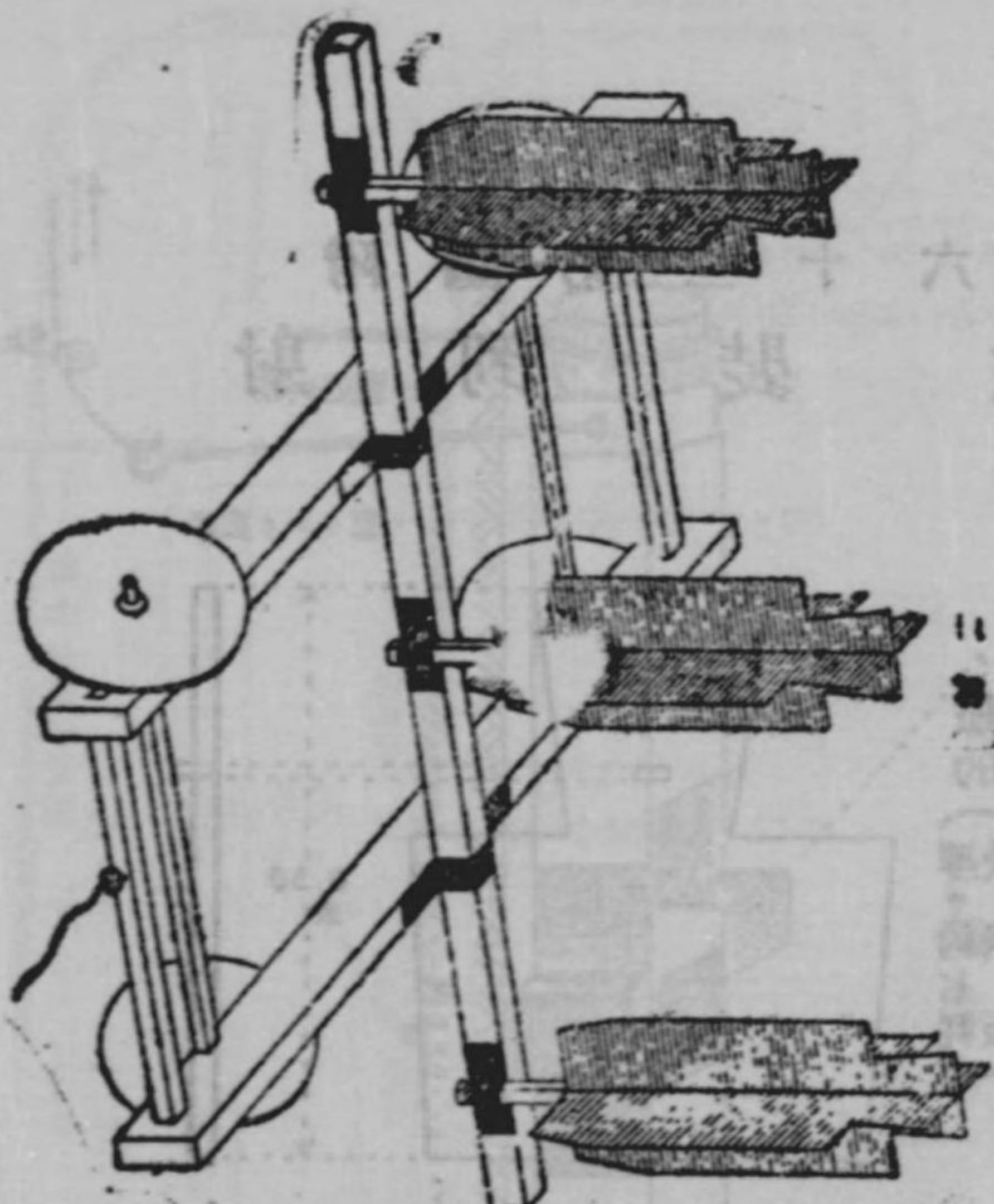
附圖第二十八

小銃(三八式)照尺依ル密位概數



備考

一数字ハ記憶機ヲ示ス
二本密位置ハ密銃シタカ場合トス



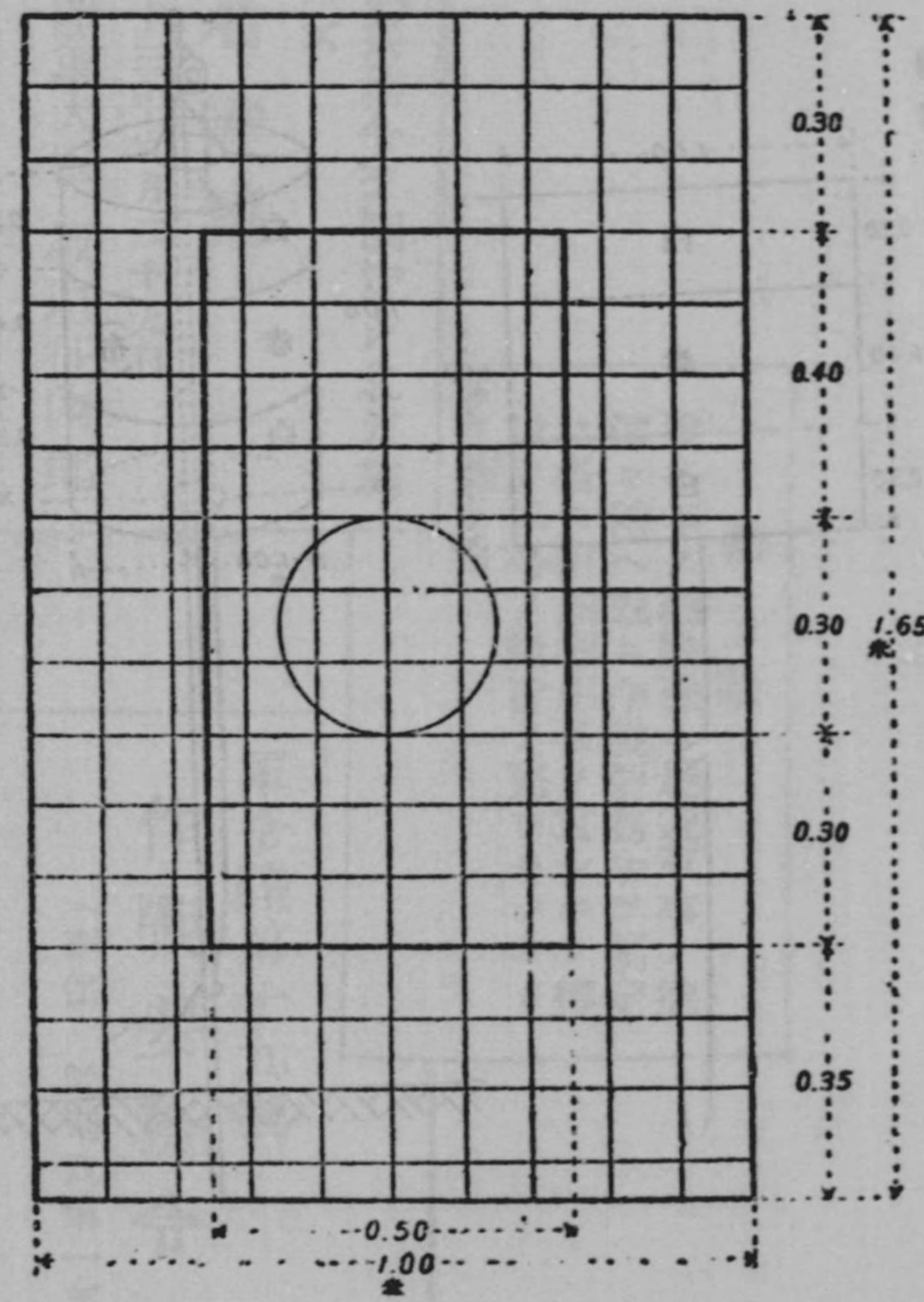
七十一 移動

備考
一数字ハ記憶機ヲ示ス
二本密位置ハ密銃シタカ場合トス

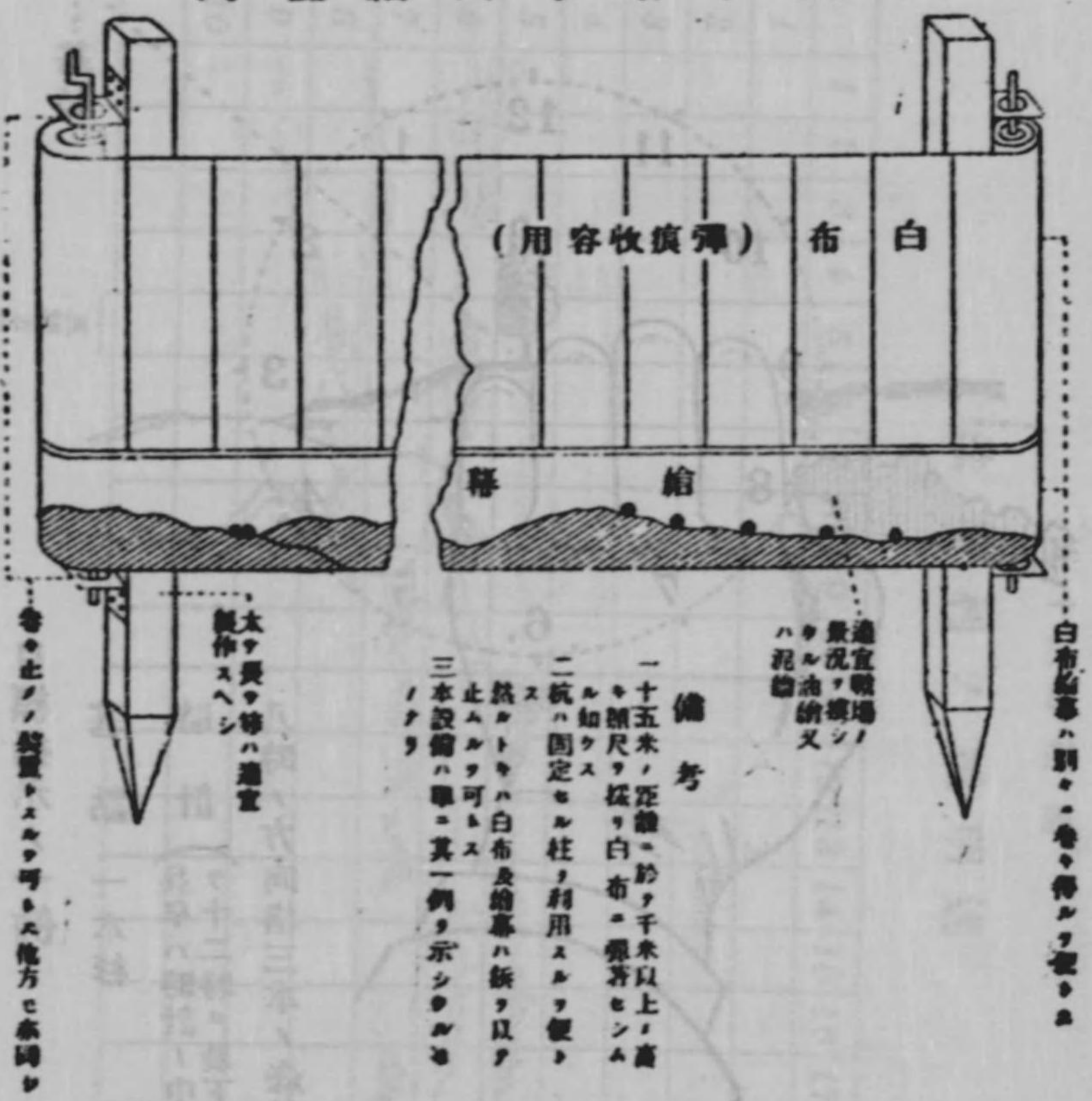
備考
一数字ハ記憶機ヲ示ス
二本密位置ハ密銃シタカ場合トス

附圖第三十二
命 中 試 驗 的

備考 中央ノ圓ハ厚紙等ヲ以テ製作シタル半徑十五厘米ノ點ヲ附スルモノトス



附圖第三十一
狹窄射擊用繪畫的



備考
一十五米ノ距離ニ於テ千米以上ノ高キ測尺ヲ採リ白布ニ彈着セシムル如クス
二銃ハ固定セル柱ヲ利用スルヲ便トス
三本設備ハ單ニ其一例ヲ示シタルモノナリ

太ク異ナル等ハ適宜製作スヘシ

白布繪幕ハ別ニ卷ヲ得ルヲ便トス

勅語
朕多年ノ經驗殊ニ最近軍事ノ進
運ニ稽ヘ茲ニ作戰要務令ヲ制定
ス各々研鑽應用其ノ宜シキヲ得
以テ本令ノ趣旨ヲ完ウセンコト
ヲ期セヨ

朕作戰要務令ヲ制定シ之ガ施
行ヲ命ズ

御名 御璽

昭和十三年九月二十九日

陸軍大臣 板垣征四郎

軍令陸第十九號

作戰要務令

(綱領、總則及第一部)

三

作戰
I

作戰要務令	綱領、總則	目次	頁
第一節	飛行部隊、氣球部隊	三〇	
第一節	要則	三六	
第一章	搜索	三六	
通則	三三		
第三篇	情報	三五	
第四章	文書記述ノ要則	二二	
第二節	連絡實施	一八	
第一節	連絡施設	一四	
第三章	連絡	一四	
第二章	報告及通報	一一	
第一章	命令	七	
通則	四		
第二篇	指揮及連絡	四	
第一篇	戰鬪序列及軍隊區分	四	
第一節	戰鬪序列	三	
總綱	一		

第二節	騎兵	三三
第一款	大ナル騎兵部隊	三三
第二款	其ノ他ノ騎兵部隊	三三
第三節	機械化部隊	三三
第四節	其ノ他ノ部隊	三六
第五節	斥候	三六
第二章	課報	三六
第四篇	警戒	三六
通則	三三	
第一章	行軍間ノ警戒	三三
要則	三三	
第一節	前衛	三三
第二節	側衛	三三
第三節	後衛	三三
第四節	騎兵及機械化部隊ノ警戒	三三
第二章	駐軍間ノ警戒	三三
要則	三三	
第一節	行軍間ノ警戒	三三
第一節	駐軍間ノ警戒	三三
第一節	間ノ警戒ト相互ノ	三三

轉移	五七
第二節 前哨大隊	六〇
第三節 前哨中隊	六一
第四節 小哨	六三
第五節 步哨	六六
第六節 對空監視哨	七〇
第七節 斥候、巡察	七一
第八節 前哨部隊ノ交代	七二
第九節 騎兵及機械化部隊ノ警戒	七三
第十節 飛行場ニ於ケル航空部隊ノ警戒	七五
第五篇 行軍	七六
第一章 行軍ノ部署	七六
第二章 行軍ノ實施	七九
第三章 交通整理	八五
第六篇 宿營	八七
第一章 宿營地ノ配當	九九
第二章 宿營地ノ配當	一〇一

第二章 勤務員	一〇三
第三章 警戒	一〇五
第四章 舍營	一〇八
第五章 露營	一一二
第六章 村落露營	一二四
第七篇 通信	一二四
第一章 通信機關	一二四
第二章 通信網ノ構成	一二五
第三章 通信實施	一二六
第四章 通信ノ秘密保持	一二九
第五章 通信施設ノ掩護及破壞	一三五

作戰要務令 綱領、總則 目次終

軍紀	軍紀ハ軍隊ノ命脈ナリ戰場到ル處境遇ヲ異ニシ且諸種ノ任務ヲ有スル全軍ヲシテ上將帥ヨリ下一兵ニ至ル迄脈絡一貫克ク一定ノ方針ニ從ヒ衆心一致ノ行動ニ就カシメ得ルモノ即チ軍紀ニシテ其ノ弛張ハ實ニ軍ノ運命ヲ左右スルモノナリ而シテ軍紀ノ要素ハ服從ニ在リ故ニ全軍ノ將兵ヲシテ身命ヲ君國ニ獻グ至誠上長ニ服從シ其ノ命令ヲ確守スルヲ以テ第二ノ天性ト成サシムルヲ要ス
必勝ノ信念	第三 必勝ノ信念ハ主トシテ軍ノ光輝アル歴史ニ根源シ周到ナル訓練ヲ以テ之ヲ培養シ卓越ナル指揮統帥ヲ以テ之ヲ充實ス 赫々タル傳統ヲ有スル國軍ハ愈々忠君愛國ノ精神ヲ砥礪シ益々訓練ノ精熟ヲ重ネ戰鬪慘烈ノ極所ニ至ルモ上下相信倚シ毅然トシテ必勝ノ確信ヲ持セザルベカラズ
戰ノ主眼	第一 軍ノ主トスル所ハ戰鬪ナリ故ニ百事皆戰鬪ヲ以テ基準トスベシ而シテ戰鬪一般ノ目的ハ敵ヲ壓倒殲滅シテ迅速ニ戰捷ヲ獲得スルニ在リ
戰ノ目的	第二 戰捷ノ要ハ有形無形ノ各種戰鬪要素ヲ綜合シテ敵ニ優ル威力ヲ要點ニ集中發揮セシムルニ在リ
戰ノ要	訓練精到ニシテ必勝ノ信念堅ク軍紀至嚴ニシテ攻撃精神充溢セル軍隊ハ能ク物質的威力ヲ凌駕シテ戰捷ヲ完ウシ得ルモノトス
綱領	第一 軍ノ主トスル所ハ戰鬪ナリ故ニ百事皆戰鬪ヲ以テ基準トスベシ而シテ戰鬪一般ノ目的ハ敵ヲ壓倒殲滅シテ迅速ニ戰捷ヲ獲得スルニ在リ
總則	第一 軍ノ主トスル所ハ戰鬪ナリ故ニ百事皆戰鬪ヲ以テ基準トスベシ而シテ戰鬪一般ノ目的ハ敵ヲ壓倒殲滅シテ迅速ニ戰捷ヲ獲得スルニ在リ

作戰要務令 綱領、總則 及第一部

獨斷專行

攻擊精神

協同一致

克難

敵ノ意表
ニ出ヅ

第五 凡ソ兵戰ノ事タル獨斷ヲ要スルモノ頗ル多シ而シテ獨斷ハ其ノ精神ニ於テハ決シテ服從ト相反スルモノニアラズ常ニ上官ノ意圖ヲ明察シ大局ヲ判斷シテ狀況ノ變化ニ應ジ自ラ其ノ目的ヲ達シ得ベキ最良ノ方法ヲ選ビ以テ機宜ヲ制セザルベカラズ

第六 軍隊ハ常ニ攻撃精神充溢シ志氣旺盛ナラザルベカラズ
第七 協同一致ハ戰闘ノ目的ヲ達スル爲極メテ重要ナリ兵種ヲ論ゼズ上下ヲ問ハズ戮力協心全軍一體ノ實ヲ舉ゲ始メテ戰闘ノ成果ヲ期シ得ベク全般ノ情勢ヲ考察シ各々其ノ職責ヲ重シ一途ニ努力スルハ即チ協同一致ノ趣旨ニ合スルモノナリ而シテ諸兵種ノ協同ハ步兵ヲシテ其ノ目的ヲ達成セシムルヲ主眼トシ之ヲ行フヲ本義トス

第八 戰闘ハ輒近著シク複雜艱強ノ性質ヲ帶ビ且資材ノ充實、補給ノ圓滑ハ必ズシモ常ニ之ヲ望ムベカラズ故ニ軍隊ハ堅忍不拔克ク困苦缺乏ニ堪ヘ難局ヲ打開シ戰捷ノ一途ニ邁進スルヲ要ス

第九 敵ノ意表ニ出ヅルハ機ヲ制シ勝ヲ得ルノ要道ナリ故ニ旺盛ナル企圖心ヲ追隨ヲ許サザル創意ト神速ナル機動トヲ以テ敵ニ臨ミ常ニ主動ノ位置ニ立チ全軍相戒メテ嚴ニ我が軍ノ企圖ヲ秘匿シ困難ナル地形及天候ヲモ克服シ疾

指揮官ト
軍隊

運用ノ妙

準據事項

本令ニ基
ク精神ノ
訓練ヲ
本令實
上ノ規
事項

風迅雷激ヲシテ之ニ對應スルノ策ナカラシムルコト緊要ナリ
第十 指揮官ハ軍隊指揮ノ中樞ニシテ又團結ノ核心ナリ故ニ當時熾烈ナル貴任觀念及鞏固ナル意志ヲ以テ其ノ職責ヲ遂行スルト共ニ高邁ナル徳性ヲ備ヘ部下ト苦樂ヲ俱ニシ率先躬行軍隊ノ儀表トシテ其ノ尊信ヲ受ケ劍電彈雨ノ間ニ立チ勇猛沈著部下ヲシテ仰ギテ富嶽ノ重キヲ感ゼシメザルベカラズ

第十一 戰闘ニ於テハ百事簡單ニシテ且精練ナルモノ能ク成功ヲ期シ得ベシ
第十二 戰闘ニ於テハ百事簡單ニシテ且精練ナルモノ能ク成功ヲ期シ得ベシ
第十三 戰闘ニ於テハ百事簡單ニシテ且精練ナルモノ能ク成功ヲ期シ得ベシ

第十四 戰闘ニ於テハ百事簡單ニシテ且精練ナルモノ能ク成功ヲ期シ得ベシ
第十五 戰闘ニ於テハ百事簡單ニシテ且精練ナルモノ能ク成功ヲ期シ得ベシ
第十六 戰闘ニ於テハ百事簡單ニシテ且精練ナルモノ能ク成功ヲ期シ得ベシ

第十七 戰闘ニ於テハ百事簡單ニシテ且精練ナルモノ能ク成功ヲ期シ得ベシ
第十八 戰闘ニ於テハ百事簡單ニシテ且精練ナルモノ能ク成功ヲ期シ得ベシ
第十九 戰闘ニ於テハ百事簡單ニシテ且精練ナルモノ能ク成功ヲ期シ得ベシ

總則
第一 本令ハ陣中勤務及諸兵連合ノ戰闘ニ關シ一般ニ準據スベキ事項ヲ示ス
第二 軍隊ハ本令ニ基キ訓練ノ精到ヲ期スベシ特ニ戰時ニ在リテハ實戰ノ經驗ニ鑑ミ將來ノ變化ヲ洞察シ克ク本令ヲ活用シ且教ヘ且戰ヒ以テ戰捷ノ獲得ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス
第三 本令實施ノ爲特ニ規定スルヲ要スル事項ハ附録トシテ參謀總長及教育總監陸軍大臣ト協議決定スルモノトス

命令ニ避	ノ令決更決	礎決	況指
	要及心ヲ心	心ノ	揮ト
	訣命ト命	基	狀
第十一	第十	第九	第八
命令ニハ理由若クハ臆測ニ係ルコトヲ示スベカラズ而シテ種々未然	命令ハ發令者ノ意志及受令者ノ任務ヲ明確適切ニ示シ且受令者ノ性質ト謀量	機ヲ明察シ周到ナル思慮ト迅速ナル決斷トヲ以テ之ヲ定ムベキモノニシテ常	動ノ地位ニ陥ランガ終始敵ノ動作ニ追隨シ遂ニ失敗ニ終ルモノトス

ス決心ヲ爲	心指揮ト決	訣指揮ト要	紀指揮ト軍	神指揮ト軍	軍隊指揮	軍隊區分	戰闘序列		
自由ヲ獲得スルニ勉メ特ニ敵ノ意表ニ出ヅルコト極メテ緊要ナリ若シ一度受	揮自ラ錯亂シ部下從ヒテ遲疑ス	確ニシテ常ニ鞏固ナル意志ヲ以テ之ヲ遂行セザルベカラズ決心動搖スレバ指	餘地ヲ與フルニ在リ	第六 指揮ノ基礎ヲ成スモノハ實ニ指揮官ノ決心ナリ故ニ指揮官ノ決心ハ堅	第五 指揮ノ要訣ハ部下軍隊ヲ確實ニ掌握シ明確ナル企圖ノ下ニ適時適切ナ	第四 軍隊ノ指揮ハ嚴正ナル軍紀ニ依リ始メテ全キヲ得ベシ故ニ各級指揮官	第三 軍隊ノ指揮ハ統帥ノ大權ニ根源ス各級指揮官ハ嚴肅ニ之ヲ承行シ以テ	第二 軍隊區分ハ作戰上ノ必要ニ基ク軍隊ノ一時的編組ニシテ之ガ決定ニ方	第一 戰闘序列ハ戰時又ハ事變ニ際シ天皇ノ令スル作戰軍ノ編組ニシテ之ニ

第一部

戰闘序列及軍隊區分

第二篇

指揮及連絡

ノ形勢ヲ舉ゲテ一々之ニ對スル處置ヲ定ムルガ如キハ之ヲ避クルヲ要ス又下
達セル命令ノ外妄リニ指示ヲ與フベカラズ
第十二 命令ノ受領ヨリ之ガ實行迄ニ狀況ノ變化測リ難キトキ又ハ發令者狀
況ヲ豫察スルコト能ハズ受令者ヲシテ現況ニ應ジ適宜處置セシメントスルガ
如キトキノ命令ニ在リテハ全般ノ企圖及受令者ノ達成スベキ目的ヲ明示スル
ノ外細事ニ互リ其ノ行動ヲ拘束セザルヲ要ス然レドモ受令者ノ識量ニ應ジ或
ハ狀況ニ依リ行動ノ準據トナルベキ大綱ヲ示スヲ可トスルコトアリ
第十三 命令ハ之ヲ下達スルモ適時確實ニ受令者ニ到達セザルコトアルノミ
ナラズ縱ヒ到達スルモ意圖ノ如ク實行セラレザルコトアリ故ニ發令者ハ命令
ノ傳達及實行ヲ確認スルノ手段ヲ講ジ又受令者ハ常ニ實行ニ關シ報告スルノ
著意ヲ必要トス
第十四 各級指揮官ハ相互ノ意志ヲ疏通シ彼此ノ狀況ヲ明カニシ以テ指揮及
協同動作ヲ適切ナラシムル爲適時必要ナル連絡ヲ爲サザルベカラズ而シテ連
絡ヲ完全ナラシムルノ基礎ハ進ンテ連絡ヲ保持セントスル精神ト連絡ニ關ス
ル適切ナル部署トニ存スルモノトス
第十五 各級指揮官ハ得タル諸情報ヲ自己ノ狀態及爾後ノ企圖ト共ニ適時且
積極的ニ上級指揮官ニ報告シ進ンテ其ノ掌握下ニ入ルノ外此等諸情報ヲ部下
諸隊並ニ隣接及協同スル部隊ニ通報スルコト緊要ナリ戰鬪間ニ於テ特ニ然リ
而シテ狀況變化ナキカ或ハ不明ナルカ等ヲ報告、通報スルモ亦價値大ナルコ
トアリ如何ナル場合ニ於テモ狀況ヲ悲觀シ或ハ敵情ヲ過大視シ或ハ戰鬪ノ成

果ヲ誇張スルガ如キ報告、通報ハ嚴ニ之ヲ戒ムルヲ要ス
第十六 指揮官ノ位置ハ軍隊ノ指揮ニ重大ナル影響ヲ及スモノニシテ軍隊ノ
志氣ヲ左右スルコト大ナリ故ニ部下ノ指揮ニ便ニシテ成ルベク連絡容易ナル
ト共ニ其ノ威徳ヲ軍隊ニ及シ得ルコトヲ考慮シ之ヲ選定スルコト緊要ナリ
司令部及本部ノ位置ハ傳令等ノ誘導ニ便ナラシムル爲所要ノ處置ヲ講ズルコ
ト必要ナリ
司令部及本部ハ敵眼ニ對シ遮蔽ノ處置ヲ講ズルト共ニ常ニ直接警戒ヲ行ヒ又
司令部及本部ノ警戒ヲ嚴ナラシムルヲ要ス
第十七 指揮官ノ系統ヲ異ニセル部隊同一目的ニ向ヒ行動スル場合ニ於テ之ヲ
一指揮下ニ統一セシムベキヤ或ハ相互ノ協同連繫ニ委スベキヤハ狀況ニ依ル
モ戰鬪ニ方リテハ一指揮下ニ統一セシムルヲ通常トス何レノ場合ニ於テモ上
級指揮官之ヲ明示スルヲ要ス
前項ノ部隊期セズシテ同一地ニ在リテ戰鬪スル場合ニ於テハ其ノ地ニ在ル高
級先任ノ指揮官其ノ指揮ヲ執ルモノトス
第十八 軍機保護ハ作戰ノ遂行ニ重大ナル關係ヲ有ス故ニ將校以下之ニ關ス
ル諸規定ヲ嚴守シ常ニ言動ヲ慎ミ深ク住民ノ動靜ニ注意シ不慮ノ間軍機ヲ漏
洩セザルコトニ關シ遺憾ナキヲ要ス

第十九 作戰命令ハ軍隊ノ作戰行動ヲ規定スルモノニシテ各部隊ノ稱號ヲ冠
シ其部隊命令等
或ハ軍隊區分ニ依リ成立セル部隊等ノ名稱ヲ冠ス
其部隊命令等
或ハ軍隊區分ニ依リ成立セル部隊等ノ名稱ヲ冠ス
其部隊命令等

其部隊命令等

日々命令

作戰命令

記述事項

特別命令

秘密保持
上命令下
達注意
軍隊區分

第二十二 日々命令ハ軍隊ノ内務、人事、人馬ノ補充、戰場掃除、俘虜ノ取扱、諸勤務等ノ中作戰ニ直接關係ナキ事項ヲ規定スルモノニシテ團隊ノ稱號等ヲ冠ス
第二十一 作戰命令ニ記述スベキ事項ハ狀況ニ依リ差異アルモ其ノ記載順序概ネ左ノ如シ
敵軍及友軍ノ狀況但シ受令者ニ必要ナルモノニ限ル
指揮官ノ企圖
軍隊區分及各部隊ノ任務
飛行、防空、連絡、瓦斯防護、氣象、衛生、行李、輜重、交通等ニ關シ一

發令者ノ位置要スレバ其ノ行動、連絡ノ方法、報告送達ノ場所等
第二十二 飛行、防空、連絡、瓦斯防護、氣象、衛生、行李、輜重、交通等ニ關スル各部隊ノ任務及此等ニ關シ一般部隊ニ必要ナル事項ニ就テハ別ニ之ヲ命令シテ命令一般ノ下達ヲ迅速ナラシムルヲ可トスルコトアリ

各部隊任務ノ細部事項ハ作戰ニ關スル一般ノ命令ノ外要スレバ所要ノ部隊ニ對シ別ニ之ヲ命令スルモノトス

秘密保持ノ爲一部ノ部隊ニハ作戰ニ關スル一般ノ命令ヲ與フルコトナク別ニ該部隊ノ爲必要ナル事項ノミヲ命令シ又一般ノ命令ニ於テモ該命令中ノ日時ヲ省キ必要ノ時機ニ之ヲ示スヲ可トスルコトアリ

第二十三 軍隊區分ハ之ヲ別紙又ハ命令文ノ上欄ニ記載シ若クハ命令文中ニ

記載方

行軍序列
分(梯團區)

重要命令
ノ筆記

適切ナル
下達法
合同命令

記述ス而シテ各部隊ハ概ネ步兵、戰車、騎兵、砲兵、工兵、航空兵、通信部隊、衛生部隊、輜重等ノ順序ニ列記シ指揮官ノ指示ヲ要スルトキハ之ヲ部隊號ノ前ニ掲グルモノトス
軍隊區分ト共ニ本隊ノ行軍序列(梯團區分)ヲ規定セントスルトキハ軍隊區分中本隊ノ標題下ニ同行軍序列(同梯團區分)ト附記シ之ニ括弧ヲ加ヘ其ノ序列(區分)ニ從ヒ部隊號ヲ列記ス

第二十四 命令ハ各級指揮官之ヲ作爲シ其ノ目的ニ適スル加ク必要ノ事項ノミヲ示スモノトス然レドモ極メテ急速ヲ要スルガ如キ例外ノ場合ニ於テハ上級指揮官ノ命令ニ必要ナル事項ヲ附加シテ之ヲ部下ニ下達スルコトアリ

全般ノ行動ヲ規定セル師團命令ノ如キハ一般ノ狀況ヲ知得セシムル爲其ノ全文ヲ所要ノ部隊ニ配布スルヲ可トスルコトアリ此ノ際各部隊ハ秘密保持上特別ノ注意ヲ必要トス

第二十五 重要ナル命令ノ筆記ハ將校自ラ之ニ當リ又其ノ印刷ハ將校ノ監視下ニ於テシ誤刷紙及原紙ノ焼却、原稿ノ保管等ヲ確實ニシ以テ秘密ノ漏洩ヲ防グヲ要ス

命令ニハ其ノ配布區分及下達法ヲ記載シ又其ノ控ニハ下達若クハ傳達終了時刻ヲ附記スルモノトス
第二十六 命令ハ其ノ内容及當時ノ狀況ニ應ジ下達法ヲ適切ナラシメ以テ機

ヲ失セズ受令者ニ到達セシムルコト緊要ナリ
各部隊ニ合同命令ヲ與フベキヤ其ノ一部若クハ全部ニ各別命令ヲ與フベキヤ

各別命令
ハ當時ノ狀況ニ依ル而シテ合同命令ハ全般ノ狀況ヲ知ラシメ且各部隊ノ協同動作ヲ律スルニ便ナルヲ以テ狀況之ヲ許セバ命令ノ下達ハ之ニ依ルヲ可トス各別命令ト雖モ常ニ關係部隊ノ協同動作ニ必要ナル事項ヲ具備セシムルヲ要ス各別命令ヲ下シタル場合ニ於テハ之ニ續キ一般ノ狀況ヲ知ルニ便ナラシムルノ手段ヲ講ズルヲ可トス

命令ノ要旨
第二十七 命令ノ下達ニ長時間ヲ要シ且此ノ間受令者ヲシテ行動ヲ開始セシムルカ若クハ速カニ軍隊ヲシテ所要ノ位置ニ就カシムルヲ利トスル場合等ニ於テハ先ヅ其ノ要旨ノミヲ下達シ後完全ナル命令ヲ附與スルモノトス

狀況急ヲ要スル命令
第二十八 命令ハ必要ナル指揮官ニ直接下達スルヲ最モ確實ナリトス然レドモ交戦中或ハ運動中ニ在ル部隊ノ指揮官ヲ遠隔セル地點ニ招致シテ命令ヲ與フルガ如キハ之ヲ避クルヲ要ス

斥候飛行機搭乗者
第二十九 斥候、飛行機搭乗者、最前線ノ部隊等ニ與フル命令等ニシテ敵手ニ入ルノ虞アルモノハ單ニ口達ニ止ムルカ或ハ我が目的、行動等ニ關スル事項ノ筆記ヲ避ケシムルカ若クハ受令者了解スルト同時ニ之ヲ燒却セシムルモノトス

命令ノ地圖記入
我が軍ノ行動、配備等ニ關スル命令其ノ他我が軍ノ企圖ヲ判斷セラルル虞アル事項ハ受令者ヲシテ妄リニ地圖等ニ記載若クハ描畫セシムベカラズ

命令下達時注意
命令ノ下達ニ際シテハ必要以外ノ者ヲ遠ザケ又常ニ敵ノ間諜等ニ對スル警戒ヲ嚴ナラシムルヲ要ス

第二章 報告及通報
第三十 報告及通報ハ受信者ノ判斷ニ便ナラシムル爲其ノ出所ヲ明カニシテニ推測ニ係ルモノハ其ノ理由ヲ明示スルヲ要ス

報告事項
敵ニ關スル報告及通報ニハ日時、場所、兵種、員數、動作等(飛行機ニ在リテハ機種、機數、高度、飛行方向等)ヲ包含セシムルコト緊要ナリ

報告轉送
部下ヨリノ報告ヲ更ニ上級指揮官ニ報告スルニハ原報告發送ノ日時、地點及發信者ヲ明カナラシメ若シ原報告ヲ轉送スルトキハ自ラ點檢セシ日時ヲ記入シ署名スルモノトス

命令利用
自己部隊ノ狀況ヲ報告又ハ通報スルニ方リ自己ノ下シタル命令ヲ利用スルヲ便トスルコトアリ此ノ場合ニ於テハ特ニ秘密保持ノ注意ヲ必要トス

新到著部隊ノ通報
第三十一 他部隊ノ近傍ニ新到著シタル部隊ハ速カニ其ノ旨ヲ該部隊ニ通報スルモノトス交戦中ノ部隊ニ近接セシ際ニ於テ特ニ然リ而シテ此ノ通報ニ接シタル部隊ハ新到著部隊ニ現時ノ狀況ヲ通報スルノ義務ヲ有ス

戰闘要報
第三十二 一部ノ戰闘局ヲ結ブヤ當面ノ各部隊長ハ機ヲ失スルコトナク又當日其ノ局ヲ結ブニ至ラザルトキハ日没後速カニ戰闘要報ヲ提出スベシ

戰闘要報ハ上級指揮官ヲシテ爾後ノ戰闘若クハ戰闘直後ノ指揮ヲ適切ナラシムルヲ目的トシ部隊ノ大小ト狀況トニ應ジ概ネ左記事項中必要ナルモノノミヲ報告スルモノトス但シ既ニ報告セル事項ハ特ニ重要ナルモノノ外重ネテ報

告スルニ及バザルモノトス
 戦闘經過ノ概要、現時ニ於ケル彼我ノ態勢、敵情判断及之ニ對スル自己ノ
 企圖ヲ得レバ此等
 敵ノ兵力、團隊號、特異ナル裝備及戰法
 彼我損害ノ概數
 殘餘ノ彈藥、燃料其ノ他主要ナル資材要スレバ此等ノ消費量ノ概數等
 戦闘要報ハ機ヲ失セズ提出スルコト緊要ナリ故ニ報告事項ノ完備ニ拘泥スル
 コトナク又部下諸隊ノ報告ヲ待ツコトナク速カニ先ツ緊要ナル事項ヲ報告シ
 後逐次之ヲ補修スルモノトス此ノ際所要ノ事項ヲ記入セル要圖ニ依ルヲ可ト
 スルコトアリ

第三十三 歩兵、砲兵及航空兵ハ大(戰)隊(大隊又ハ戰隊ヲ成サザルモノニ
 在リテハ中隊若クハ之ニ準ズル部隊)以上、其ノ他ノ兵種ハ中隊以上ノ各部
 隊(獨立シテ戰闘セル場合ニ於テハ小隊又ハ之ニ準ズル部隊ニ至ル迄)毎ニ戰
 闘後戰闘詳報ヲ調製シ一通ヲ各、其ノ固有ノ直屬上級指揮官及軍隊區分ニ依
 ル直屬上級指揮官ニ提出スルモノトス
 戦闘詳報ノ目的ハ高級指揮官ヲシテ爾後ノ作戰ヲ適切ニ指導スル爲必要ナル
 資料ヲ收領セシメ且將來ニ於ケル戦闘ノ參考ト爲サンガ爲廣ク實戰ニ於ケル
 經驗ヲ輯録スルニ在リ故ニ真相ヲ具體的ニ記述シ且提出迅速ナルニ從ヒ其ノ
 價值愈々大ナルモノトス
 各級指揮官ハ速カニ先ツ自己ノ戰闘詳報ヲ提出シ部下諸隊ノモノハ到着ニ從

提出時機
 戰闘詳報
 ノ目的

戰闘詳報
 記載事項

ヒ之ヲ提出スベシ此等ハ後日順序ヲ經テ大本營ニ進達セララルモノトス
 第三十四 戦闘詳報ハ通常時刻ヲ逐ヒテ必要ノ事項ヲ列記シ且勉メテ其ノ由
 ツテ來ル所以ヲ明カニシ戦闘ノ地域廣大ナルモノニ在リテハ所要ニ應ジ各地
 區毎ニ區分記載シ又各時期ニ於ケル彼我ノ位置ヲ明カニセル要圖爲シ得レバ
 寫眞、寫景圖ヲ添付スルモノトス
 戦闘詳報ニ記載スベキ事項ハ兵種、部隊ノ大小等ニ依リ異ナルモ大部隊ヨリ
 提出スルモノニ包含セシムベキ事項ヲ例示スレバ左ノ如シ

戦闘前ニ於ケル彼我形勢ノ概要
 戦闘ニ影響ヲ及シタル氣象(日出没時刻、夜間地形及住民地ノ状態
 彼我ノ兵力、交戦セシ敵ノ團隊號、將帥ノ氏名、編制、裝備、素質、戰法
 要スレバ敵ノ瓦斯ノ種類及用法並ニ我が防護資材ノ效果
 各時期ニ於ケル戦闘經過(攻撃部署若クハ陣地占領、其ノ主關係部隊ノ動作及連絡施設
 ノ状態)

戦闘後ニ於ケル彼我形勢ノ概要
 齟齬、過失其ノ他將來ノ參考トナルベキ事項等
 受領セル命令、報告、通報ニシテ戦闘ニ影響ヲ與ヘタルモノハ其ノ要旨ヲ本
 文中ニ記載スルカ若クハ其ノ寫ヲ附録トシテ結尾ニ添付ス此ノ際受信日時及
 地點ヲ記載シ置クコト緊要ナリ
 死傷表、鹵獲表及兵器、燃料、瓦斯防護資材等ノ損耗表ハ戦闘詳報附表トシ
 テ之ヲ提出シ又氣球及飛行部隊ハ戦闘詳報附録トシテ昇騰記録又ハ飛行記録

連絡規定

ヲ添付スルモノトス
各人、各隊ノ武功ニシテ特ニ拔群ナルモノハ記事ノ結尾ニ附記スルモノトス

第三章 連絡

第三十五 高級指揮官ハ連絡ノ實施ヲ確實且圓滑ナラシムル爲適時連絡規定ヲ定ムルモノトス

連絡規定ニハ左記事項中必要ノ件ヲ包含セシムルモノトス

連絡擔任區分
通信實施上必要ナル統制事項即チ電報發信權ノ附與又ハ制限、取扱電報ノ制限、通話權ノ附與、通話時間ノ制限、周波數ノ規正及配當、呼出符號ノ配當、通信特ニ無線通信ノ制限若クハ禁止

略號、信號、記號、標旗、標識等ニ關シ特ニ統制スベキ事項
空地連絡ニ關スル事項
警報、非常警報、瓦斯警報、ニ關スル事項
時報及氣象報ニ關スル事項

其ノ他永續的ニ規定スベキ事項等
各級指揮官ハ上級指揮官ノ規定ニ基キ前項ニ準ジ所要ノ事項ヲ規定ス

第三十六 連絡施設ハ指揮官ノ企圖ニ基キ狀況特ニ軍隊ノ配置及爾後ニ於ケ

連絡施設

ル作戰ノ推移ヲ考慮シ緊要ナル方面及時期ニ於テ完全ヲ期シ得ル如クシ其ノ他ニ在リテハ最小限度ニ止ムルモノトス而シテ緊要ナル連絡施設ニ在リテハ常ニ副手段ヲ準備シ連絡ノ中絶ヲ豫防スルヲ要ス

指揮官ハ所望ノ如ク連絡施設ヲ完成セシムル爲之ニ要スル時間ヲ考慮シ機ヲ失セズ連絡機關ニ所要ノ憑據ヲ與フルコト緊要ナリ

第三十七 連絡施設ハ之ヲ統一シテ整然タル系統ヲ確立シ巧ニ之ヲ運用シテ其ノ最大能力ヲ發揮セシムルコト緊要ナリ之ガ爲高級指揮官ハ通常連絡中樞及連絡幹線ヲ定メ又上級指揮官ハ要スレバ部下指揮官ノ行フベキ連絡施設ノ擔任ヲ示シ所要ニ應ジ連絡系統圖(表)ヲ作製シテ連絡ノ系統、時期、手段等ヲ明カナラシメ作戰ノ推移ニ伴ヒ之ヲ補修スルモノトス

第三十八 指揮官ハ自己ノ位置、行動及之ニ伴フ連絡ニ關シ豫メ關係指揮官ニ報告、通報シ通信機關ニ命令又ハ通報シ要スレバ關係通信所(作業頭)ヲ誘導シ以テ常ニ連絡ヲ確保スルコトニ勉ムルヲ要ス狀況ニ依リ部下指揮官ノ位置又ハ進路等ヲ指定スルヲ可トスルコトアリ

指揮官其ノ位置ヲ變更スルニ方リテハ新位置ニ於ケル連絡施設ヲ整ヘタル後ニ於テスルヲ可トス又舊位置ニ必要ノ人員、器材ヲ殘置シ爾後ノ連絡ヲ確保スルヲ要スコトアリ

第三十九 連絡ノ施設ニ方リテハ成ルベク人員、器材ノ節約ヲ圖リ且戰況ノ推移ニ應ズル爲常ニ若干ノ豫備ヲ控置シ又不要ニ歸シタル施設ハ適時之ヲ撤收スルコト必要ナリ

連絡施設

ル作戰ノ推移ヲ考慮シ緊要ナル方面及時期ニ於テ完全ヲ期シ得ル如クシ其ノ他ニ在リテハ最小限度ニ止ムルモノトス而シテ緊要ナル連絡施設ニ在リテハ常ニ副手段ヲ準備シ連絡ノ中絶ヲ豫防スルヲ要ス

指揮官ハ所望ノ如ク連絡施設ヲ完成セシムル爲之ニ要スル時間ヲ考慮シ機ヲ失セズ連絡機關ニ所要ノ憑據ヲ與フルコト緊要ナリ

第三十七 連絡施設ハ之ヲ統一シテ整然タル系統ヲ確立シ巧ニ之ヲ運用シテ其ノ最大能力ヲ發揮セシムルコト緊要ナリ之ガ爲高級指揮官ハ通常連絡中樞及連絡幹線ヲ定メ又上級指揮官ハ要スレバ部下指揮官ノ行フベキ連絡施設ノ擔任ヲ示シ所要ニ應ジ連絡系統圖(表)ヲ作製シテ連絡ノ系統、時期、手段等ヲ明カナラシメ作戰ノ推移ニ伴ヒ之ヲ補修スルモノトス

第三十八 指揮官ハ自己ノ位置、行動及之ニ伴フ連絡ニ關シ豫メ關係指揮官ニ報告、通報シ通信機關ニ命令又ハ通報シ要スレバ關係通信所(作業頭)ヲ誘導シ以テ常ニ連絡ヲ確保スルコトニ勉ムルヲ要ス狀況ニ依リ部下指揮官ノ位置又ハ進路等ヲ指定スルヲ可トスルコトアリ

指揮官其ノ位置ヲ變更スルニ方リテハ新位置ニ於ケル連絡施設ヲ整ヘタル後ニ於テスルヲ可トス又舊位置ニ必要ノ人員、器材ヲ殘置シ爾後ノ連絡ヲ確保スルヲ要スコトアリ

第三十九 連絡ノ施設ニ方リテハ成ルベク人員、器材ノ節約ヲ圖リ且戰況ノ推移ニ應ズル爲常ニ若干ノ豫備ヲ控置シ又不要ニ歸シタル施設ハ適時之ヲ撤收スルコト必要ナリ

人員器材

第三十九 連絡ノ施設ニ方リテハ成ルベク人員、器材ノ節約ヲ圖リ且戰況ノ推移ニ應ズル爲常ニ若干ノ豫備ヲ控置シ又不要ニ歸シタル施設ハ適時之ヲ撤收スルコト必要ナリ

連絡ノ爲
飛行機ノ
利用
第四十 飛行機ハ他ノ連絡施設整ハザル場合ニ於テモ迅速有效ニ連絡ノ目的ヲ達成シ得ルコト多キヲ以テ常ニ其ノ用法特ニ飛行場(著陸場)ノ設定、之トノ通信施設、空地連絡法等ヲ適切ナラシムルコト緊要ナリ

空地連絡ニ方リテハ裝備ニ應ジ連絡事項ノ緩急及要度、爾後ニ於ケル任務達成ノ便否等ヲ考慮シテ其ノ手段ヲ決定スルモノトス

第四十一 空地連絡ハ其ノ特性ニ鑑ミ各種ノ連絡手段ヲ講ジ之ガ確保ヲ期スルト共ニ其ノ實施ニ方リテハ死節時ヲ減ズルコト緊要ナリ之ガ爲地上部隊ノ指揮官ハ自己ノ連絡機關ヲ使用シテ飛行機ト連絡スルノ外絶エズ上空ヲ監視シ友軍飛行機ヲ識別シ其ノ記號ニ注意セシメ飛行機モ亦其ノ任務ニ應ジ地上部隊ノ狀況ヲ審カニシ置クヲ要ス此ノ際飛行機ノ行動ニ依リ司令部ノ位置ヲ察知セラレザルノ注意ヲ必要トス

第四十二 各司令部(本部)相互間ニ於ケル連絡ヲ圓滑適切ナラシムル爲所要ニ應ジ連絡將校ヲ派遣スルモノトス

連絡將校ハ絶エズ所屬部隊ノ現況、爾後ノ行動等ヲ知悉シ必要ニ應ジ先方部隊ノ要求、爾後ノ企圖、該方面ニ於ケル必要ナル狀況等ヲ適時報告スルモノトス

第四十三 司令部(本部)ニハ命令、報告、通報傳達ノ爲所要ノ傳達機關ヲ準備シ且豫メ其ノ用途ヲ考慮シ置クコト必要ナリ

作戰上必要アル場合ニ於テハ命令傳達ヲ容易ナラシムル爲下級部隊ノ命令受領者ヲ一時司令部(本部)ニ招致シ置クコトヲ得

遞傳哨
第四十四 命令、報告、通報傳達ノ爲狀況ニ依リ乘馬、自轉車若クハ徒歩ノ傳令ヲ以テ遞傳哨ヲ設クルコトアリ

第四十五 傳令ノ速度ハ地形、距離、氣象、季節、明暗ノ度等ニ依リ異ナルモ晝間ニ於ケル標準左ノ如シ

乘馬傳令
並 一時間約八軒約三分ノ一ノ歩度即チ常歩二ノ歩度即チ

急 一時間約十軒常歩一ノ歩度即チ

至急 馬力ノ堪フルニ應ジ成ルベク迅速ナル速度

徒歩傳令
並 一時間約五軒速歩ト混用

急 一時間約六軒速歩ト混用

至急 體力ノ堪フルニ應ジ成ルベク迅速ナル速度

自轉車及自動車ノ速度ハ適宜之ヲ定ムルカ若クハ到着時刻ヲ以テ規正スルヲ可トス

第四十六 夜間又ハ地形錯雜等ノ爲關係部隊ノ位置容易ニ判明シ難キ虞アル場合ニ於テハ豫メ所要ノ偵察ヲ行ヒ要スレバ道標其ノ他適宜ノ標識ヲ設ケ且之ニ使用スル傳令ヲ豫定シ置クヲ可トス

第四十七 高等司令部ニ於テハ情報ノ收集及傳達ニ便ナラシムル爲交通路ノ要點ニシテ成ルベク空地連絡ニ便ナル場所ニ情報所ヲ設クルコトアリ

情報所ハ常ニ掩護ノ處置ヲ講ジ又所屬司令部トノ間ニハ連絡施設ヲ完備シ且

軍部隊ト通信部隊

適時其ノ位置ヲ各部隊ニ通報シ所要ノ標示ヲ行フモノトス
情報所ニハ一般ノ狀況ニ通曉セル將校ヲ派遣ス而シテ該將校ハ到着セル情報
ヲ點檢シ其ノ要度及緩急ヲ較量シテ轉送ノ順序及方法ヲ決定スルモノトス
第四十八 軍部隊ハ通信部隊ノ作業實施、宿營、給養等ニ關シ便宜ヲ與ヘ友軍
通信施設ヲ愛護シ又通信施設ノ警戒及掩護、電報配達業務等ニ關シ通信部隊
ヨリ援助ノ請求アルトキハ狀況ノ許ス限り之ニ應ズベキモノトス

命令報告
通報ノ順序

第四十九 命令、報告、通報ノ傳達ハ指揮ノ系統ヲ逐ヒテ之ヲ行フモノトス
然レドモ事急ナル場合ニ於テハ此ノ順序ニ依ルコトナク直接所要ノ部隊ニ傳
達スルヲ通常トス此ノ際省略セル中間部隊ニハ速カニ別報シ同時ニ上級(下
級)ノ部隊ニハ既ニ傳達セシコトヲ知ラシムルヲ要ス

指揮官連

指揮ノ系統ヲ有セザル部隊間ニ於ケル通報ノ傳達ハ協同動作上直接關係ヲ有
スル部隊ニ向ヒ相互ニ之ヲ實施スルヲ通常トスルモ危險ノ迫レル部隊ニ對シ
テハ連絡系統ノ如何ニ拘ラズ速カニ通報スルモノトス
隣接部隊間ニ於ケル連絡ハ通常右ヨリ左ニ行フモノトス狀況ニ依リ上級指揮
官之ヲ指示スルコトアリ若シ兩者間ニ連絡施設ノ暇ナキトキハ直上ノ司令部
又ハ本部ヲ經由シテ連絡スルヲ通常トス
同一ノ命令、報告、通報ヲ同時ニ諸方面ニ傳達スル場合ニ於テハ此ノ旨ヲ併
セ傳ヘ以テ各部隊ヲシテ傳達ノ重複ヲ避ケシムルコト緊要ナリ
第五十 各級指揮官ハ各種連絡機關ノ性能ニ精通シ且常ニ連絡施設ノ狀態ヲ

絡機關ノ
性能精通
ノ要

明カニシ連絡手段ノ選擇ヲ適切ナラシムルヲ要ス而シテ電氣的通信ハ不通若
クハ誤達ノ虞アルヲ以テ特ニ重要ナル事項ハ別ニ筆記又ハ印刷シテ送達スル
コト必要ナリ又飛行機ヲ使用スルニ方リテハ之ガ濫用ヲ戒ムルト共ニ副手段
ヲ講ズルノ著意ヲ必要トス

電話通話

第五十一 電話通信ニ方リテハ勉メテ責任者相互直接ニ通話スルヲ要ス
電話通信ノ爲要スレバ通話者ヲ制限シテ通信ノ濫用ヲ戒メ又秘密事項ヲ通話
スル場合ニ於テハ主任者以外ノ者ヲ遠ザクル等其ノ漏洩ヲ豫防スルノ注意ヲ
必要トス

電話傳達

第五十二 電話ヲ以テ命令、報告、通報ヲ傳達スル場合受話者ハ必ズ之ヲ復
唱シ又筆記電話ニ在リテハ一句毎ニ復唱シツツ之ヲ筆記シ後更ニ其ノ全文ヲ
復唱シ且傳達者ノ氏名及受信日時ヲ附記シ又傳達者ハ受話者ノ氏名及送信日
時ヲ附記シ置クモノトス

視號口頭

視號若クハ口頭ニ依リ重要ナル命令、報告、通報ヲ傳達スル場合ニ於テモ亦
前項ニ準ズ

重要命令
途中不安
時ノ傳達

第五十三 傳令ヲ以テ命令、報告、通報ヲ傳達スルニ方リ其ノ内容特ニ重要
ナルカ或ハ其ノ途中安全ナラザルトキハ數使ヲシテ異ナル經路ヲ取ラシムル
カ或ハ所要ノ人員ヲ同行セシメ爲シ得レバ適任ノ將校ヲシテ之ヲ傳達セシム
ルヲ可トス

第五十四 傳令ニ示スベキ事項概ネ左ノ如シ
受信者及其ノ所在地

項

傳令ニ内
容ヲ知ラ
スノ要

知途中ノ告
務令ノ任
務動作心

經路
速度若クハ歩度要スレバ到著時刻
傳達後ノ處置
其ノ他必要ノ注意

前項ノ外敵ニ關シ顧慮スベキ事項ヲ指示シ經路ノ要圖若クハ之ヲ記入シタル
地圖ヲ與ヘ或ハ磁針ヲ携行セシムルヲ可トスルコトアリ
第五十五 發信者ハ傳令ニ文書ノ内容ヲ知ラシメ置クヲ可トスルコトアリ途
中敵ニ關スル顧慮ヨリ文書ノ破棄、燒却ヲ要スルノ虞アルトキ特ニ然リトス
斯クノ如キ場合ニ於テハ文書ニ我が部隊號ヲ記載スベカラズ
報告及通報ハ途中他ノ司令部及軍隊ニ知ラシムルヲ適當トスルコトアリ此ノ
場合ニ於テハ其ノ旨ヲ傳令ニ示シ傳令ハ途中所要ノ指揮官等ニ簡單ニ之ヲ告
知スルモノトス
第五十六 傳令ノ任務ハ重要ナリ故ニ此ノ勤務ニ服スル者ハ全力ヲ盡クシ其
ノ責任ヲ完ウスベシ
傳令ハ途中上官ニ遇フトキハ「傳令」ト呼ビ其ノ歩度(速度)ヲ變ズルノ要ナシ
又命令、報告、通報ヲ傳達スル爲下馬ヲ要セズ
傳令ハ要スレバ受信者ノ宛名ヲ呼ビテ其ノ所在ヲ索ムベシ此ノ際其ノ附近ニ
在ル者ハ傳令ニ所要ノ告知ヲ爲スベキ義務アルモノトス
傳令途中ニ於テ事故ヲ生ジタルトキハ速力ニ最寄部隊ニ交渉スルヲ要ス此ノ
際各部隊ハ傳令ニ對シ爲シ得ル限り援助ヲ與フルヲ要ス

傳令行動
上ノ注意

傳令出發
傳達

文書ノ記
述要領

通信紙

通信紙ヲ

傳令ハ通過スル沿路ヲ良ク視察シ時々後方ニ面シテ地形ヲ記憶シ歸路ヲ誤ラ
ザルノ注意ヲ必要トス
第五十七 傳令ハ敵ノ視目特ニ飛行機ニ注意シ自己ノ行動ニ依リ司令部、本
部等ノ位置ヲ偵知セラレザルコトニ注意スルヲ要ス然レドモ之ガ爲任務遂行
ノ遲延ヲ許サズ
第五十八 傳令ハ歸途ニ就クニ方リ連絡ノ爲要務ナキヤヲ確メタル後出發シ
又歸著後直チニ命セラレタル上官ニ報告スルモノトス
傳令口頭ヲ以テ命令、報告、通報ヲ傳達スル場合ニ於テハ出發前及歸著後其
ノ事項ノ全部若クハ要旨ヲ復唱スルモノトス

第四章 文書記述ノ要則

第五十九 文書ノ記述ハ爲シ得ル限り簡明平易ナルヲ要ス電文ニ於テ特ニ然
リトス而シテ其ノ長キモノハ適宜條ヲ分チ數字等ヲ附シテ列記シ又一事件ニ
關係スルモノハ一條中ニ記載スルヲ可トス其ノ他字體ヲ明瞭ニシ光明不十分
ナル場合ニ於テモ通讀シ得ベカラシメ又讀誤リ易キ文字ハ特ニ之ヲ明瞭ニ記
載スルコト緊要ナリ
電文冗長ナルカ或ハ難解ノ語句ヲ使用スルトキハ遲延又ハ不通ノ素因ヲ爲ス
モノナルヲ銘心スルヲ要ス
第六十 命令、報告、通報ノ記述ニハ通信紙其ノ他適宜ノ用紙ヲ使用スルモ
ノトス狀況ニ依リ横書ト爲スコトヲ得
通信紙ヲ使用セザル場合ニ於ケル命令ノ種類、番號、標題、發令時、發令地

使用セザル場合
等ノ記述ハ左ノ要領ニ依ル
、命第、號
、命令
發令時
發令時ト稱スルハ命令ノ效力ヲ發生セシムベキ日時ヲ謂ヒ月日時分ヲ以テ之ヲ表ハスヲ通常トス
報告、通報ニ就テモ亦右ニ準ズ
第六十一 命令、報告、通報ニハ爲シ得レバ要圖、寫景圖、寫眞ヲ附シテ煩雜ナル字句ヲ省キ或ハ其ノ意ヲ補足スルヲ可トス而シテ寫景圖及寫眞ニハ描寫(攝影)位置ノ關係其ノ他必要ノ事項ヲ明示スルヲ要ス
第六十二 要圖ハ其ノ目的ニ應ジ必要ノ事項ヲ簡明ニ描畫シ以テ時機ニ適應セシムルヲ要ス之ガ爲或ハ正測圖ニ近キ描畫ヲ爲シ或ハ梯尺ニ依ルコトナク距離及尺度ノ如キハ數字ヲ以テ註記スルニ止ムル等目的ニ依リ其ノ精粗ヲ定ムルモノトス
寫眞ハ其ノ利用ノ目的ニ應ジテ寫眞機及乾板ノ種類竝ニ梯尺、攝影ノ位置、時刻、方向等ヲ定ムルモノトス
透明圖
透明紙ニ必要ナル配備及地圖上ノ標定ニ資スベキ基準ヲ記載シ同梯尺ノ地圖ト併用スルヲ便トスルコトアリ
第六十三 命令、報告、通報ニハ所要ニ應ジ暗號若クハ略號等ヲ使用シ又司令部及軍隊ヲ示ス爲軍隊符號若クハ明瞭ヲ缺カザル略語ヲ使用スルコトヲ得

缺如部隊ノ記述
第六十四 一部ヲ缺キ若クハ配屬シタル軍隊ヲ示スニハ第何隊(屬)或ハ幾隊(屬)ノ文字ヲ括弧内ニ記スルカ或ハ部隊號ノ次ニ缺如(配屬)部隊ト記シ其ノ側ニ缺如(配屬)セル部隊ヲ列記ス又缺如部隊ヲ示スコトナク司令部、本部及之ニ屬スル部隊ノミヲ記スルヲ可トスルコトアリ
編合部隊ヲ部隊號ニ依リ簡單ニ稱呼スル能ハザルトキ等ニ於テハ指揮官ノ氏若クハ地名ニ依リ命名スルヲ可トス
第六十五 右、左、前、後、此方、彼方等ノ語ハ明瞭ニシテ疑ナキ場合ニ於テノミ之ヲ使用スルモノトス
右側、左側、右翼、左翼、右側衛、左側衛、右縱隊、左縱隊等ノ語ハ敵ニ對スル方向ヲ、行軍縱隊ノ先頭、後尾ナル語ハ行進方向ヲ基準トシテ稱呼ス
河川ノ右岸、左岸ハ下流ニ面シテ之ヲ稱呼ス
一地區或ハ軍隊ノ位置ヲ單ニ左右ノ方向ニ從ヒ示スニハ我が軍ニ在リテハ右翼ヨリ、敵軍ニ在リテハ其ノ左翼ヨリ始メ又縱方向ニ在リテハ我が方ヨリ逐次敵方ニ及ブヲ通常トス然レドモ著明ナル地點若クハ地物ヲ基準トシテ示スヲ可トスルコトアリ
座標直角度
座標ヲ以テ地點ヲ示スニハ直角度座標又ハ極座標ニ依ル而シテ直角度座標ニ依ルモノハ地圖ノ方眼番號ノ一位數タル千米ヲ單位トシテ橫座標縱座標ノ順序ニ示ス例ヘバ小梯尺ノ地圖ヲ使用シ概略ノ位置ヲ示ス場合ニ於テハ橫座標二萬三千四百米、縱座標五萬六千米ハ X 三・四一五六〇一又ハ [X 334, Y 560] ト記述シ大梯尺ノ地圖ヲ使用シ精密ニ位置ヲ示ス場合ニ於テハ橫座標

極座標
 三千四百五十六米五〇、縱座標六千七十米ハ「X三・四五五五—Y六・〇七〇〇」又ハ「X3.4555, Y6.0700」ト記述ス又極座標ニ依ルモノハ基準點方位角距離ノ順序ニ示ス例ヘバ三角標高八十三米ノ高地基準、方位角千二百密位、距離六百米ハ「△八三基準 1200m」或ハ「△83標高 1200m」ト記述ス

日ノ記述
 第六十六 日ヲ示スニハ何月何日若クハ明何日、昨何日等ト記述ス時刻ヲ示スニハ二十四時間制ニ依ル而シテ之ヲ略記セントスルトキハ例ヘバ八時三十分ヲ〇八三〇又ハ〇830、十二時ヨリ十五時ニ互ル間ヲ一二〇〇—一五〇〇又ハ1200—1500等ト爲スコトヲ得

夜
 全夜ニ互ル事件ニシテ夜ノ字ヲ用フルヲ要スルトキハ某日夜トハ當日晝暮ヨリト

地名ノ記述
 第六十七 地名ハ明瞭ニ記シ且地圖ト同文字ヲ用ヒ要スレバ使用地圖ヲ明示ス

一地方ニ於テ他ニ同一ノ地名アルトキ若クハ地名著名ナラザルトキハ例ヘバ北部何村或ハ何村(何村東北何軒)等ト記述シテ之ヲ明瞭ナラシム

字或ハ俗稱ニシテ地圖ニ記載ナキモ之ヲ用フルバ其ノ地點明瞭ナルトキ又ハ地名實稱ト異ナル場合ニ於テモ必ず先ヅ地圖ニ記載シアルモノヲ記述シ其ノ下ニ括弧ヲ附シテ字或ハ俗稱又ハ實稱何々ト記シ尙讀難キ地名ニハ振假名ヲ附スルヲ可トス

外國地名
 外國ノ地名及人名ハ漢字ヲ用フルモノニ在リテハ漢字ヲ以テ記載シ其ノ稱呼ハ我が國慣用ノ發音ニ依リ其ノ他ノモノニ在リテハ片假名ヲ以テ記載シ「」ヲ附スルヲ通常トシ必要ニ應ジ原語ヲ併記ス

道路鐵道
 道路及鐵道ハ疑ナキモノノ外ハ著名ナルニ箇以上ノ地名ヲ以テ例ヘバ何村—何村—何町道ト記述ス地線ヲ示ス場合ニ於テモ亦之ニ準ズ

地域ノ示
 地域ハ地名、座標等ニ依リ通常時計ノ針ノ方向ニ其ノ外縁ヲ示ス

村落高地
 某地點又ハ道路等ニ依リ地區ヲ指示スルニ際シ之ヲ包含スルヤ否ヤヲ明示スル必要アルトキハ地名又ハ道路等ノ名稱ノ下ニ括弧ヲ附シテ(含ム)若クハ(含マズ)ト記述スルカ或ハ某地及其ノ附近若クハ某道路及其ノ以南等ト記述シテ之ヲ明瞭ナラシム

森林
 全部、高地、森林等ヲ指示スルニ方リ誤解ノ虞アルトキハ其ノ某點ナリヤ、全部ナリヤ等ヲ明瞭ナラシムルコト緊要ナリ

地圖ニ依
 第六十八 命令、報告、通報中地形ニ關スル記述ニ方リテハ地圖ニ依リテ其ノ名稱ヲ指示ス然レドモ地圖ヲ參照スルニアラザレバ了解シ得ザル事項ハ受信者同一ノ地圖ヲ携帶スルコト確實ナル場合ニ於テシ且使用地圖ノ種類、梯尺、製版又ハ測圖年月等ヲ明記スルヲ要ス又標高點ヲ示スニハ常ニ補足ノ語ヲ用ヒ例ヘバ何村西方何軒ニ在ル三角標高何々ト記述シ以テ過誤ヲ豫防ス

第三篇 情報
 第六十九 情報勤務ノ目的ハ敵情、地形、氣象等ニ關スル諸情報ヲ收集審査

情報勤務ノ目的規定

シテ指揮官ノ決心及指揮ニ必要ナル資料ヲ得ルニ在リ
 第七十 情報勤務ハ其ノ重點ヲ確立シ脈絡一貫セル組織ニ依リ始メテ能ク目的ヲ達成シ得ルモノトス故ニ高級指揮官ハ情報勤務規定ヲ定メ且作戰ノ進捗ニ伴ヒ適時之ヲ補修シ全般ノ勤務ヲ統制スルヲ要ス
 情報勤務規定ニ包含セシムベキ事項概ネ左ノ如シ
 情報ノ報告、通報情報會報ニ關スル事項
 戰車、砲兵、工兵、飛行機、瓦斯、氣象等ニ關スル特殊ノ情報ノ統制ニ關スル事項
 目標又ハ地點、地域等ノ符(番)號ノ配當及命名法其ノ他所要ノ符號等ニ關スル事項
 作戰用地圖及空中寫眞ニ關スル事項
 俘虜ノ取扱ニ關スル事項
 諜報勤務其ノ他ニ關シ永續的ニ規定スベキ事項等
 各級指揮官ハ其ノ職域ニ應ジ要スレバ前項ニ準ジ所要ノ事項ヲ規定ス
 第七十一 情報収集ノ主要ナル手段ハ搜索及諜報勤務トス而シテ此ノ兩者ハ緊密ナル關係ヲ有スルヲ以テ搜索ニ依リ直接ニ敵ノ位置、兵力、行動、施設等ヲ探知スルト共ニ諜報ノ結果ヲ利用シテ搜索ノ結果ヲ補綴確定シ或ハ搜索ノ端緒ヲ求メ又搜索ト同時ニ諜報資料ヲ獲得スルコト緊要ナリ
 情報ノ収集ニ方リテハ手段ヲ盡クシ敵ヲ致シテ其ノ狀態、企圖等ヲ暴露セシムルノ有利ナルコトアルニ著意スルヲ要ス

情報収集ノ手段

情報審査

第七十二 収集セル情報ハ的確ナル審査ニ依リ其ノ眞否、價值等ヲ決定スルヲ要ス之ガ爲先ヅ各情報ノ出所、偵知ノ時機及方法等ヲ考察シテ正確ノ度ヲ判定シ次テ之ト關係諸情報トヲ比較綜合シテ判決ヲ求ムルモノトス又縱ヒ判決ヲ得タル情報ト雖モ更ニ審査ヲ繼續スルノ著意アルヲ要ス
 敵情ノ逐次變化スル過程ヲ系統的ニ討究スルトキハ其ノ狀態、企圖等ヲ判斷スルノ憑據ヲ得ルコト少カラザルヲ以テ連續的ニ情報ヲ収集スルコト緊要ナリ
 既得ノ情報ニ依リ的確ナル判決ヲ求メ得ザル場合ニ於テモ爾後速カニ偵知スベキ事項ヲ判定シ以テ情報収集ニ便ナラシムルヲ要ス
 第七十三 情報ノ審査ニ方リテハ先入主トナリ或ハ的確ナル憑據ナキ想像ニ陥ルコトナキヲ要ス又一見瑣末ノ情報ト雖モ全般ヨリ觀察スル力若クハ他ノ情報ト比較研究スルトキハ重要ナル資料ヲ得ルコトアリ尙局部的判斷ニ囚レ或ハ敵ノ欺騙、宣傳等ニ依リ往々大ナル誤謬ヲ招來スルコトアルニ注意スルヲ要ス
 第七十四 高等司令部ニ於テハ爲シ得ル限り情報記録ヲ作製シテ審査セル情報ノ整理、利用及傳達ニ便ナラシムルヲ要ス而シテ情報記録ハ記録及情報圖ヲ併用スルヲ通常トス
 其ノ他ノ司令部及本部ニ於テモ亦前項ニ準ジ情報記録ヲ作製スルコトアリ
 第七十五 審査セル情報ハ通常直チニ報告、通報シ以テ關係指揮官ノ利用又ハ情報審査ニ資スルヲ要ス狀況ニ依リ高級指揮官ハ時期ヲ劃シ某期間ノ情報

情報審査ノ注意

情報記録

審査情報ノ報告通報

ヲ一括シテ報告、通報セシムルコトアリ

第一章 搜索

第七十六 搜索部署ノ決定ニ方リテハ搜索ノ目的、時期及範圍特ニ搜索ノ重
點ヲ定メ各種搜索機關ノ特性ヲ考慮シ之ニ適切ナル任務ヲ配當シテ互ニ長短
相補ヒ且連繫ヲ緊密ナラシムルヲ要ス

第七十七 遠距離搜索ハ主トシテ高級指揮官其ノ作戰指導ノ爲必要ナル遠距
離ノ目標ニ對シ行フモノニシテ通常飛行機時トシテ騎兵、機械化部隊等之ニ
任ズルモノトス而シテ搜索目標ハ狀況ニ基キ作戰ノ推移ヲ洞察シテ選定スベ
キモ敵ノ輸送及集中狀態、兵團ノ行動、飛行場其ノ他重要ナル後方施設、必
要ナル地形等ハ價值アル搜索目標トス

第七十八 近距離搜索ハ主トシテ各級指揮官戰術上ノ部署及戰鬪指導ニ必要
ナル資料ヲ收集スル爲實施スルモノニシテ敵ト近接スルニ從ヒ益々之ヲ周密
ナラシムルヲ要ス之ガ爲先ヅ騎兵、飛行機等之ニ任ジ敵ニ近接スルニ從ヒ各
部隊モ亦自ラ斥候、小部隊等ヲ以テ之ヲ實施スルモノトス

近距離搜索ハ概ネ左記事項ニ關シ實施スルモノニシテ指揮官ノ職域及時期ニ
應ジ適宜取捨スルモノトス

敵ノ兵種、兵力、位置及行動
敵ノ配備、陣地特ニ其ノ翼ノ狀態及團隊ノ接際部
敵ノ機甲部隊、瓦斯部隊等ノ有無及狀態

直接戰鬪ニ關係アル敵側背ノ狀況
戰鬪指導ニ關係アル地形、撒毒地域等

第七十九 瓦斯搜索ハ一般搜索ト併セ實施スルヲ通常トス之ガ爲所要ニ應ジ
搜索機關ニ瓦斯勤務員及器材ヲ配屬スルモノトス然レドモ特殊ノ目的ヲ以テ
特ニ瓦斯斥候ヲ派遣スルコトアリ

第八十 俘虜ヲ獲ルハ敵情ヲ明カナラシムル爲有效ナル手段ナルヲ以テ各部
隊ハ成ルベク敵兵ヲ捕獲スルコトニ勉ムルヲ要ス

狀況ニ依リ俘虜ヲ獲ル目的ヲ以テ局地ノ攻撃ヲ行フコトアリ

第八十一 指揮官ハ一度敵ト接觸スルヤ晝夜ヲ問ハズ之ヲ確保シ且其ノ狀況
ヲ搜索スルノ責任ヲ有ス斥候モ亦其ノ任務ニ妨ナキ限リ此ノ趣旨ニ依リ行動
スベキモノトス

敵方ニ對シ連續不斷ノ監察ヲ續行シ微細ノ徵候ヲモ綜合判斷シテ敵情ヲ得ル
ヲ有利トスルコト少カラズ之ガ爲指揮官自ラ視察ヲ行フノ外所要ノ機關ヲシ
テ絶エズ敵情ヲ監視セシムルコト緊要ナリ

第八十二 搜索ニ方リテハ兵力ノ大小ヲ問ハズ積極的手段ニ依リ目的ノ達成
ニ勉ムルヲ要ス之ガ爲敵ノ慣用戰法ヲ看破シテ其ノ弱點ニ乘ジ或ハ地形、氣
象ヲ利用シテ敵ノ意表ニ出テ或ハ所要ノ兵力ヲ以テ敵ヲ攻撃スル等ノ處置ヲ
講ズルト共ニ敵ノ欺騙動作ニ惑ハサレザルコトニ注意スルヲ要ス

第八十三 搜索ニ任ズル者一事件ヲ觀察シタルトキ直チニ之ヲ報告スベキヤ
或ハ爾後ノ搜索ノ結果ヲ待チテ報告スベキヤ等報告ノ時機及内容等ハ良ク指

機及内容	命令ナキ トキト雖 モ地形其 他ノ報告	搜索者ノ 輕裝	空中搜索 ノ要領
------	------------------------------	------------	-------------

揮官ノ意圖ニ投合セシムルヲ要ス然レドモ初メテ敵ヲ發見シタルトキ、有力ナル部隊トハ新奇ナル瓦斯ヲ發見シタルトキ、既知ノ狀況ト相違セシトキ、狀況ノ激變ヲ認メタルトキ、某目的ノ又ハ一任務ヲ達成シタルトキ等ニ於テハ速カニ之ヲ報告スルモノトス

某地方ニ於テ未ダ敵兵ヲ發見セザルコトヲ知ルモ亦指揮官ノ爲往々緊要ナルコトアリ又爾後ノ搜索ニ依リ既往ノ情報ヲ確實ニシ或ハ一定ノ時間中ニ於ケル狀況變化ノ有無ヲ知ル等ハ指揮官ノ爲大ナル價值アルモノトス

第八十四 搜索ニ任ズル者ハ命令ナキトキト雖モ地形、交通、通信、此等ニ對シ氣象ノ及ス影響、地方物資及利用スベキ材料ノ狀況、住民ノ意向及動靜等ニ關シ緊要ナル事項ヲ搜索シ之ヲ報告スルヲ要ス特ニ近距離搜索ニ在リテハ豫想戰場附近ニ於ケル地形ノ特性ニ著眼スルコト緊要ナリ

地圖ナキカ或ハ其ノ不完全ナル地方ニ於テ最前方ニ行動スル部隊ハ勉メテ經過地域ノ要圖ヲ調製スルカ若クハ地圖ヲ補修シテ報告スルヲ要ス

第八十五 搜索部隊及斥候ハ狀況特ニ其ノ任務ニ依リ爲シ得レバ輕裝セシメ又彈藥、糧食、燃料等ヲ増加携行セシメ尙作戰地ノ狀況ニ依リ特殊ノ移動機關ヲ利用セシムルヲ有利トスルコトアリ

第一節 飛行部隊、氣球部隊

第八十六 空中搜索ハ主トシテ偵察飛行隊之ニ任ズルモノニシテ勉メテ敵ノ不意ニ乘ジ神速ニ目的ヲ達成スルヲ可トス此ノ際爲シ得レバ我が戰闘機活動

偵察飛行 隊直協行	偵察飛行 隊使用要
--------------	--------------

ノ時期或ハ敵戰闘機活動ノ間隙等ヲ利用スルヲ有利トス而シテ搜索ノ時期及地域愈々局限セラルルニ從ヒ搜索ヲ強行スルノ必要益々増大スベキヲ以テ特ニ敵機ニ對スル警戒ヲ嚴ニスルト共ニ其ノ行動ヲ敏活適切ナラシムルコト緊要ナリ

第八十七 偵察飛行隊ハ作戰ノ初期ニ在リテハ通常軍ニ於テ其ノ全部若クハ大部ヲ統一使用シ戰闘ヲ豫期スルニ至レバ通常直協飛行隊ヲ第一線兵團、軍直轄砲兵隊等ニ配屬スルモノトス而シテ直協飛行隊ノ配屬ニ方リテハ之ガ分割ヲ避クルヲ要ス

大ナル機械化部隊、騎兵部隊其ノ他軍主力ト離隔シテ作戰スル兵團ニハ飛行場及連絡ノ關係ヲ許セバ作戰ノ當初ヨリ直協飛行隊ヲ配屬スルヲ可トス

第一線兵團、軍直轄砲兵隊等ニ配屬セル直協飛行隊ハ其ノ要度ヲ減ズルカ若クハ當該兵團等トノ連絡困難ナルニ至レバ適時之ヲ統一使用スルコト緊要ナリ

第一線兵團等ニ配屬セル直協飛行隊ト雖モ其ノ飛行場ノ諸勤務、補給等ニ關シテハ本屬ノ隊長ニ於テ之ヲ處理スルモノトス

第八十八 偵察飛行隊ヲ使用スルニ方リ高級指揮官ハ狀況特ニ飛行隊ノ機種、機數、連絡施設ノ狀態等ヲ考慮シテ飛行隊長ニ自己ノ企圖及總括的任務ヲ明示シテ適宜處置セシムルカ又ハ逐次達成スベキ目的要スレバ使用時期、機數等ヲ示スモノトス

何レノ場合ニ於テモ飛行隊ヲ使用スルニ方リテハ特ニ之ガ濫用ヲ戒メ重點使

用ニ留意シ以テ最モ重要ナル方面及時機ニ於ケル搜索ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス

第八十九 直協飛行隊ヲ第一線兵團等ニ配屬スルニ至レバ所要ニ應ジ其ノ戰闘指導ニ直接關係アル搜索地域ヲ配當スルモノトス

第九十 飛行機ヲ以テスル搜索ハ視察又ハ寫眞ニ依リ或ハ之ヲ併用ス其ノ何レニ依ルベキヤハ主トシテ搜索ノ目的、敵情、氣象、時刻、搜索結果利用ノ時期等ヲ考慮シテ之ヲ定ムルモノトス

第九十一 視察ハ空中搜索ノ主要ナル手段ニシテ廣範圍ニ互ル搜索ニ便ナリ指揮官又ハ幕僚ハ所要ニ應ジ自ラ飛行機ニ依リ戰況、地形其ノ他全般ノ狀況ヲ觀察スルヲ有利トス

第九十二 空中寫眞ハ詳細正確ナル情報ヲ得ルノミナラズ之ヲ地圖ニ代用シ或ハ之ニ依リ地圖ヲ作製スル等重要ナル價值ヲ有ス然レドモ廣汎ナル地域ニ互リ寫眞撮影ヲ實施スルハ通常困難ナルヲ以テ寫眞搜索ノ地域ハ作戰上重要ナル部分ニ制限スルヲ要ス

寫眞搜索ヲ命ズルニ方リテハ搜索目的、撮影地域若クハ目標、提出時期及部數要スレバ寫眞ノ種類、梯尺等ヲ明示スルモノトス

寫眞搜索ヲ實施セル部隊ハ寫眞ノ完成ニ先ダチ主要事項ヲ報告スルコト緊要ナリ

第九十三 寫眞搜索ニ方リテハ其ノ目的ニ應ジ斜寫眞又ハ所要ノ梯尺ヲ以テ廣範圍ニ互ル寫眞搜索ハ通常軍司令官之ヲ統一シテ實施スルモノトス

直協飛行隊
搜索
飛行機
搜索法
視察
指揮官及幕僚ノ觀察
空中寫眞

斜寫眞、

垂直寫眞ハ地圖的價值ヲ有シ斜寫眞ハ目標及地形特ニ其ノ高低起伏ノ觀察ニ便ナリ而シテ同一目標又ハ地域ヲ時日ヲ隔テ前後數回撮影シ此等ヲ比較研究スルハ狀況ノ變化、敵ノ企圖等ヲ判斷スル爲重要ナル價值ヲ有スルモノトス何レノ場合ニ於テモ空中寫眞ハ之ヲ雙眼寫眞トシテ利用スルヲ有利トス

第九十四 偵察飛行隊ノ飛行場設定ニ方リテハ成ルベク所屬高級指揮官ノ位置ニ近ク之ヲ選ビ要スレバ更ニ近ク連絡ノ爲著陸場ヲ設クルモノトス此ノ際適時既設飛行場ヲ獲得シ之ヲ利用スルヲ得バ有利ナリ

飛行場ノ施設及警戒、飛行隊ト關係指揮官トノ連絡等ニ關シ遺憾ナカラシムルハ所屬高級指揮官ノ責任トス

第九十五 氣球部隊ハ戰闘ヲ豫期スルニ至レバ其ノ大部若クハ全部ヲ第一線師團及軍直轄砲兵隊ニ配屬スルモノトス

氣球部隊ノ搜索ニ關シテハ第九十乃至第九十三ヲ準用ス

第二節 騎兵

第一款 大ナル騎兵部隊

第九十六 大ナル騎兵部隊ハ搜索ノ爲配屬セラレタル直協飛行隊ヲ使用スルノ外搜索隊又ハ將校斥校ヲ派遣シ或ハ之ヲ併用ス

搜索隊ハ常ニ友軍飛行機トノ連絡ヲ密ナラシムルコト緊要ナリ

第九十七 搜索隊ノ數ハ狀況ニ依リ之ヲ定ム

一搜索隊ノ兵力ハ通常騎兵約一中隊又ハ戰車約一中隊トスルモ狀況ニ依リ騎

垂直寫眞
飛行場設定
氣球部隊
九一九

直協飛行隊
搜索隊
搜索ノ數
兵力

砲兵各種
情報機關

支隊ヲ以
テスル搜

威力偵察

索

力偵察

質

斥候ノ性

力編組

第四百八 砲兵ノ各種情報機關ハ各々其ノ特性ヲ發揮セシムル如ク搜索ニ使用
スルモノトス此ノ際他ノ部隊ヲシテ搜索ヲ援助セシムルヲ有利トスルコトアリ

第四百九 狀況ニ依リ步兵部隊若クハ諸兵連合ノ支隊ヲ派遣シ搜索ニ任ゼシム
ルコトアリ此ノ部隊ハ敵ノ監視部隊又ハ前進部隊等ヲ驅逐シテ其ノ背後ノ狀

況ヲ搜索スル爲メ戰闘ヲ行フヲ要スルコトアリ

第五百十 敵ニ近接セル場合ニ於テ各種ノ手段ヲ以テスルモ尙所望ノ敵情ヲ明
カニスルヲ得ザルトキハ搜索ノ爲メ攻撃ヲ行フヲ要スルコト少カラズ而シテ此

ノ機會ヲ利用シ他ノ各種搜索機關ヲ巧ニ活動セシムルコト緊要ナリ

前項ノ如キ搜索ニ於テハ攻撃ニ用フル兵力ノ大ナルニ從ヒ敵トノ離脱益々困
難トナルニ注意スルヲ要ス

搜索ノ爲メ強大ナル兵力ヲ用ヒ攻撃スル場合ニ於テハ高級指揮官ノ的確ナル統
一指揮ノ下ニ之ヲ行ヒ主力ハ機ヲ失セズ其ノ結果ヲ利用シ得ルノ準備ニ在ル
コト特ニ緊要ナリ

第五百十一 斥候勤務ニ當ル者ハ剛膽、慧敏、熱心、沈著ニシテ責任觀念旺盛
ナラザルベカラズ

第五百十二 斥候ノ數、兵力、編組及裝備ハ搜索ノ目的、斥候ニ與フル任務、
敵情、地形、之ヲ派遣スル部隊ノ大小、搜索ノ爲メ使用シ得ベキ時間、報告ノ

徒歩斥候

砲兵工兵

戰車斥候

斥候注意及

夜間斥候

領

斥候ノ要

領

送達法、住民ノ動靜等ヲ考慮シテ之ヲ定ムルモノトス如何ナル場合ニ於テモ
其ノ人馬特ニ斥候長ノ人選ヲ適切ナラシムルコト緊要ナリ

第五百十三 徒歩斥候ハ隱蔽シテ行動シ得且夜間ノ潛行ニ適スルヲ以テ敵ト近
接セル場合ニ於テ重要ナル任務ヲ果シ得ルモノトス特ニ步兵將校斥候ハ斯ク

ノ如キ場合ニ於テ大ナル價值ヲ有ス

第五百十四 敵陣地ノ偵察或ハ特別ノ目的ヲ以テスル地形偵察等ノ爲メ步兵斥候
ノ外砲兵及工兵斥候ノ派遣ヲ必要トスルコトアリ此ノ際附近ニ在ル步兵部隊

ハ要求ニ應ジ之ヲ援助スルノ義務アルモノトス

第五百十五 戰車(裝甲車)ハ地形妨ナキ限り短時間内ニ搜索ヲ強行スルニ適ス
ルモノトス而シテ戰車斥候ハ二車以上ヲ以テスルヲ通常トシ近距離ニ於テハ

單車ヲ使用スルコトアリ

第五百十六 斥候派遣ニ方リテハ搜索事項及報告時期ヲ明示スルト共ニ任務達
成ニ必要ナル時間ノ餘裕ヲ與フルコト緊要ナリ

夜間斥候ヲ派遣スルニ方リテハ勉メテ其ノ任務ヲ單一ニシ爲シ得レバ基準線
ノ標示、目標燈ノ設置等ニ依リ方向維持ニ便ナラシメ且常ニ音響防止ノ處置

ヲ講ゼシムルノ著意必要ナリ

長時間斥候ヲシテ接觸ヲ保持セシメ或ハ一地ニ潛伏セシメ以テ敵ノ狀態
ヲ偵知セシムルヲ利トスルコト少カラズ

第五百十七 斥候ハ先ヅ一般ノ狀況ト自己ノ任務トヲ了解シ之ニ適應スル如ク
搜索ノ順序及方法ヲ定ムルコト必要ナリ

視察
斥候ノ主要ナル搜索手段ハ視察トス然レドモ敵ノ斥候若クハ小部隊ニ對シテハ任務及狀況ノ許ス限リ攻勢的ニ動作スルヲ要ス
戰車(裝甲車)ハ其ノ機動力ト火力トノ適切ナル利用ニ依リ敵ノ抵抗ヲ排除スルカ若クハ迂回シテ敵線内ニ侵入シ速カニ搜索ノ目的ヲ達成スルコトニ勉ムルヲ要ス

斥候ノ搜索法
第百十八 斥候ハ展望點ヨリ展望點ニ向ヒ躍進スルヲ通常トス狀況ニ依リ斥候長ハ部下ヲ認知シ易キ地點ニ留メ單身又ハ若干ノ部下ヲ伴ヒ更ニ挺身シテ搜索シ或ハ要點ニ位置シ更ニ近距離ニ小斥候ヲ派遣シテ搜索スルヲ利トスルコトアリ又豫メ適當ノ地點ニ潜伏シテ敵情ヲ搜索スルヲ利トスルコトアリ
休息ニ際シテハ適當ナル潜伏所ヲ索メ敵ニ發見セラレザルコト及敵情搜索ヲ中絶セザルコトニ注意シ尙敵意ヲ有スル地方ニ於テハ大ナル住民地ヲ再ビ通過セズ村落及圍牆内ニハ長ク位置セザルヲ要ス又夜間ニ在リテハ位置ノ變換ニ依リ安全ヲ期シ得ルコトアリ

相互及後方連絡
斥候相互間及後方トノ連絡ノ爲ニハ各種通信器材ヲ利用スルノ外豫メ簡單ナル記號ヲ又夜間ノ識別ヲ容易ナラシムル爲メ合言葉ヲ定ムルヲ可トス

散毒地域ノ報告
第百十九 斥候若シ散毒地域ニ遭遇セバ速カニ之ヲ報告スルト共ニ任務ニ支障ナキ限リ最寄部隊ニ通報シ且所要ノ標示ヲ爲シタル後本來ノ任務ニ從事スルモノトス

瓦斯斥候
第百二十 撤毒ヲ豫期スル地域又ハ既ニ偵知セル撤毒地域若クハ一時瓦斯滯留地域ノ細部ノ搜索ヲ必要トスルトキ等ニ於テハ特ニ瓦斯斥候ヲ派遣スルヲ

軍隊課報
第百二十一 課報勤務ハ通常特殊ノ組織的機關ニ依ルベシト雖モ軍隊モ亦各種ノ手段ヲ講シ機會ヲ捉ヘテ狀況偵察ノ資料ヲ獲得スルコトニ勉ムルヲ要ス

防諜
課報ハ敵モ亦絶エズ之ヲ行フベキヲ以テ各級指揮官以下常ニ周到ナル注意ヲ拂ヒ防諜上遺憾ナキヲ期スベシ

課報勤務
第百二十二 課報勤務ハ敵ノ國民性、作戰地住民ノ性情、作戰經過ノ時期等ニ適應スル如ク之ヲ企畫シ又敵ノ宣傳ニ關シテハ其ノ真相ヲ明カナラシムルコト緊要ナリ而シテ住民ノ感情ハ課報勤務ニ影響ヲ及スコト大ナルヲ以テ之ニ對スル施設、態度等ヲシテ課報勤務ノ實施ニ便ナラシムル如ク留意スルヲ要ス

課報材料ノ蒐集
第百二十三 住民ノ言ヲ聽キ又新聞紙、信書、電信及郵便局、通信所、官公署、旅舍等ニ在ル文書ヲ押收シ其ノ他各種ノ徵候等ヲ判斷スルトキハ重要事

通常トス
瓦斯斥候ハ瓦斯勤務員ヲ主體トシ要スレバ連絡、掩護等ニ任ズル人員ヲ加ヘ又所要ノ防毒具、檢知及標示器材等ヲ携行セシムルモノトス
撤毒地域細部ノ搜索ニ任ズル斥候ハ瓦斯撤毒ノ有無ニ注意シツツ前進シ撤毒地域、瓦斯ノ種類及效力、撤布狀態、安全通路、制毒ニ便ナル地域、制毒ノ方法及所要材料、要スレバ通過ノ要領、迂回路ノ有無及價值、爲シ得レバ撤毒地域ニ指向セラレベキ敵ノ火器ノ位置及種類等ニ關シ任務上必要ナル事項ヲ搜索シ且所要ノ標示ヲ爲スモノトス

第二章 課報

敵ノ暗號
略號通信
規定傍受
無線傍受
有線傍受
俘虜ノ訊
問事項

項ヲ探知シ得ルモノトス。斯クノ如キ資料ハ搜索部隊、斥候等ノ外各部隊モ亦之ガ収集ニ勉ムルヲ要ス。文書ハ時トシテ視エ難キ方法等ニ依リ記載セラレアルヲ以テ之ガ調査ニハ特別ノ注意ヲ必要トス。

第百二十四 軍隊敵ノ暗號、略號、通信ニ關スル規定等ヲ押收又ハ諜知セルトキハ速カニ高級指揮官ニ報告スルモノトス。

無線通信ノ傍受、有線通信ノ傍受等ニ依リ重要ナル事項ヲ知得シ得ルコトアリ。

第百二十五 俘虜ノ言、敵ノ携帶又ハ遺棄セル文書、地圖、兵器及材料特ニ化學戰資材、敵砲彈ノ破片等ハ有利ナル情報資料タルベキヲ以テ之ガ收集利用ニ遺憾ナキヲ要ス。

第百二十六 俘虜ヲ獲タルトキハ直チニ其ノ携帶書類ヲ押收シ要スレバ緊要事項ヲ訊問シ其ノ結果ト共ニ速カニ上級指揮官ニ送付スルヲ要ス。此ノ際俘虜ヲ獲タル地點及日時ヲ明カナラシムルコト必要ナリ。

俘虜ノ訊問ハ各人ニ就キ場所ヲ異ニシテ之ヲ行ヒ其ノ陳述スル所彼此一致スルノ多寡ニ依リ狀況ノ眞否ヲ判定スルモノトス。

俘虜ニ對シ訊問スベキ主要ナル事項概ネ左ノ如シ
所屬部隊及其ノ任務、位置、編制、裝備、新ニ支給セラレタル資材、最近受ケタル命令、其ノ部隊ニ連繫スル他ノ部隊、高級指揮官ノ氏名及所在、前夜ノ宿營、戰鬪及行軍ノ狀態、特ニ實施シアル訓練、給養ノ適否、志氣

住民其他
間諜ノ使
住民ノ間
防諜及軍
機洩洩ノ注
私信ノ注

ノ振否、團結ノ良否、行動地域ノ地形等
俘虜ニ對スル訊問事項ハ當時ノ狀況ニ適應セシメ縱ヒ時間ノ餘裕少キ場合ニ於テモ所屬部隊、其ノ位置等ハ必ズ之ヲ訊問スルヲ要ス。

第百二十七 住民ノ意向、態度、敵兵宿營又ハ休憩ノ跡、交通、通信機關設置ノ方向及其ノ破壊ノ方法等ヲ仔細ニ觀察スルトキハ敵情判斷ノ憑據ヲ得ルコトアルヲ以テ之ガ利用ヲ忽セニスベカラズ。

第百二十八 間諜ノ使用ニハ細心ノ注意ヲ必要トス而シテ間諜ニハ我が知ラント欲スル點ハ之ヲ明示スベキモ我が目的ハ決シテ之ヲ知ラシムベカラズ。

間諜ニ與フル任務ハ成ルベク之ヲ單一ニシ且同一目的ノ爲個々ニ任務ヲ與ヘタルニ名以上ヲ別々ニ派遣スルヲ可トス。

敵方ヨリ來レル我が間諜ハ訊問スルコトナク之ヲ派遣シタル司令部等ニ護送スルモノトス敵ノ間諜ノ疑アル者ノ取扱モ亦之ニ準ズ。

第百二十九 作戰地ニ於テハ住民モ亦屢々意想外ノ信號、無線通信、鳩等ヲ利用シ間諜行爲ヲ爲スコトアリ故ニ細心ノ注意ヲ以テ其ノ行動ヲ監察シ之ガ取締ニ遺漏ナキヲ要ス。

第百三十 敵ノ諜報ヲ防ギ且軍機ノ洩洩ヲ避クル爲高級指揮官ハ所要ノ規定ヲ設ケ之ヲ嚴守セシムルヲ要ス。

軍ノ秘密ハ私信ニ依リ洩洩スルコト少カラズ故ニ各人ハ私信中ニ我が軍ノ企

意

圖、狀態、部隊號、地點、日時等ヲ記載セザルヲ要ス之ガ爲各部隊長ハ所要ニ應ジ部下ノ私信ヲ點檢スルコトヲ得

第四篇 警戒

通則

警戒勤務ノ目的

第三百三十一 警戒ノ目的ハ敵及敵意ヲ有スル住民等ニ對シ其ノ奇襲ヲ豫防スルト共ニ我が狀況ヲ掩蔽シ以テ軍隊ノ安全ト行動ノ自由トヲ圖ルニ在リ而シテ此ノ勤務ニ服スル指揮官以下ノ責任ハ特ニ重大ナリ

全般警戒

第三百三十二 警戒ハ上級指揮官ノ行フ全般ノ爲ノ部署ノ外各部隊ノ直接警戒ニ依ルモノトス

直接警戒

直接警戒ハ各部隊自ラ之ヲ行フベキモノトス而シテ自衛力少キ部隊ノ警戒ニ關シ狀況之ヲ要スレバ上級指揮官機宜ノ處置ヲ講ズルヲ通常トスルモ比隣部隊ハ縱ヒ命令ナキトモ雖モ要スレバ之ニ協力スベキモノトス

警戒心ノ充實

第三百三十三 警戒ヲ完カラシメンガ爲ニハ各人各個ノ警戒心ノ緊張ニ待ツモノ多シ故ニ絶エズ細心ノ注意ヲ拂ヒ又間諜及住民ニ對シテモ不斷ノ警戒ヲ加ヘ以テ些細ノ不注意ニ因リ全般ノ不利ヲ來スガ如キコトナキヲ要ス

警戒兵力ノ節用

第三百三十四 警戒勤務ハ軍隊ヲ疲勞セシムルコト大ナルヲ以テ之ニ用フル兵力ハ勉メテ節約スルヲ要ス之ガ爲警戒部署ヲ適切ナラシムルト共ニ各種ノ補助手段ヲ巧ニ利用スルコト緊要ナリ

搜索ト警戒

第三百三十五 搜索ノ周密ナルハ警戒ノ主要條件ナリ故ニ警戒部隊ハ絶エズ其ノ所在地附近ヲ搜索スルト共ニ所要ニ應ジ尙遠キニ互リ搜索ヲ行フヲ要ス

警戒部隊ノ主力及他隊ノ連絡

第三百三十六 警戒部隊ハ其ノ主力トノ連絡ヲ緊密ニスルノ外隣接部隊トノ連絡ニ勉メ又騎兵、機械化部隊等軍ノ前面ニ在ルトキハ爲シ得レバ之トノ連絡ヲ保持スルヲ要ス

敵機ノ攻撃

第三百三十七 敵ノ飛行機、戰車、瓦斯等ニ對シテハ勉メテ攻撃ノ機會ヲ與ヘザル如ク我が行動ヲ律スルト共ニ若シ其ノ攻撃ヲ避ケ難キ狀況ニ於テハ各種ノ手段ヲ盡クシテ速カニ之ヲ發見シ對策ヲ機ヲ失セザルコト緊要ナリ此ノ際最モ戒ムベキハ此等ノ敵ニ牽制セラレテ戰機ヲ逸シ或ハ我が重要ナル企圖ヲ暴露スル等全局ノ不利ヲ來サザルニ在リ

對空班

第三百三十八 歩兵大隊長、戰車聯隊長、騎兵聯隊長、砲兵大隊長、工兵聯隊長、輜重兵中隊長其ノ他此等ニ準ズル部隊長ハ敵飛行機ノ監視及友軍飛行機トノ連絡ノ爲通常對空班ヲ設クルモノトス狀況ニ依リ此ノ目的ノ爲部下各中

對空射擊

(小) 隊長等ヲシテ必要ノ處置ヲ爲サシムルコトアリ

對空處置

(小) 隊長等ハ必要ナル對空射擊準備ニ於テ缺クル所ナキヲ要ス

戰場防空

第三百三十九 高級指揮官ハ戰場附近ニ於ケル防空ノ爲所要ノ高射部隊、照空部隊等ヲ部署スルノ外要スレバ各部隊ニ對空監視、對空射擊部隊ノ兵力、各部隊相互ノ協同、欺騙行動、燈火ノ處置等ニ關シ必要ノ事項ヲ命令スルモノトス又友軍飛行機識別ノ爲其ノ飛行、記號等ニ關シ所要ノ事項ヲ規定シ之ヲ

駐軍久シ
防空
キトキノ

對空班ノ
編組動作

對空射擊
部隊

地上部隊ニ知ラシムルヲ要ス
軍隊ノ後方ニ在リテハ通常主要ナル飛行場、補給及交通上ノ要點等重要施設
ノ掩護ニ重點ヲ置キ防空ノ處置ヲ講ズベキモノトス
第百四十 駐軍久シキニ互レバ對空監視圈ヲ擴張シ通信網ヲ整備シ要スレバ
更ニ警報、燈火管制、防火、瓦斯防護等ニ關スル事項ヲ統一シ整然タル防空
ノ組織ヲ構成スルモノトス
作戰地ニ於テハ巧妙ナル燈火管制通常困難ナルヲ以テ豫メ燈火ノ使用ヲ制限
又ハ禁止スルヲ可トス時トシテ局部ノ燈火ヲ存置シ巧ニ偽燈火ヲ配シ以テ敵
ヲ欺騙スルヲ可トスルコトアリ
第百四十一 對空班ハ將校若クハ下士官ヲ長トスル所要ノ人員ヲ以テ之ヲ編
成シ爲シ得レバ乘馬、自轉車等ヲ使用セシムルモノトス
對空班ハ通常所屬指揮官ノ近傍ニ位置シ駐止間ニ在リテハ對空監視哨ヲ設ケ
行進間ニ在リテハ適宜監視者ヲ指定シ要スレバ斥候ヲ設ケ絶エズ上空ヲ監察
セシムルト共ニ所屬指揮官、對空射擊ニ任ズル部隊及友軍飛行機トノ迅速ナ
ル連絡ニ關シ遺憾ナキヲ要ス
第百四十二 對空射擊部隊トシテ幾何ノ兵力ヲ使用スベキヤハ狀況ニ依ルト
雖モ常ニ敵機ノ奇襲ニ即應セシムルコトヲ考慮シテ之ヲ定ム而シテ單一飛行
機ニ對シ射擊效果ヲ期待スル爲ニ必要ナル火力ハ歩兵ノミヲ以テセバ一小隊以
上、機關銃ノミヲ以テセバ四銃以上ヲ標準トス
對空射擊部隊ハ自ら對空監視ヲ行フト共ニ附近ノ對空班等トノ連絡ニ注意シ

敵戰車部
隊ニ對ス
ル處置

敵戰車ニ
對スル自
衛

機甲部隊
ノ搜索及
處置

瓦斯警戒

且常ニ敵機ノ奇襲ニ即應シ得ルノ準備ニ在ルヲ要ス
第百四十三 敵ノ戰車部隊等ニ對スル顧慮アルトキハ歩兵大隊長、騎兵聯隊
長及野(山)砲兵大隊長ハ速カニ之ヲ發見スル爲小部隊及斥候ノ派遣、友軍部
隊トノ連絡等ニ關シ機宜ノ處置ヲ講ズルト共ニ直チニ敵ノ奇襲ニ應ズル爲必
要ナル對戰車部隊ヲ部署シ豫メ其ノ行動ノ準備トナルベキ事項ヲ示スモノト
ス狀況ニ依リ此等ノ處置ヲ上級指揮官ニ於テ統一スルヲ可トスルコトアリ
前項各部隊長ノ直接指揮下ニ在ラザル部隊ハ適宜前項ニ準シ警戒ヲ行フモノ
トス
第百四十四 中隊長若クハ之ニ準ズル部隊長ハ所要ニ應シ敵戰車ニ對スル自
衛手段トシテ携帶地雷、爆藥、火焰發射器等利用シ得ベキ資材ニ依リ肉薄攻
撃ヲ準備スルモノトス
第百四十五 高級指揮官ハ狀況ニ應ジ飛行隊其ノ他適宜ノ部隊ヲ以テ敵ノ機
甲部隊ヲ搜索シ或ハ之ヲ攻撃セシメ時トシテ前方或ハ側背地障線上ノ要點ニ
一部隊ヲ派遣シテ我が主力ノ行動ヲ安全ナラシメ且要スレバ各部隊ニ對戰車
部隊ノ兵力、各部隊相互ノ協同等ニ關シ必要ノ事項ヲ示シテ其ノ行動ヲ統制
スルモノトス
第百四十六 瓦斯ニ對スル警戒ハ主トシテ一般ノ警戒部署ニ依リ其ノ目的ヲ
達スベキモノトス之ガ爲警戒部隊、哨兵等ニハ所要ニ應ジ瓦斯勤務員、警報
器材、防毒被服、檢知器材時トシテ消毒材料等ヲ屬スルモノトス狀況ニ依リ
瓦斯勤務員ヲ主體トシ或ハ該勤務員ノミヲ以テ緊要ナル警戒ニ任ゼシムルコ

瓦斯防護 各級指揮官ハ狀況ノ緩急、各部隊ノ任務等ニ應シ適時消毒ニ任ゼシムル部隊ノ部署及防護資材ノ配當ヲ決定シ特ニ重要ナル時期及地點ニ於ケル防護ニ遺憾ナカラシムルコト緊要ナリ

飛行機警報 第四百四十七 空襲又ハ瓦斯攻撃ヲ受クルニ方リテハ大隊長若クハ之ニ準ズル部隊長(輜重兵ニ在リテハ中隊長)以上、其ノ他分離シテ行動シアル部隊ノ長及特ニ指定セラレタル者ハ飛行機警報又ハ瓦斯警報ヲ發スルノ責任ヲ有ス若シ猶豫スベカラズト認メタルトキハ小隊長以上ハ自ら其ノ責ニ任シ之ヲ發スルモノトス

警報ハ傳達確實容易ニシテ誤解、混同等ノ虞ナキモノヲ選用シ所要ニ應シ各種ノ手段ヲ併用スルモノトス而シテ一定ノ形式ニ陥リ敵ニ逆用セラレザル如ク注意スルヲ要ス

第四百四十八 瓦斯警報ヲ聞クカ若クハ瓦斯ヲ被ラントスルトキハ直チニ比隣相傳ヘ各自迅速ニ裝面(瓦斯雨下ニ對シテハ先ヅ防毒覆ヲ裝著)スベシ防毒面及防毒覆ノ脫除ハ通常小隊長以上ノ命令ニ依ルモノトス

馬ノ防毒面及防毒覆ノ裝脫ハ人員ノ場合ニ準ズ

消毒包ハ通常各自所要ニ應シ之ヲ使用スベシ

其ノ他ノ防毒具ノ使用ハ通常中隊長以上ノ命令ニ依ルモノトス

第四百四十九 敵ノ搜索ニ對シ嚴ニ我が行動ヲ秘匿セントスル場合ニ於テハ指揮官ハ豫メ此ノ趣旨ヲ下級部隊迄徹底セシメ敵飛行機等現ルルモ射撃ヲ行フ

スル場合 コトナク専ラ我が行動ヲ隱蔽スルモノトス此ノ場合ニ於テモ狀況之ヲ要スルニ至レバ直チニ敵ヲ擊破シ得ルノ準備ニ於テ缺クル所ナキヲ要ス

第一章 行軍間ノ警戒

第五百十 行軍間ノ警戒ハ主トシテ前衛、側衛及後衛ヲ以テ之ヲ行フモノトス

第五百十一 行軍間ニ於ケル警戒部隊ノ行動ハ常ニ大ナル部隊ノ進退ニ從ヒテ之ヲ律シ各部隊間ノ連絡ハ其ノ前方ニ行進スル部隊(尖兵及側衛ニ在リテハ其ノ出サレタル部隊)ニ向ヒ之ヲ行フベキモノトス然レドモ連絡ノ保持困難ナル場合ニ於テハ各部隊ハ手段ヲ盡クシ相互ニ之ガ確保ニ勉ムルヲ要ス

第五百十二 行軍間ニ於ケル警戒部隊ハ別命ナキトキト雖モ行軍間ノ駐止及行軍ヲ終ヘタル後ニ於テ尙本隊ノ爲警戒ヲ爲スノ責任ヲ有スルモノトス

第五百十三 高級指揮官ハ空襲ヲ受クルノ虞多キトキハ高射部隊、消毒部隊等ヲ豫メ要點ニ配置シ其ノ掩護下ニ縱隊ヲ通過セシムル狀況ニ依リ二箇以上ノ高射部隊ヲ交互ニ躍進シ縱隊ノ掩護ニ任ゼシムルコトアリ而シテ高射部隊躍進ノ爲別路ヲ配當シ得バ有利ナリ

各縱隊ノ指揮官モ亦要スレバ前項ニ準ジ警戒スルモノトス

第五百十四 行李、輜重ハ常ニ其ノ警戒ヲ嚴ナラシムルヲ要ス狀況特ニ之ヲ要スレバ高級指揮官ハ所要ノ掩護隊ヲ設ケ要スレバ之ヲ配屬スルモノトス

行李、輜重ハ飛行機、機甲部隊等ノ攻撃ヲ受クルノ虞大ナルトキハ地形ヲ利

用シテ躍進シ或ハ夜行軍ヲ行ヒ或ハ必要ナルモノヲ戰列部隊ノ掩護下ニ行動セシム何レノ場合ニ於テモ自衛ヲ容易ナラシムル爲長徑ヲ短縮スルヲ有利トスルコトアリ

第一節 前衛

前衛ノ行

第一百五十五 前進行ニ於ケル前衛ノ行動ハ概ネ左ニ準據スルモノトス

一、進路上ノ障礙ヲ排除ス之ガ爲敵小部隊ノ如キハ之ヲ擊破シテ前進ス

二、敵ト近接スルニ至レバ搜索ヲ周密ニシ且本隊戰鬪ノ初動ヲ有利ナラシム

三、追撃ニ方リテハ速カニ敵ニ追及シ其ノ主力ヲシテ交戦スルノ止ムナキニ至ラシム

前衛ノ兵力編組

第一百五十六 前衛ノ兵力、編組ハ我が軍ノ企圖ニ基キ縱隊ノ大小、敵情、敵ノ慣用戦法、地形、明暗ノ度等諸般ノ狀況ヲ考慮シテ之ヲ定ムルモノトス

前衛ハ通常縱隊全歩兵ノ三分ノ一以內、必要ノ騎兵、野(山)砲兵及工兵ヲ以テ編組シ所要ニ應ジ戰車、輕裝甲車、野戰重砲兵、消毒部隊、通信部隊衛生部隊等ヲ配屬スルモノトス

夜行軍ノ前衛

第一百五十七 夜行軍ニ於ケル前衛ハ歩兵ヲ主トシ之ニ所要ノ騎兵、工兵等ヲ配屬ス然レドモ豫メ天明後ニ於ケル狀況ヲ考慮シテ其ノ兵力、編組及行動ヲ定ムルコト亦少カラズ

狀況ニ依リ一部隊ヲ所要ノ地點ニ先遣シ或ハ沿道ノ要點ニ逐次ニ配置シ其ノ掩護下ニ前進スルヲ可トスルコトアリ

前衛ト本隊ノ距離

第一百五十八 前衛ト本隊トノ距離ハ我が軍ノ企圖ニ基キ一般ノ狀況ヲ考慮シテ之ヲ定ム此ノ際前衛ノ行進滯留ヲ本隊ニ波及スルノ虞ナカラシメ且縱隊指揮官決心ノ自由ヲ保持スルト共ニ本隊ヲシテ機ヲ失セズ戰鬪ニ加入シ得シムルコトヲ考慮スルヲ要ス

前衛ノ區分

第一百五十九 前衛ハ通常前衛本隊及前兵ニ區分シ前衛ニ有力ナル騎兵ヲ配屬セラレタルトキハ別ニ之ヲ前方ニ派遣スルモノトス

前兵ハ通常尖兵中隊ヲ、尖兵中隊ハ通常尖兵ヲ出シテ警戒スルモノトス

狀況ニ依リ適宜前二項ノ區分ヲ省略シ本隊或ハ前衛本隊等ヨリ直チニ尖兵中隊若クハ尖兵ヲ出スコトアリ

前兵ノ任務編組

第一百六十 前兵ハ敵トノ衝突ニ際シテハ前衛本隊ヲシテ機ヲ失セズ有利ノ趨勢ニ展開シ得シムルヲ要ス

前兵ノ兵力ハ前項ノ趣旨ニ合スル如ク通常前衛歩兵ノ三分ノ一以內及所要ノ騎兵ヲ以テ編組シ要スレバ一部ノ砲兵、工兵、消毒部隊等ヲ配屬スルモノトス

前兵ト本隊トノ距離

第一百六十一 尖兵中隊ハ歩兵約一中隊ヲ以テ之ニ充テ狀況ニ依リ機關銃、歩兵砲、工兵等ヲ配屬スルモノトス

尖兵中隊ト之ヲ出シタル部隊トノ距離ハ三百乃至五百米ヲ標準トス

後衛ノ行

リ所要ノ側衛ヲ派遣ス
側衛ノ要度ハ前進行ニ於ケルヨリモ退却行ニ於テ大ナルヲ通常トス而シテ退却行ニ於テハ騎兵ハ特ニ敵ノ迂回行動ヲ搜索スルコト緊要ナリ
側衛ハ本隊ニ比シ不良且長遠ノ進路ヲ行進スルコト多キヲ以テ派遣ノ時機及要求スベキ行動等ニ關シ特別ノ注意ヲ必要トス

第三節 後衛

第七十一 退却行ニ於ケル後衛ノ行動ハ概ネ左ニ準據スルモノトス

- 一、本隊ニ續行シツツ其ノ退却ヲ掩護ス
- 二、要スレバ陣地ヲ占領シテ敵ノ前進ヲ拒止ス
- 三、非常ノ場合ニ於テハ全隊ノ爲犠牲トナリ以テ本隊ノ退却ヲ容易ナラシム

後衛ノ兵

後衛ト本

後衛ハ常ニ敵ノ迂回若クハ包圍ヲ受ケ易キヲ以テ特ニ搜索ヲ周密ニシ又隣接シテ退却スル部隊ノ後衛アルトキハ之ト連絡スルコト緊要ナリ
第七十二 後衛ノ兵力、編組ハ本隊ノ狀態、危險ノ大小、地形、明暗ノ度等ヲ考慮シ本隊ノ援助ヲ胸算スルコトナクシテ其ノ任務ヲ遂行シ得ル如ク之ヲ定ムルモノトス而シテ晝間ノ爲ニハ騎兵及砲兵ノ兵力ヲ大ナラシムルヲ有利トシ、強ナル抵抗ヲ豫期スルトキハ步兵特ニ機關銃及對戰車火砲並ニ阻絶、破壞等ノ作業ニ任ズル部隊ヲ大ナラシムルヲ必要トシ尙戰車、自動車等ヲ配屬スルヲ得バ有利ナリ
後衛ト本隊トノ距離ハ本隊ノ行進遲滯ヲ考慮シ前衛ニ於ケルヨリモ大ナラシム

隊トノ距離

第七十三 後衛ハ通常後衛本隊及後兵ニ區分シ後衛ニ有力ナル騎兵ヲ配屬セラレタルトキハ別ニ之ヲ後方又ハ危險ナル側方ニ使用スルモノトス
後兵ハ通常後衛尖兵中隊ヲ、後衛尖兵中隊ハ通常後衛尖兵ヲ出シテ警戒スルモノトス

側敵行及前進行ノ後衛

阻絶、破壞等ノ作業ニ任ズル部隊ハ作業ノ所要時間ヲ考慮シ通常先行セシムルヲ有利トス
第七十四 側敵行及前進行ニ在リテモ背後ノ警戒ヲ必要トスル場合ニ於テハ後衛ヲ設ク而シテ其ノ兵力、編組及行動ハ時ノ狀況ニ應ジ之ヲ定ムルモノトス

獨立騎兵

第七十五 獨立シテ行動スル騎兵部隊ノ警戒ハ本章第一乃至第三節ノ要領ニ準ジ部署スベシト雖モ其ノ搜索力ノ優秀ナルト兵力ノ集結ヲ必要トスル特性トニ鑑ミ成ルベク警戒部隊ニ用ルル兵力ヲ節約シ勉メテ梯次ノ警戒區分ヲ省略シ且適宜各梯隊間ノ距離ヲ増大スルモノトス

要領

第四節 騎兵及機械化部隊ノ警戒

飛行機、機甲部隊、對空部隊

第七十六 獨立シテ行動スル騎兵部隊敵飛行機、機甲部隊等ニ對スル警戒ノ爲ニハ巧ニ地形ヲ利用シ進路、休憩地、行動時期等ノ選定ヲ適切ニシ勉メテ其ノ行動ヲ秘匿シ以テ其ノ警戒ヲ容易ナラシムルト共ニ敵ノ機甲部隊ニ對シテハ有利ノ地點ニ於テ其ノ行動ヲ阻止センガ爲成ルベク遠ク搜索スルヲ可トス

獨立騎兵

第七十五 獨立シテ行動スル騎兵部隊ノ警戒ハ本章第一乃至第三節ノ要領ニ準ジ部署スベシト雖モ其ノ搜索力ノ優秀ナルト兵力ノ集結ヲ必要トスル特性トニ鑑ミ成ルベク警戒部隊ニ用ルル兵力ヲ節約シ勉メテ梯次ノ警戒區分ヲ省略シ且適宜各梯隊間ノ距離ヲ増大スルモノトス

要領

第四節 騎兵及機械化部隊ノ警戒

飛行機、機甲部隊、對空部隊

第七十六 獨立シテ行動スル騎兵部隊敵飛行機、機甲部隊等ニ對スル警戒ノ爲ニハ巧ニ地形ヲ利用シ進路、休憩地、行動時期等ノ選定ヲ適切ニシ勉メテ其ノ行動ヲ秘匿シ以テ其ノ警戒ヲ容易ナラシムルト共ニ敵ノ機甲部隊ニ對シテハ有利ノ地點ニ於テ其ノ行動ヲ阻止センガ爲成ルベク遠ク搜索スルヲ可トス

獨立機械部隊要領ノ

第七十七 獨立シテ行動スル機械化部隊ノ警戒ハ騎兵ノ警戒要領ニ準ズルノ外特ニ敵飛行機ニ對スル警戒ヲ嚴ニシ且速度、地形等ヲ利用シテ企圖及行動ノ秘匿ニ勉メ又彼我一般ノ狀況ヲ明カニシ以テ不慮ノ危險ナカラシムルト共ニ進路上ノ障礙ニ關シ細心ノ注意ヲ拂フコト緊要ナリ

第二章 駐軍間ノ警戒

前哨兵部隊編

第七十八 駐軍間ノ警戒ハ主トシテ前哨ヲ以テ之ヲ行フモノトスガ軍ノ目的、彼我ノ狀態、地形、編組、配置、指揮ノ系統、勤務ノ方法等ハ我

組ノ警戒

第七十九 彼我ノ狀態、地形、編組、配置、指揮ノ系統、勤務ノ方法等ハ我定ムルモノニシテ一定ノ形式ニ陥ルコトナク且一旦之ヲ定ムルモ爾後要スレ

敵トナノ距離

第八十 敵トノ距離大ニシテ主トシテ敵ノ快速戰車、騎兵斥候等ニ對スル

敵トシテ近接

第八十一 敵トシテ近接シテ廣地域ニ位置スル部隊又ハ廣漠地ニ駐止スル部隊

シテ近接

第八十二 前哨ハ通常歩兵ヲ以テ之ニ充テ所要ニ應ジ騎兵、砲兵、工兵、

受クシテ近接

第八十三 統一セル前哨ヲ設クル場合ニ於ケル一前哨區ノ兵力ハ通常歩兵

アル場合

第八十四 警戒地域ノ境界ハ成ルベク天然ノ地形ニ依リ且敵ノ折接シ易キ

敵トシテ近接

第八十五 前哨大隊ハ通常前哨中隊ヲ、前哨中隊ハ通常小哨又ハ歩哨ヲ、

廣漠地域ノ警戒

第八十六 廣漠地ニ駐止スル部隊

種前哨ノ兵

第八十七 前哨ハ通常歩兵ヲ以テ之ニ充テ所要ニ應ジ騎兵、砲兵、工兵、

一前哨區

第八十八 統一セル前哨ヲ設クル場合ニ於ケル一前哨區ノ兵力ハ通常歩兵

司令官前哨

第八十九 警戒地域ノ境界ハ成ルベク天然ノ地形ニ依リ且敵ノ折接シ易キ

警戒地域

第九十 警戒地域ノ境界ハ成ルベク天然ノ地形ニ依リ且敵ノ折接シ易キ

前哨大隊

第九十一 前哨大隊ハ通常前哨中隊ヲ、前哨中隊ハ通常小哨又ハ歩哨ヲ、

以下配置

第九十二 前哨大隊ハ通常前哨中隊ヲ、前哨中隊ハ通常小哨又ハ歩哨ヲ、

前哨大隊

第九十三 前哨大隊ハ通常前哨中隊ヲ、前哨中隊ハ通常小哨又ハ歩哨ヲ、

前哨大隊

第九十四 前哨大隊ハ通常前哨中隊ヲ、前哨中隊ハ通常小哨又ハ歩哨ヲ、

前哨大隊

第九十五 前哨大隊ハ通常前哨中隊ヲ、前哨中隊ハ通常小哨又ハ歩哨ヲ、

索 範圍ノ搜索ヲ行フモノトス而シテ敵ト近接スルニ至レバ晝夜ヲ問ハズ接觸ヲ保持シ常ニ其ノ狀況ヲ明カニシアルコト緊要ナリ

駐軍長キ 前哨 第九十 駐軍長キニ互レバ前哨ハ工事、連絡等ノ諸施設ヲ益ト完全ニシ各種ノ手段ヲ盡クシテ警戒ニ遺憾ナカラシムルト共ニ兵力ノ愛護ヲ圖ルコト緊要ナリ而シテ其ノ配備ハ所要ニ應ジ之ヲ變更シ敵ヲシテ乗ズルノ隙ナカラシムルヲ要ス

合言葉議 別法 第九十一 對陣長キニ互ル場合、他國軍ト協同スル場合其ノ他必要ナル場合ニ於テハ通常高級指揮官ハ合言葉ヲ定ムルモノトス

命令 第九十二 高級指揮官宿營ニ決セバ速カニ各部隊ノ宿營スベキ地域要スレバ爾後ノ企圖及豫想スル駐止時間等ヲ示シ警戒ニ關シ所要ノ命令ヲ下ス

前衛司令官ノ命令 第九十三 前衛司令官ハ高級指揮官ノ命令ニ基キ速カニ前哨ニ任ズベキ部隊ヲ指定シ其ノ行動ヲシテ最モ迅速ナラシムル爲通常左ノ事項中先ヅ須要ノ件ニ關シ命令スルモノトス

全般ノ狀況 前衛司令官ノ企圖及前衛本隊ノ所在

前哨ノ編組、任務要スレバ前哨區ノ境界

後方ノ部隊又ハ前衛本隊ヨリ直接派遣スベキ警戒部隊アルトキハ其ノ位

區分 第九十四 其ノ前方或ハ側方ニ小哨ヲ配置スルコトアリ

前哨配置 第九十五 前哨ヲ配置スルニハ主要ナル道路及敵ノ近接容易ナル地區ヲ警戒シ所要ニ應ジ敵方ヲ展望スルニ便ナル地點及敵側ヨリ我が狀況ヲ視察スルノ虞アル地點要スレバ更ニ戰鬪ノ考慮上必要ナル地點ヲ占領シ時トシテ一部隊ヲ前方ノ地障線上或ハ交通路上ノ要點ニ派遣スルコトアリ而シテ常ニ側背ノ警戒ニ關シ遺漏ナキヲ期セザルベカラズ

敵機甲部隊ノ急襲ニ對シテハ地形ノ利用ヲ巧ニシ地雷、陷穿其ノ他ノ方法ニ依リ進路ヲ阻絶シ所要ノ火砲ヲ配置スルヲ要ス此ノ際地障線等ヲ利用シ成ルベク遠ク敵ヲ拒止スルヲ有利トス

機關銃歩 第九十六 前哨ニ屬スル機關銃、歩兵砲、砲兵等ハ敵襲ノ虞アル地區ニ對シ抗戰スルニ適スル陣地附近ニ位置セシムルモノトス又前哨ニ屬スル騎兵ハ搜索及傳令ニ使用スベキモノニシテ搜索ノ爲ニハ晝間通常前方ニ行動セシメ夜間ニ於テモ其ノ一部ヲ前方ニ留メ監視ニ任セシムルコトアリ

抗戰三三三 第九十七 前哨ハ常ニ戰備ヲ整ヘ敵襲ニ際シテハ全力ヲ盡クシテ抗戰スルモノトス

前哨ノ連 第九十八 前哨ハ敵ノ搜索ヲ妨グルト共ニ適時奇襲ヲ豫知スル爲必要ナル築、交通設備、遮蔽、偽裝等ニ關シ必要ノ處置ヲ講ズルモノトス

前哨ノ搜 第九十九 前哨ハ敵ノ搜索ヲ妨グルト共ニ適時奇襲ヲ豫知スル爲必要ナル

各宿營地
毎ニ前哨
ヲ配置ス
ベキ場合
前哨大隊
長命令

置、部隊號、任務等ニ關スル事項
連絡ニ關スル事項
要スレバ給養、防空、瓦斯防護等ニ關スル事項
前哨司令官ノ位置等
爾後前哨司令官ハ前哨本隊ノ爲所要ノ命令ヲ下シ休止ニ移ラシムルト共ニ要
スレバ前哨ニ與ヘタル命令ヲ補足スルモノトス
前哨司令官ハ前哨ヲ配置スルモ警戒及比隣部隊トノ連絡ニ關シ責任ヲ有ス
第百九十四 各宿營地毎ニ前哨ヲ配置スル場合ニ於テ當該宿營地ニ在ル高級
先任ノ指揮官ノ行軍間ノ警戒ヨリ駐軍間ノ警戒ヘノ轉移ニ關スル處置及責任
ハ第百九十三ニ準ズ
前哨ノ場合高級先任ノ指揮官ハ舍(露)營司令官ヲシテ其ノ處置及責任ヲ執ラ
シムルヲ有利トスルコトアリ
第百九十五 前哨大隊長ハ前哨命令ヲ受クルヤ前哨ノ配置ニ關シ先ヅ緊急ノ
處置ヲ迅速ニ實行セシムル爲必要ノ命令ヲ下ス而シテ此ノ命令ハ爲シ得レバ
行軍中ニ下達スルヲ要ス此ノ際敵トノ接觸ヲ保持シ若シ之ヲ失ヒタルトキハ
速カニ恢復ヲ圖ルコト緊要ナリ
前哨ノ命令ニ包含セシムベキ事項概ネ左ノ如シ
全般ノ狀況
前哨大隊長ノ企圖
騎兵ノ任務

前哨各部
前哨騎兵
戰車裝甲
車ノ行動

前哨中隊其ノ他直接前哨大隊ヨリ出ス警戒部隊ノ編組、任務、行動(位置、
警戒地域、敵襲ニ際シ取ルベキ處置要スレバ前哨抵抗線時トシテ歩哨線
ノ位置、對空ノ處置、瓦斯防護ニ關スル事項等)
前哨大隊ノ所在
連絡施設
前哨大隊長ノ位置等
前哨ノ命令ト同時若クハ現地視察後速カニ概ネ左ノ事項ニ關シ命令スルモノ
トス
機關銃、歩兵砲、砲兵、工兵等ノ行動中前哨中隊及小哨ニ關係アル事項
道路ノ阻絶、障礙物ノ設置、交通ノ設備等ニ關スル特別處置
工事援助ノ爲前遣スベキ部隊アルトキハ其ノ行動
戰備ノ度
給養ニ關スル事項等
前哨司令官ヨリ直接出サレタル前哨中隊長並ニ各宿營地毎ニ警戒スル場合ニ
於ケル前哨ノ指揮官ノ行動モ亦前哨諸項ニ準ズ
第百九十六 前哨ノ各部隊ハ命令ヲ受クルヤ自ラ警戒法ヲ講ジ成ルベク遮蔽
シテ迅速ニ所定ノ位置ニ赴クモノトス
第百九十七 行軍ヨリ駐軍ニ移ルニ際シ前方ニ派遣セラレアル前哨ノ騎兵、
戰車、輕裝甲車等ハ別命ナキトキト雖モ通常警戒ニ便ナル要點ニ位置シテ搜
索ニ從事スルモノトス而シテ後方ニ於ケル配備完了セバ前哨司令官ハ此等ヲ

安全ノ地ニ歸來シ宿營セシムルヲ通常トス狀況ニ依リ騎兵ヲシテ歩哨線ノ前方ニ在リテ警戒及搜索ニ任ゼシムルコトアリ何レノ場合ニ於テモ前哨ハ此等ノ部隊トノ連絡ヲ保チ前方ノ狀況ヲ明カニスルヲ得バ有利ナリ

第九十八 宿營セル軍隊前進セントスルトキハ通常前哨ノ掩護ニ依リ新ナレ警戒部隊ヲ前進セシメ然ル後前哨ヲ撤スルヲ有利トス

第九十九 退却行及側敵行ニ於ケル行軍間ノ警戒ト駐軍間ノ警戒トノ相互轉移ニ關シテハ本節ヲ準用スルモノトス

第二節 前哨大隊

第二百 前哨大隊ハ敵襲ニ際シ前哨中隊及直接前哨大隊ヨリ派遣シタル小哨ヲ増援シ狀況ニ依リテハ之ヲ收容ス之ガ爲通常交通便利ナル要點ニ位置スルモノトス

第二百一 前哨大隊長ハ前哨ノ配置良ク時ノ狀況ニ適スルヤ否ヤニ就キ其ノ責ニ任シ隣接スル前哨トノ連絡及各前哨中隊相互間ノ連絡ヲ確實ナラシメ要スレバ連絡ノ爲特ニ一部隊ヲ配置シ又蔭蔽地ヲ通シテ前哨ヲ配置スルトキハ道標ヲ設ケ交通路ヲ開設スル等所要ノ設備ヲ行フモノトス長ク敵ト對峙スルガ如キ場合ニ於テ特ニ然リ

第二百二 前哨大隊長ハ前哨大隊ニ於ケル各部隊ノ行動、戰備ノ度、直接警戒、瓦斯防護、給養等ニ關スル事項ヲ定ムルモノトス

對空監視ノ爲ニハ通常對空班ヲシテ前哨大隊ノ位置要スレバ其ノ附近適當ノ地點ニ對空監視哨ヲ配置セシム時トシテ前哨中隊ノ對空監視法ヲ指定スルコト

大隊長ノ位置及連絡

第二百三 前哨大隊長ハ前哨大隊ノ位置ヲ定位トシ所要ノ連絡機關ヲ備ヘ狀況嚴ナル警戒ヲ要スルトキハ前哨各部隊及隣接前哨間ハ電話ニ依リ連絡ヲ保持セシムルヲ要ス

前哨大隊長若シ前哨各部ノ警戒法ヲ視察シ又ハ其ノ他ノ事由ニ由リ定位ヲ離ルルトキハ高級先任ノ將校ヲシテ代リテ其ノ職務ヲ執ラシメ且常ニ其ノ所在ヲ明カナラシメ置クヲ要ス

前哨中隊長及小哨長ニモ亦前項ノ規定ヲ適用ス

第二百四 前哨大隊長ハ速カニ其ノ配備ヲ報告シ爾後前哨中隊等ノ報告到著セバ更ニ之ヲ補足スルモノトス

第三節 前哨中隊

第二百五 前哨中隊ハ通常主要ナル抵抗線ヲ成形スルモノニシテ別命ナケレバ極力敵襲ヲ拒止スベキモノトス故ニ前哨中隊ハ此ノ目的ニ適スル要點ニ配置シ時トシテ機關銃、步兵砲、砲兵、工兵等ヲ配屬スルコトアリ

第二百六 前哨中隊ノ數ハ敵情、地形特ニ警戒止而等ニ依リ異ナルモノトス

前哨中隊ニハ特別ノ番號ヲ附スルコトナク各々其ノ中隊ノ番號ニ前哨ノ語ヲ冠シテ稱呼スルモノトス

第二百七 前哨中隊ノ配備ハ敵情、地形、道路網等ニ依リ異ナルモ通常小哨時トシテ歩哨ヲ配置スルノ外時々必要ナル方面ニ斥候、巡察ヲ派遣シテ警戒シ敵襲ニ對シ常ニ戰備ヲ缺カザルコトニ關シテハ中隊長身ヲ以テ其ノ責ニ任

配備報告
二〇九、三〇

前哨中隊任務
二〇〇、二二三

前哨中隊ノ數及名稱

前哨中隊配備

配備要領

配備報告

中隊戦備ノ度

銃前哨

ズルモノトス
 第二百八 前哨中隊長ハ通常先ヅ速カニ中隊ノ位置及警戒ノ部署ヲ定メ各、其ノ配置ニ就カシメ爾後自ラ現地ヲ視察シテ所要ノ修正ヲ爲シ且敵襲ニ際シ取ルベキ處置、所要ノ工事、戦備ノ度、中隊ノ諸勤務等ヲ定ム
 中隊ヨリ支分スル兵力ハ勉メテ之ヲ節約シ中隊主力ノ抵抗力ヲ減殺セザルコト緊要ナリ
 第二百九 前哨中隊長ハ成ルベク速カニ其ノ配備モノヘテ之ヲ通報スルモノトス隣ノ前哨部隊爲シ得レバ前哨線ノ前方ニ在ル部隊ニモ之ヲ通報スルモノトス
 第二百十 中隊戦備ノ度ニ關シテハ中隊及小哨ヲ掩蔽下ニ入ラシムベキヤ、天幕ヲ使用セシムベキヤ、下士官兵ノ一部ハ銃ヲ手ニシアルベキヤ竝ニ假眠ヲ許スベキ範圍、服裝、炊事、探暖、對空、瓦斯防護等ニ就キ必要ナル事項ヲ定ムルモノトス
 前哨中隊ノ一部ハ常ニ又銃線ノ側ニ在リテ戦備ヲ整ヘ許可ヲ得ルニアラザレバ一名ト雖モ中隊ノ位置ヲ離ルベカラズ又馬ハ許可ヲ得ルニアラザレバ鞍ヲ卸サザルモノトス
 前哨中隊ニ於テ炊事ヲ行ヒ或ハ焚火ヲ爲スノ止ムヲ得ザルトキハ火煙ヲ暴露セザル如ク細心ノ注意ヲ必要トス
 第二百十一 前哨中隊ノ位置ニハ直接警戒ノ爲銃前哨要スレバ更ニ對空監視銃ヲ設クルモノトス
 銃前哨ハ通常單哨トスルモ中隊掩蔽下ニ入ルカ或ハ地形蔭蔽セルトキハ通常

軍使來リシ場合

送付シ來ル者

小哨ノ任務

小哨ノ兵

小哨警戒要領

複哨トシ狀況ニ依リ其ノ箇數ヲ增加ス
 第二百十二 軍使來リシトキ豫メ指示ナキ場合ニ於テハ前哨中隊長ハ歩哨線外ニ於テ來意ヲ聽キ軍使ハ直チニ歸去セシメ後之ヲ上級指揮官ニ報告スルモノトス
 小哨ヨリ送付シ來リタル者ニシテ我が軍ニ屬スルコトヲ確認スル能ハザル者、舉動疑ハシキ者、投降者、俘虜及間諜ニ對シテハ監視者ヲ附シ直チニ上級指揮官ノ許ニ送付スルモノトス此ノ際監視者ハ此等ノ者ト談話スベカラズ
 第四百節 小哨
 第二百十三 小哨ハ歩哨ノ支援及後據タルモノニシテ警戒上ノ要點ニ位置シ必要ナル搜索ヲ行ヒ敵襲ニ際シテハ其ノ後方ノ部隊ヲシテ戦備ヲ整フルノ時間ヲ得シムルモノトス
 小哨ハ前哨中隊ヨリ出サレタルトキハ同中隊内ニ於テ右翼ヨリ順次一連ノ番號ヲ附シ前哨中隊以外ヨリ出サレタルトキハ當該指揮官適宜命名スルモノトス
 第二百十四 小哨ハ其ノ重要ノ度ニ應ジ一小隊以下ノ兵力ヲ以テ之ニ充ツ狀況特ニ之ヲ要スレバ機關銃、對戰車火砲、携帶地雷、犬等ヲ配屬スルコトアリ
 第二百十五 小哨ハ敵ニ關スル顧慮大ナラザル狀況ニ於テハ主トシテ敵方ニ通ズル道路及重要ナル地點ニ步哨ヲ配置シ其ノ間隙ニハ所要ニ應ジ斥候、巡察ヲ派遣シテ警戒セシムルヲ通常トス然レドモ晝間開豁地ニ於テハ單ニ展望哨ヲ出シテ監視セシムルヲ以テ足レリトスルコトアリ

小哨配置
警戒斥候
歩哨ノ配
置法

歩哨ノ交
代法
歩哨配置
出發前

小哨ハ警戒嚴ナルヲ要スルニ從ヒ歩哨ヲ互ニ近ク相接シテ配置シ以テ一人ト雖モ其ノ眼ヲ逃レ射撃ヲ受クルコトナク歩哨線ヲ通過スルヲ得ザラシムルモノトス之ガ爲夜間又ハ濃霧等ノ際ハ一層近ク歩哨ヲ相接セシムルヲ要スルコトアリ

第二百十六 小哨長警戒ニ關スル任務ヲ受クレバ速カニ斥候ヲ派遣シテ歩哨配置間ノ警戒ニ任セシメ且前方ノ地形ニ通曉セシムルヲ要ス

第二百十七 小哨長歩哨ヲ配置スルニハ通常歩哨掛又ハ分哨長ヲシテ各哨所ニ屬スル兵ヲ引率シ豫定哨所ニ分進セシメ爾後自ラ各哨所ニ到リ特別守則ヲ與ヘ必要ナル事項ヲ規定ス

豫メ哨所ヲ概定スル能ハザルカ或ハ哨所ノ指示困難ナルトキハ豫想スル人員ヲ率キ必要ナル地ヨリ逐次ニ配置ス

狀況ニ依リ前二項ノ方法ヲ併用スルコトアリ

特別守則ハ之ヲ歩哨掛又ハ分哨長ニ與ヘ同時ニ各兵ニモ聽聞セシムルモノトス

第二百十八 歩哨ノ交代法ハ軍隊ノ狀況、敵情、季節等ヲ考慮シテ小哨長之ヲ定ム而シテ長期ノ駐軍間ニ在リテハ時々交代法ヲ變更スルヲ有利トス

歩哨ノ配置及交代ノ際其ノ位置ヲ敵ニ察知セシメザルコトニ就テハ特に注意スルヲ要ス

第二百十九 小哨長ハ歩哨配置ノ爲出發ニ先ダテ通常小哨ノ位置ヲ定メ其ノ直接警戒爲シ得レバ工事ノ諸準備ヲ命シ置クモノトス

配備報告
通報
小哨長ノ
責務

歩哨配置
終了後
小哨長ノ
位
巡視ト定
歩哨ヨリ

小哨長ハ歩哨ノ配置終レバ速カニ銃前哨ヲ配置シ之ニ特別守則ヲ與ヘテ小哨直接ノ警戒ニ任ゼシメ且所要ノ工事ヲ行ヒ又歩哨及銃前哨ニ充テザル者ヨリ若干ノ斥候、巡察ヲ區分シ殘餘ノ者ヲ以テ其ノ他ノ勤務ニ充ツルモノトス

歩哨ノ配置ヲ終レバ小哨ハ銃ヲ銃架ニ托シ或ハ又銃セシム又擲彈筒ハ背囊ヨリ脱シ通常之ヲ小銃ノ附近ニ置カシメ輕機關銃ハ之ヲ銃架(又銃)ノ附近ニ置クカ或ハ陣地ニ就カシム極寒時ニ於テハ特に此等兵器ノ保温ニ關シ注意スルコト緊要ナリ

第二百二十 小哨長ハ成ルベク速カニ其ノ配置 晝夜ニ依リ異ナルモノハ之ヲ區別ス ヲ報告シ且隣接スル前哨部隊ニ連絡スルモノトス

第二百二十一 小哨ノ戰備ヲ確實ナラシムルハ小哨長ノ重要ナル責任トス特に軍隊疲勞セル場合或ハ駐軍長キニ互ル場合ニ於テハ警戒心ニ弛緩ヲ生ゼシメザルコト緊要ナリ

小哨長ハ小哨ニ在ル者ノ背囊ヲ卸サシメ又上級指揮官ノ定ムル所ニ依リ交互ニ假眠セシムルコトヲ得

小哨ノ位置ニ在ル下士官以下ハ常に銃劍 及防毒面ヲ身體ニ著ケ且許可ヲ得ルニアラザレバ一名ト雖モ小哨ノ位置ヲ離ルベカラズ

第二百二十二 小哨長ハ晝間屢々警戒地域ヲ巡視シテ地形ヲ認識スルト共ニ下士官以下ニモ機會アル毎ニ地形ヲ認識セシメ置クヲ要ス然レドモ夜間ニ於テハ小哨長ハ勉メテ定位ニ在ルヲ要ス

第二百二十三 小哨長ハ歩哨ヨリ報告シ來リタル者ニシテ我が軍ニ屬スルコト

報告シ來ル者及軍使ノ處置ニ
 報シ直チニ之ヲ上級指揮官ノ許ニ送付スルモノトス此ノ際監視者ハ此等ノ
 者ト談話スベカラズ
 軍使來リシ場合ニ於テハ直チニ之ヲ上級指揮官ニ報告スルモノトス

第五節 歩哨
 第二節 二百二十四 歩哨ハ通常最前線ノ監視線ヲ成形スルモノトス故ニ歩哨ハ任
 務ノ重大ナルニ鑑ミ常ニ身ヲ以テ其ノ責ニ任ゼザルベカラズ
 第二節 二百二十五 歩哨ヲ分チテ分哨及複哨トシ分哨ハ重要ナルカ或ハ交代不便
 ナル地點等ニ配置ス
 歩哨ハ之ヲ出シタル部隊毎ニ右翼ヨリ順次一連ノ番號ヲ附シ第一分哨、第二
 分哨等ト稱呼ス
 第二節 二百二十六 分哨ハ通常哨長タル下士官又ハ上等兵以下四乃至七名トシ狀
 況ニ依リ更ニ其ノ兵力ヲ増加シ時トシテ輕機關銃ヲ附スルコトアリ
 分哨ハ通常一部ヲ以テ監視ニ任セシメ爾餘ハ直接其ノ近傍ニ在リテ待機シ勉
 メテ遮蔽シアルモノトス但シ全員常ニ銃ヲ手ニシアルヲ要ス
 極寒時等ニ於テハ分哨ト雖モ短時間内ニ交代セシムルヲ要スルコトアリ
 第二節 二百二十七 複哨ハ所要ノ兵員ヲ歩哨掛タル下士官又ハ上等兵ノ指揮ニ屬
 シ通常二乃至四名ツツ交代服務セシムルモノトス而シテ二人哨ハ小哨ニ近キ
 カ或ハ警戒容易ナル地點ニ配置スルヲ通常トス
 小哨ヨリ複哨ヲ出ス距離ハ通常四百米以内トス

歩哨ノ背
 第二節 二百二十八 歩哨ハ小哨長ノ命ニ依リ背囊ヲ小哨ノ位置ニ殘置スルヲ通常
 トス
 歩哨ニハ通常手榴彈要スレバ眼鏡、擲彈筒、對戰車地雷等ヲ携行セシム此等
 ノ使用ニ關シテハ所要ニ應ジ小哨長之ヲ指示スルモノトス

歩哨ノ携
 第二節 二百二十九 歩哨ノ位置ハ成ルベク十分ナル展望ヲ有シ且敵ニ對シテ遮蔽
 シ得ルヲ要ス之ガ爲樹木、家屋、堆土等ヲ利用シ要スレバ眼鏡ヲ使用シ所要
 ノ偽裝ヲ爲シ且勉メテ掩體、障礙物等ノ工事ヲ施スヲ要ス而シテ工事ノ實施
 ニ關シテハ小哨長之ヲ命ズルモノトス

歩哨ノ位置
 第二節 三百 歩哨掛又ハ分哨長ハ任務ヲ受クルヤ部下ヲ率キ所要ノ警戒ヲ爲
 シツツ速カニ其ノ哨所ニ到リ蔽遮シテ取敢ズ監視ニ任ジ小哨長ノ來ルヲ待ツ
 モノトス此ノ際小哨長誘導ノ爲案内者ヲ出スヲ可トスルコトアリ

分哨長及
 第二節 三百一 分哨長ハ地形ヲ特別守則ヲ受クルヤ之ヲ兵ニ十分徹底セシメ歩哨ノ爲所
 要ノ設備ヲ施シ地形ヲ諳識セシメ爾後複哨ニ在リテハ歩哨掛其ノ交代兵ヲ率
 キテ小哨ノ位置ニ歸還スルモノトス

動哨掛ノ
 瓦斯ニ對スル顧慮大ナルトキハ特ニ風向、地形等ニ應ジ瓦斯使用ノ徵候、瓦
 斯ノ流來等ヲ發見スルニ便ナル如ク歩哨ノ位置ヲ決定スルヲ要ス
 第二節 三百二 歩哨掛又ハ分哨長ハ任務ヲ受クルヤ部下ヲ率キ所要ノ警戒ヲ爲
 シツツ速カニ其ノ哨所ニ到リ蔽遮シテ取敢ズ監視ニ任ジ小哨長ノ來ルヲ待ツ
 モノトス此ノ際小哨長誘導ノ爲案内者ヲ出スヲ可トスルコトアリ

歩哨一般 守則 三三

第二百三十一

歩哨線ニ在ル歩哨ハ左ノ一般守則ニ基キ行動スベキモノトス
 一、絶エズ敵方ヲ監視シ併セテ四圍ヲ警戒シ總テノ徵候ニ深ク注意ス
 敵ニ關シ發見セバ良ク之ヲ確メテ其ノ一名ハ報告シ若シ猶豫シ難キトキ
 ハ急射撃又ハ信號ヲ爲シ且一名ハ急報ス
 少數ノ敵兵近接セバ殺スカ又ハ捕獲スベシ
 二、歩哨線ノ出入ヲ許スハ我が軍ノ部隊、將校、斥候、巡察、傳令トシ兩
 餘ノ者ニ關シテハ小哨長ノ指示ヲ受ク
 夜間近ヅク者アラバ銃ヲ構ヘテ良ク確メ彼我判明セザルトキハ機先ヲ制
 シテ「誰カ」ト呼ブ三回呼ブモ答ナケレバ殺スカ又ハ捕獲スベシ
 自動車ハ停止セシメテ取調ブベシ
 歩哨ノ命ニ反スル者ハ殺スカ又ハ捕獲スベシ
 三、出發スル斥候ヨリハ任務、經路、歸來ノ地點、時刻等ノ概要ヲ聽キ自
 己見聞ノ狀況ヲ告グ歸來スル斥候ヨリハ其ノ見聞セシ事項ヲ聞クベシ
 四、白旗ヲ掲グ遠方ヨリ軍使タルヲ表ハス者ト降參人トニ對シテハ敵トシ
 テ取扱ハズ歩哨線外ニ之ヲ止メ敵ノ方向ニ面セシメ降參人ニハ武器ヲ棄
 テシメ乘馬(車)者ハ下馬(車)セシメ速カニ報告スベシ此ノ際無用ノ談話
 ヲ避ケ特ニ欺カレザル様注意スベシ
 五、歩哨ハ喫煙スベカラズ命令ナケレバ坐臥スルヲ得ズ銃ハ手ヨリ放スベ
 カラズ晝間ハ立銃、提銃又ハ腕ニ銃ヲ、夜間ハ提銃又ハ腕ニ銃ヲ爲ス
 敵襲ニ對 第二百三十二 小哨長ハ歩哨ノ特別守則ヲ定メ良ク之ヲ徹底セシム其ノ内容

スル動作 三三六

ハ狀況ノ推移ニ應ジ適時補修スベキモノトス
 特別守則ニ於テ示スベキ事項及順序概ネ左ノ如シ
 其ノ歩哨ノ番號
 必要ナル道路、村落、地物等ノ名稱(要スレバ寫景圖、要圖等ヲ利用ス)

敵情
 前方ニ在ル我が部隊及斥候ノ狀況
 特ニ監視スベキ要地又ハ方向
 敵ノ瓦斯使用及之ニ對スル警戒法等ニ關シ注意スベキ事項
 隣歩哨ノ位置、番號及之トノ連絡法
 小哨、中隊等ノ位置及之ニ通ズル經路
 歩哨ノ監視法、姿勢、交代法要スレバ瓦斯兵ノ行動、敵襲ニ際シ取ルベキ
 處置

信號及警報
 其ノ他特ニ注意スベキ事項
 第二百三十三 歩哨ハ敵襲ニ方リ後退ヲ命ゼラレアル場合ニ於テモ過早ニ其
 ノ位置ヲ棄ツルコトナク沈著シテ行動シ敵ト接觸シツツ後退スルヲ要ス此ノ
 際我が部隊ノ位置ヲ敵ニ知ラシメザルコト及我が部隊ノ射撃ヲ妨害セザルコ
 トニ注意スルヲ要ス

代歩 敵襲 作歩 敵襲
 法哨 作哨 哨ノ 動際
 交 交 際 際
 第二百三十四 複哨ノ交代ハ歩哨掛立會ノ下ニ之ヲ行ヒ下番者ハ見聞セシ事
 件及我が軍ノ斥候ニシテ前方ニ出テタル者アルトキハ其ノ任務、經路、歸來

銃前哨ノ動作二一、二九—三〇三

對空監視哨動作

位置

對空監視哨ノ配置スベキ位置ハ上空ニ對スル視界廣闊ニシテ飛行音ノ聽取容易ナルト共ニ指揮官及對空射撃ニ任ズル部隊トノ連絡ニ便ナルヲ要ス

對空監視哨ハ狀況ニ依リ他ノ哨兵ヲシテ之ヲ兼ネシムルコトアリ又遠ク推進スルモノニ在リテハ自衛及連絡ノ爲特ニ兵力及器材ヲ増加スルコトアリ

第二百三十七 對空監視哨ハ左ノ一般守則ニ基キ行動スベキモノトス

一、對空監視哨ハ彼我飛行機ノ識別法ヲ辨ヘ常ニ上空ヲ監視シ音響ニ注意ス敵飛行機ニ關シ發見セバ監視ヲ中絶スルコトナク直チニ指揮官ニ報告シ附近ノ對空射撃ニ任ズル部隊ニ通報ス發見シタル飛行機彼我何レニ屬スルヤ不明ナルトキモ亦同シ

二、友軍飛行機ニシテ我ニ向ヒ來ルトキハ之ヲ指揮官ニ報告ス

對空監視哨ノ特別守則ニ於テ示スベキ事項及順序概ネ左ノ如ク

第二百三十八 對空監視哨ノ特別守則ニ於テ示スベキ事項及順序概ネ左ノ如ク

ノ地點、時刻等ヲ上番者ニ申送ルモノトス此ノ際監視ヲ中絶セザルコト及交代ノ往復等ニ際シ敵ニ暴露セザルコトニ注意スルヲ要ス

分哨ニ於ケル監視兵ノ交代モ亦前項ニ準ズ

第二百三十五 銃前哨ノ動作及守則ハ步哨ニ準ズ但シ報告ハ通常其ノ位置ヲ離ルルコトナク之ヲ行フモノトス

第六節 對空監視哨

第二百三十六 對空監視哨ノ兵力及勤務ノ要領ハ前哨勤務ニ於ケル步哨ノ要領ニ準ズ而シテ特ニ眼鏡、遮光眼鏡、簡易ナル連絡器材等ヲ使用セシムルヲ可トス

哨特別守則 二三三

其ノ監視哨ノ名稱

方位及必要ナル地名

要スレバ彼我飛行機ノ識別法

要スレバ特ニ監視スベキ方向及監視法

報告スベキ指揮官及連絡スベキ部隊ノ位置

要スレバ報告又ハ通報スベキ事項

報告又ハ通報ノ手段

其ノ他特ニ注意スベキ事項

第七節 斥候、巡察

第二百三十九 前哨各部隊ハ搜索ノ爲所要ノ斥候ヲ派遣シ又步哨線前ノ要地監視、敵兵捕獲、敵襲發見等ノ爲必要ノ地點ニ之ヲ駐止或ハ潛伏セシム

斥候ハ敵襲ヲ知りタルトキハ先ヅ信號又ハ急射撃ヲ以テ之ヲ急報スルモノトス

斥候ハ當時ノ狀況之ヲ許セバ背囊ヲ卸シ或ハ馬裝ヲ輕減シテ派遣スルヲ有利トス

斥候歸來ノ時刻ハ之ヲ概定スルヲ通常トス

第二百四十 斥候ハ步哨線ヲ通過スルトキ其ノ近隣ノ步哨ニ任務、經路、歸來ノ地點、時刻等ノ概要ヲ告ゲ步哨ノ見聞セル新狀況ヲ聽取シ歸來ノ際ニハ見聞セシ事件中步哨ニ必要ナル事項ヲ告知スルモノトス

往復路ノ異ル場合

斥候ノ動作

巡察

前哨ノ交代

小哨ノ交代

斥候ノ歸路往路ト異ナルトキハ之ヲ派遣シタル部隊長ハ其ノ歸路ヲ監視スル
歩哨ニ斥候ノ歸來スル概略ノ時刻等ヲ知ラシメ置クヲ要ス夜間ニ於テ特ニ然
リトス

第二百四十一 斥候ノ動作ハ任務及諸般ノ狀況ニ依リ著シキ差異アルモ勉メ
テ敵眼ヲ避ケ靜肅機敏ニ行動シ速カニ所命ノ地點ニ進出シテ目的ヲ達成スル
コトニ勉ムルヲ要ス而シテ諸種ノ徵候就中夜間ハ音響ニ注意シ且常ニ地形ヲ
諳識スルコト緊要ナリ又要スレバ往路ト異ナル歸路ヲ選ビ敵ニ中斷セラルル
ノ虞ナカラシムルヲ可トス

第二百四十二 前哨各部隊ハ歩哨線内ノ巡視、部下部隊及歩哨ノ監視、歩哨
ヲ配置セザル地區ノ搜索、隣接部隊トノ連絡等ノ爲巡察ヲ派遣スルモノトス
歩哨線等ニ於テ射擊其ノ他喧噪セシトキニ在リテモ亦巡察ヲ派遣シ其ノ事實
ヲ確メ且歩哨等ヲ援助セシムルコトアリ

巡察ノ人員ハ目的ニ應ジ之ヲ定ムルモノトス

第八節 前哨部隊ノ交代

第二百四十三 前哨部隊ノ配置數日ニ互ルトキハ之ヲ交代セシムルヲ可トス
就中小哨ハ概ネ二十四時間以内ニ交代セシムルモノトス而シテ交代ハ爲シ得
レバ拂曉ニ於テ之ヲ終ルヲ有利トスト雖モ時刻ノ選定ハ當時ノ狀況ヲ考慮シ
テ之ヲ定ムルヲ要ス

小哨ノ交代ハ靜肅且隱蔽シテ之ヲ行ヒ警戒ヲ中絶セザルコト緊要ナリ而シテ
舊小哨長ハ豫メ新小哨長ニ緊要ノ事項ヲ申送り然ル後協同シテ歩哨ヲ交代ス

獨立騎兵
戒部隊ノ警

騎兵ノ警
戒法

一前哨區
ノ兵力

前哨中隊

ルヲ可トス舊歩哨掛又ハ分哨長モ亦新歩哨掛又ハ分哨長ニ其ノ守則及特ニ知
ルヲ要スル事項ヲ申送ルモノトス
交代ト同時ニ新舊兩小哨ヨリ協同ノ斥候ヲ派遣シ新小哨ノ斥候ヲシテ歩哨線
前ノ地形ヲ諳識セシムルヲ可トス

第九節 騎兵及機械化部隊ノ警戒

第二百四十四 獨立シテ宿營スル騎兵部隊ノ警戒ハ本章第一乃至第八節ノ要
領ニ準ズルノ外特ニ宿營地ノ選定ヲ適切ニシ警戒部隊ノ兵力ヲ節約シ且之ヲ
大ナル縱長ニ區分スルコトナク其ノ特有ノ搜索力ト諸種ノ補助手段トヲ利用
シテ警戒ヲ完ウスルコト緊要ナリ

第二百四十五 騎兵ハ巧ニ地形ヲ利用シ所要ノ工事ヲ施シ且火器ヲ有效ニ使
用スルコト緊要ナリ機甲部隊ニ對スル場合ニ於テ特ニ然リトス
馬匹及車輛ハ常ニ安全ナル地ニ位置セシメ晝間ニ於テハ上空ニ遮蔽シ要スレ
バ適宜分置スルヲ可トス

第二百四十六 一前哨區ノ兵力ハ通常騎兵一中隊以下トシ所要ニ應ジ機關
銃、對戰車火炮等ヲ配屬ス狀況ニ依リ前哨ノ支援ヲシムル爲必要ナル方側
ニ宿營スル部隊ヲシテ特ニ戰鬪準備ヲ爲サシムルコトアリ

數前哨區ノ部隊ヲ騎兵指揮官直轄指揮スベキヤ或ハ部下ノ一若クハ數部隊長
ヲシテ指揮セシムベキヤハ狀況ニ依ル
時トシテ各部隊長ヲシテ夫々當面ノ警戒ヲ擔任セシムルコトアリ

第二百四十七 前哨中隊ハ通常歩哨ヲ配置シ特ニ緊要ナルトキハ小哨ヲ派遣

警戒要領
二〇八
戰備二〇
搜索隊ト
ノ連絡
獨立機械
化部隊ノ
警戒

ス
小哨及歩哨其ノ馬匹又ハ車輛ヲ後方部隊ノ位置ニ殘置シ徒歩ニテ服務スベキ
ヤ否ヤハ上級指揮官之ヲ定ム
歩哨乘馬ニテ服務スルトキハ揚銃ヲ爲スカ又ハ銃ヲ鞍上ニ横タフルモノトス
前哨ハ晝間監視線ヲ擴張スル爲歩哨ヲ夜間ノ位置ヨリ更ニ推進スルコトアリ
第二百四十八 前哨中隊長及小哨長ハ戰備ノ保持ニ關シ一般ノ前哨ニ於ケル
前哨中隊長及小哨長ニ準ズルノ外馬ノ飼付、鞍ノ改装、車輛ノ整備等ニ關シ
規定スルモノトス而シテ鞍ハ卸サシメザルヲ通常トス
第二百四十九 騎兵ハ前哨ヲ配署スルノ外敵方ニ派遣シテ搜索隊等ト連絡
スルヲ要ス
搜索隊等遠ク敵方ニ在ル交通路上ノ要點ヲ占領シアルトキハ後方ニ在ル部隊
ノ警戒ヲ容易ナラシムルノ利アリ
第二百五十 獨立シテ宿營スル機械化部隊ノ警戒ハ騎兵ノ要領ニ準ズルノ外
特ニ注意スベキ事項左ノ如シ
兵種及爾後ノ企畫ヲ不明ナラシムルコトニ著意シ且敵ノ奇襲ニ對スル車輛
ノ保護ニ注意ス
警戒ニ任ズル部隊ハ之ヲ徒歩ニテ派遣スベキヤ或ハ乗車セシメテ派遣スベ
キヤ或ハ兩者ヲ併用スベキヤハ狀況ニ依ル而シテ装甲車輛ハ通常一又ハ
二車ヲ以テ一監視哨ト爲ス
狀況ニ依リ乗車セル小部隊ヲ連絡確實ナル要點ニ派遣シ警戒ニ任セシムル

飛行場警
戒
警戒目的
警戒要員
警戒勤務
ノ規定
警戒要領

ヲ有利トスルコトアリ
利用スベキ地物ナク且敵ニ關スル顧慮多キ狀況ニ於テハ各部隊ハ適宜車陣
ヲ設クルコトアリ
第十節 飛行場ニ於ケル航空部隊ノ警戒
第二百五十一 飛行場ニ於ケル航空部隊ノ警戒ハ本章第一乃至第八節ニ準ズ
ルノ外本節ニ據ルモノトス
第二百五十二 飛行場ハ戰闘一般ノ部署ニ依リ掩護セラルト雖モ敵ノ空襲ヲ
受ケ又騎兵、機甲部隊、潛入セル斥候等ノ攻撃目標タルコト屢々ナルヲ以テ
航空部隊ノ指揮官以下特ニ警戒心ヲ緊張シ敵ヲシテ乗ズルノ隙ナカラシムル
コト緊要ナリ
第二百五十三 飛行場警戒ハ主トシテ當該飛行場ニ配置セラレタル地上勤務
部隊之ニ任ズルモノトシ狀況ニ依リ飛行部隊ヲシテ之ニ協力セシムルモノト
ス高級指揮官ハ所要ニ應ジ之ニ歩兵、高射部隊等ヲ配屬若クハ協力セシムル
コトアリ獨立セル小部隊ノ爲特ニ然リ
第二百五十四 飛行場ニ於ケル地上勤務部隊ノ指揮官ハ上級指揮官ノ定ムル
所ニ基キ警戒勤務ノ配置、勤務ノ方法、敵襲ニ應ズル動作其ノ他必要ナル事
項ヲ定ムルモノトス
第二百五十五 警戒部隊ノ配置ハ飛行場使用ノ目的、警戒部隊ノ兵力、敵情、
地形等ニ依リ差異アリト雖モ警戒ノ重點ヲ飛行機及飛行場ノ主要ナル施設ニ
置キ爲シ得ル限リ飛行場附近ニ於ケル附屬施設ヲモ併セ警戒スル如ク之ヲ定

警備部隊ノ配置

飛行機ノ配置

航空部隊ノ動作

行軍ハ作戦ノ基礎

▲ルモノトス
 警備部隊ハ飛行場警戒ノ爲最モ重要ナル地點ニ位置シ對空射撃ニ任ズル部隊ヲ適當ニ配置シ緊要ナル方面ニハ要スレバ小ナル部隊ヲ出シ必要ナル地點ニ步哨(對空監視哨)ヲ配置シ適宜斥候、巡察ヲ派遣スルモノトス此ノ際巧ニ地形、地物ヲ利用シ工事ヲ施シ附近ノ部隊ト連絡シ其ノ他各種補助手段ヲ盡クシ警戒ヲ嚴ナラシムルヲ要ス

第二百五十七 飛行場ニ於ケル飛行機ノ配置ハ狀況特ニ彼我飛行部隊ノ活動狀態及晝夜ノ別等ニ依リ差異アリト雖モ晝間ハ勉メテ之ヲ分散シ夜間ハ勉メテ之ヲ收縮スル等警戒及掩護ニ便ナラシムルノ著意ヲ必要トス

第二百五十八 飛行場ニ於ケル航空部隊ハ敵襲ニ方リ整齊迅速ニ必要ノ配置ニ就キ直チニ之ヲ擊退シ得ルノ態勢ニ在ルコト緊要ナリ之ガ爲連絡施設、勤務ノ系統、搜索及諜報等ヲ適切ナラシムルヲ要ス

飛行場ノ危険ニ際シテハ附近ニ在ル軍隊ハ縱ヒ命令ナキトキト雖モ狀況之ヲ許ス限リ援助スベキモノトス

第五篇 行軍

遲則

第二百五十九 行軍ハ作戦行動ノ基礎ヲ成スモノニシテ其ノ計畫ノ適切、實施ノ確實ナルハ諸般ノ企圖ニ好果ヲ得ルノ要素ナリ而シテ軍隊ハ堅忍不拔克服困難ナル地形、天候ヲモ克服シ連日長距離ニ互ル行軍ヲ敢行シ得ザルベカラズ

戰闘準備ト軍隊愛惜

強行軍

急行軍

夜行軍ヲ行フ場合

夜行軍ノ注意

行李輜重

第二百六十 敵ニ接觸スベキ虞多キトキハ戰闘準備ヲ主トシ又敵ニ接觸スベキ虞少キトキハ軍隊ヲ愛惜スルコトヲ考慮シ行軍ヲ行ヒ常ニ戰術上要求スベキ程度ト戦力貯存ノ爲考慮スベキ程度トノ調和ヲ適切ナラシムルコト緊要ナリ

第二百六十一 狀況ニ依リ日々ノ行程ヲ増大シテ強行軍ヲ行フヲ要スルコトアリ斯クノ如キ場合ニ於テハ所要ニ應ジ休日ヲ廢シ休宿時間ヲ減少シ時トシテ晝夜ヲ通シ行軍ヲ繼續スルモノトス

第二百六十二 狀況ニ依リ短時間ニ所望ノ地點ニ到達スル如ク急行軍ヲ行フヲ要スルコトアリ斯クノ如キ場合ニ於テハ所要ニ應ジ速度ヲ増シ休憩ヲ減シテ行進スルモノトス此ノ際服装ヲ輕易ニシ人馬ノ負擔量ヲ輕減スルヲ得バ有利ナリ

第二百六十三 我が企圖及行動ヲ秘匿セントスル場合、軍隊ノ移動急ヲ要スル爲晝間ノミノ行軍ニ依リ難キ場合、敵ノ有力ナル機甲部隊等ニ活動ノ隙ヲ與ヘザラントスル場合、夏季炎熱ヲ避ケントスル場合等ニ於テハ通常夜行軍ヲ行フヲ有利トス

夜行軍ニ於テハ地形ノ障碍、小敵ノ妨害、寒氣ノ影響等ノ爲不慮ノ困難疲労ヲ來サザル如ク豫メ周到ナル注意ヲ必要トス

行李、輜重ノ行動ヲモ夜間ニ於テノミ爲サシムル場合ニ於テ一夜ノ行程ヲ減少セザランガ爲ニハ縱隊ヲ分チテ全長徑ヲ短縮スル等特別ノ手段ヲ講ズルヲ要ス

行軍速度 **第二百六十四** 行軍速度ハ狀況ニ依リ差異アリト雖モ諸兵連合ノ大部隊ニ在リテハ休憩ヲ合シ一時間四料ヲ標準トシ自動車中隊ニ在リテハ長距離行軍ノ爲休憩ヲ合シ一時間十二乃至二十料ヲ標準トス

連日行軍 **第二百六十五** 一日ノ行程ハ狀況ニ依リ差異アリト雖モ連日行軍スル場合ニ於ケル標準左ノ如シ

諸兵連合ノ大部隊ニ在リテハ約二十四料
騎兵ノ大部隊ニ在リテハ四十乃至六十料
自動車編制部隊ニ在リテハ諸般ノ狀況ニ依リ著シキ差異アルモ自動車中隊及之ニ準ズル部隊ニ在リテハ百料内外

行軍力保 **第二百六十六** 行軍中軍紀ヲ嚴格ニシ志氣ヲ振作シ人馬ノ衛生及給養ヲ良好ナラシメ且諸車輛ノ保護ニ勉ムルハ行軍力ヲ保持増進シ行軍ノ實施ヲ確實ナラシムル爲極メテ緊要ノ事項トス

行軍間ノ連絡 **第二百六十七** 行軍間ニ於ケル連絡ハ其ノ要度少キ場合ニ於テハ適時傳令ヲ用フルノ外通常連絡ノ時刻、地點等ヲ定メテ通信ヲ實施ス而シテ其ノ要度増大スルニ伴ヒ飛行機其ノ他各種ノ連絡機關ヲ使用シ所要ノ指揮官間ニ在リテ

行軍力保 **第二百六十八** 行軍中軍紀ヲ嚴格ニシ志氣ヲ振作シ人馬ノ衛生及給養ヲ良好ナラシメ且諸車輛ノ保護ニ勉ムルハ行軍力ヲ保持増進シ行軍ノ實施ヲ確實ナラシムル爲極メテ緊要ノ事項トス

行軍力保 **第二百六十九** 行軍中軍紀ヲ嚴格ニシ志氣ヲ振作シ人馬ノ衛生及給養ヲ良好ナラシメ且諸車輛ノ保護ニ勉ムルハ行軍力ヲ保持増進シ行軍ノ實施ヲ確實ナラシムル爲極メテ緊要ノ事項トス

行軍力保 **第二百七十** 行軍中軍紀ヲ嚴格ニシ志氣ヲ振作シ人馬ノ衛生及給養ヲ良好ナラシメ且諸車輛ノ保護ニ勉ムルハ行軍力ヲ保持増進シ行軍ノ實施ヲ確實ナラシムル爲極メテ緊要ノ事項トス

應召人馬 **第二百六十八** 多數ノ應召員及徵發馬匹ヲ含ム部隊ハ特ニ機會ヲ求メテ演練ヲ重ネ行軍ニ習熟セシムルコト緊要ナリ

行軍部署 **第二百六十九** 高級指揮官行軍ヲ部署スルニ方リテハ狀況特ニ戰術上ノ要求ニ基キ軍隊區分、前進目標、縱隊ノ進路又ハ前進地域、出發又ハ到着時刻、搜索、警戒、本隊ノ行動、連絡、補給、衛生等ニ關シ必要ノ事項ヲ定メ各縱隊等ヲシテ之ニ基キ行動セシメ主力縱隊ハ通常自ラ之ヲ指揮スルモノトス

行軍部署 **第二百七十** 高級指揮官其ノ指揮下ニ在ラザル部隊ノ行軍ヲ區處スルニ方リテハ一般ノ狀況ト該部隊ノ用途トヲ考慮シ前二項ニ準ジ行軍セシムルモノトス

行軍部署 **第二百七十一** 有力ナル敵飛行部隊、機甲部隊等ニ戰車等ニ關スル顧慮多キ狀況ニ於テハ大ナル縱隊ハ之ヲ若干ノ梯團ニ區分シ各梯團間ニ適宜ノ距離ヲ設ケテ其ノ戰備ヲ嚴ナラシムルヲ有利トス梯團區分ハ主トシテ爾後ニ於ケル軍隊使用ノ順序ヲ考慮スルト共ニ各梯團ノ對空、對戰車等ノ警戒及戰鬥並ニ行軍實施ヲ容易ナラシムル如ク之ヲ定ムルモノトス

行軍部署 **第二百七十二** 梯團區分ヲ爲セル場合ニ於テ各梯團内ノ行軍ヲ部署シ且不意ノ敵襲ヲ排除スルハ梯團長ノ責任トス但シ各部隊長ハ他梯團内ニ在ル本屬ノ部下指揮官ニ對

部隊長
對敵危險
地方ノ行
軍作行
兵機
行動秘匿
要領

シ爾後ニ於ケル統一セル戰闘ノ準備ノ爲必要ナル指示ヲ爲スコトヲ得
 第二百七十一 敵ニ關スル危險大ナル地方ニ於テ其ノ妨害ヲ排除シツツ行軍
 スルニ方リテハ通常第二部戰闘ノ爲ノ前進ノ要領ニ準ジ戰備ヲ嚴ニシ隨處ニ
 敵ヲ擊破シ所定ノ目標ニ向ヒ前進スルモノトス
 第二百七十二 行軍ニ於テハ各種ノ手段ヲ盡クシテ我が行動ノ秘匿ニ勉ムル
 コト緊要ナリ縱ヒ其ノ困難ナル場合ニ於テモ敵ヲシテ我が重要ナル企圖ヲ判
 斷シ得ザラシメンガ爲勉メテ主力ノ所在ヲ不明ナラシムルヲ要ス之ガ爲特ニ
 主力砲兵、戰車等ノ位置ヲ秘匿スルヲ得バ有利ナリ
 第二百七十三 行軍序列ハ主トシテ爾後ニ於ケル軍隊使用ノ順序ヲ考慮シテ
 之ヲ定ム此ノ際勉メテ建制ヲ保持スルト共ニ行進及警戒ヲ容易ナラシムルコ
 トニモ著意スルヲ要ス
 第二百七十四 本隊ノ先頭ニハ爾後ノ使用及警戒ノ便ヲ考慮シ通常一部ノ歩
 兵ヲ行進セシム又行軍間ノ戰備ヲ嚴ナラシムル爲大ナル砲兵部隊ノ中間及縱
 隊ノ後尾ニモ所要ニ應ジ若干ノ步兵ヲ行進セシムルヲ可トス
 步兵ノ彈藥班ハ所屬部隊ニ隨從セシムルモノトス
 第二百七十五 野戰砲兵ハ勉メテ前方ニ在リテ行進セシメ野戰重砲兵ハ通常
 野(山)砲兵ヨリモ後方ヲ行進セシム又行軍間ノ戰備ヲ嚴ナラシムル爲大ナル
 野戰重砲兵ノ中間ニハ若干ノ野(山)砲兵ヲ行進セシムルヲ可トスルコトアリ
 重砲兵ハ本隊ノ後方時トシテ野戰重砲兵ノ後方適宜ノ位置ヲ行進セシム
 砲兵ノ大隊指揮班及中隊指揮小隊ハ要スレバ大隊毎ニ一團トナリ通常所屬大

工兵ノ位
置
消毒部隊
通信部隊
衛生部隊
架橋材料
中隊
自動車編

隊ノ先頭ニ、聯隊指揮班ハ聯隊ノ先頭ニ、砲兵團指揮班ハ本隊砲兵ノ先頭ニ在
 リテ行進セシメ時トシテ此等ノ一部又ハ大部ヲシテ更ニ前方ヲ行進セシム
 中隊及大隊段列ハ其ノ所屬部隊ト共ニ、聯隊段列ハ自動車編制以外ノモノニ
 在リテハ師團戰列部隊ノ直後ヲ、自動車編制ノモノニ在リテハ本隊ノ後方ヲ
 行進セシムルヲ通常トス
 砲兵情報聯隊ハ通常野戰砲兵ノ後方又ハ戰列部隊ノ後方ニ於テ適宜ノ位置ヲ
 行進セシム狀況ニ依リ所要ノ部隊ヲ前衛ト同行セシムルコトアリ
 第二百七十六 工兵ハ通常砲兵ノ前方時トシテ其ノ中間又ハ後方ヲ行進セシ
 ム
 第二百七十七 消毒部隊ハ所要ニ應ジ速カニ之ヲ使用シ得ル如ク其ノ兵力ト
 性能トヲ考慮シ縱隊ノ先頭附近若クハ他ノ適宜ノ位置ヲ行進セシム
 第二百七十八 通信部隊ハ所要ニ應ジ速カニ通信施設ヲ爲シ得ル如ク通常本
 隊ノ前方ニ在リテ行進セシメ時トシテ其ノ一部若クハ大部ヲ前衛ト共ニ行進
 セシム
 第二百七十九 衛生部隊ノ一部ハ通常軍隊區分ニ依リ編合セラレタル部隊ノ
 後尾ニ在リテ行進セシム
 第二百八十 架橋材料中隊ハ之ガ使用ヲ考慮シ多クノ場合輜重ト同行セシム
 若シ之ヲ本隊ノ行軍序列ニ入ルルトキハ通常其ノ最後尾ニ在リテ行進セシム
 特種ノ渡河材料ヲ有スルトキハ用途ニ應ジ適宜其ノ行軍位置ヲ定ム
 第二百八十一 自動車編制部隊ハ通常其ノ用途ヲ考慮シ本隊ノ後方又ハ前方

制部隊
戰車中隊
戰車中隊後尾ニ續行セシメ或ハ本隊ノ後方ヲ躍進セシム時トシテ段列ノ一部ヲ
先行セシメ通過設備ニ任ゼシムルコトアリ
先鋒ニシテ本隊ノ後方適宜ノ位置ヲ續行セシメ或ハ各縱隊毎ニ其ノ所屬
長ノ指揮ヲ以テ本隊ノ後方適宜ノ位置ヲ續行セシムルコトアリ
行李ヲ合シテ行進セシメ或ハ一部若クハ全部ヲ所屬部隊ト共ニ行進セシムルコトアリ
況ニ依リ行李ハ敵ニ反スル方側等安全ノ位置ヲ行進セシムルコトアリ
自動車編制ノ行李ハ前項ノ行李ト區分シ前項ニ準ジ行進セシム
行李ノ行軍序列ハ行李長之ヲ定ム而シテ通常所屬部隊ノ行軍序列ニ從フヲ便
トス
第二百八十三 師團輜重ハ輜重兵聯隊長ノ指揮ヲ以テ行動スルモノトス而シ
テ師團長ハ通常其ノ先頭ノ出發地點、時刻及到着地點ヲ示シ一若クハ數縱隊
トナリ行李ノ後方適宜ノ位置ヲ續行セシム
師團輜重ノ行軍序列ハ使用ノ順序、警戒ノ便否等ヲ考慮シテ之ヲ定ム
師團戰團ヲ豫期スルトキハ輜重兵聯隊長ヲシテ所要ノ輜重ヲ先進セシメ通常
本隊ノ直後ヲ行進セシム
戰車聯隊段列、自動車編制ノ砲兵聯隊段列、本隊ノ後方ヲ行進スル行李及師
團輜重等ハ輜重兵聯隊長ノ區處ニ依リ自動車編制ノモノト然ラザルモノトニ
區分シ行動セシムルコトアリ

大機
部隊及騎
李兵部
隊ノ行
側敵行
退却行
行軍路
察及處
置
出發時
及其注
事項意
第二十八 大ナル機械化部隊又ハ騎兵部隊ノ行李、輜重ハ通常之ヲ合シ
敵情、地形、友軍ノ掩護等ヲ考慮シ一地位ヨリ一地位ニ躍進セシムルカ或ハ一部
ヲ戰列部隊ト同行セシメ爾餘ヲ一時適當ナル地點ニ停止セシム時トシテ他部
隊ノ行李、輜重ト同行セシムルコトアリ何レノ場合ニ於テモ之ガ掩護ノ爲戰
列部隊ノ兵力ヲ減少スルコトハ勉メテ之ヲ避クルヲ要ス
第二十八 側敵行及退却行ノ場合ニ於テモ亦此ノ趣旨ニ準ズルモノトス
定トス側敵行及退却行ノ場合ニ於テモ亦此ノ趣旨ニ準ズルモノトス
第二十八 地方ノ行軍、雨期、極寒期等ノ行軍、休止、給水等ニ關シ特別ノ考慮ヲ
要スル地方ノ行軍、雨期、極寒期等ノ行軍、休止、給水等ニ關シ特別ノ考慮ヲ
ハ部隊ヲ派遣シ或ハ飛行機ヲ使用シ要スル豫メ進路上ノ障礙ヲ除去シ進路
ヲ開設又ハ補修シ道標ヲ設ケ衛生、給養、警戒等ニ關シ必要ナル處置ヲ講ズ
ルモノトス
狀況ニ依リ飛行機ヲシテ未知ノ地形ニ於ケル行軍ヲ誘導セシムルコトアリ
第二十八 出發時刻ハ戰術上ノ要求ニ基キ行軍行程、季節、氣象、部隊
ノ狀態等ヲ考慮シテ之ヲ定ム此ノ際注意スベキ事項概ネ左ノ如シ
過早ノ出發ハ軍隊ノ休養ヲ妨グト雖モ拂曉前ニ熟地ヲ出發スルハ日没後生
地ニ到着スルニ優ル
極寒時ニ於テハ日没前目的地ニ到着スルコトニ勉ムベキモ日出前後ニ於ケ
ル氣温ハ一日中最低ナルコトニ注意スルヲ要ス

行軍ノ爲
合法

行李ノ集
合出發
敵ニ觸接

酷熱時ニ於テハ通常出發時刻ヲ早メ晝間數時間ノ大休止ヲ行フ可トス
 夜行軍ニ於テハ之ヲ行フ目的ニ應ジ出發時刻ヲ定ム
第二百八十八 行軍ノ爲軍隊ノ集合ハ戰術上ノ考慮ニ基キ宿營地ノ狀態、
 新行軍序列、部隊ノ大小、地形等ニ應ジテ之ヲ定ム此ノ際適宜軍隊ヲ隱蔽シ
 且飛行機、機甲部隊等ノ奇襲ニ對シ警戒スルト共ニ勉メテ各部隊ニ徒勞ナカ
 ラシムルコト緊要ナリ
 通常ノ場合ニ於ケル集合ノ爲ニハ行軍路ニ沿ヒ若干ノ集合場ヲ設ケ各部隊ニ
 集合場及集合時刻ヲ指定スルモノトス斯クノ如キ場合ニ於テ其ノ集合場ヨリ
 部隊ヲ出發セシメ所定ノ行軍序列ニ入ラシムルハ該集合場ニ於ケル高級先任
 者ノ責任トス
 狀況ニ依リ單ニ通過スベキ地點及時刻ヲ示シ集合法ハ之ヲ各部隊ニ委スルヲ
 便トスルコトアリ
 夜間ノ集合ニ際シテハ適宜ノ方法ヲ以テ集合場ヲ標示シ混雜ヲ豫防スルコト
 緊要ナリ
 何レノ場合ニ於テモ狀況之ヲ許セバ行軍隊形ヲ以テ路上ニ集合セシムルヲ便
 トス
第二百八十九 行李ノ集合及出發ニ關シテハ師團長ハ通常集合場要スレバ之
 ニ到ル道路、集合時刻、本隊又ハ輜重トノ關係位置其ノ他必要ノ件ヲ命令シ
 各部隊長ハ之ガ實行ニ關シ混雜ヲ生ゼザル如ク周到ナル規定ヲ爲スモノトス
第二百九十 敵ニ接觸ノ虞少キトキハ各部隊毎ニ區分シ若クハ行軍ノ便ヲ考

ノ虞少ナ
キ場合

行軍間ノ
休日

行軍隊形

慮シ適宜部隊ヲ編合シテ其ノ行軍序列ヲ定メ諸隊ヲシテ成ルベク便利ナル多
 數ノ道路ニ依ラシメ出發時刻、休憩、步度等ノ規定ニ關シ勉メテ徒勞ヲ避ケ
 シムルモノトス又行李ハ通常聯(大)隊毎ニ合シテ其ノ所屬部隊ニ隨從セシメ
 輜重ハ給養ノ便ヲ考慮シ要スレバ其ノ一部ヲ戰列部隊ト共ニ行進セシムルモ
 ノトス
 前項ノ行軍部署ハ部隊大ナルニ從ヒ益々綿密ナルヲ要ス數日ニ互リ連續行軍
 スル場合ニ於テ特ニ然リトス而シテ大ナル部隊ノ行軍ニ方リテハ軍隊區分(縱
 隊及梯團ノ區分等)、進路ノ配當、日々ノ到着地點、出發時刻、大休止地點、
 休止時間、宿營區域、給養、燃料ノ補充、連絡、衛生施設等ニ就キ必要ナル
 事項ヲ規定スルヲ要ス
 敵ニ接觸ノ虞少キ場合ニ於テモ敵飛行機及敵意ヲ有スル住民等ニ對シ警戒ノ
 處置ヲ講ズルト共ニ敵ニ接觸ノ虞増大スルヤ直チニ所要ノ戰備ヲ整ヘ行軍シ
 得ル如ク豫メ考慮シ置ク可トスルコトアリ
第二百九十一 長時日ニ互リ連續行軍ヲ實施スル場合ニ於テハ狀況之ヲ許セ
 バ軍隊ヲ休憩セシムルト共ニ輜重及兵站ヲ追從セシメンガ爲適宜休日ヲ設ク
 ルコト必要ナリ
第二章 行軍ノ實施
第二百九十二 行軍ノ隊形ハ本令ニ於テ特ニ規定スル事項ノ外操典ノ定ムル
 所ヲ準用ス而シテ狀況之ヲ許セバ路上ノ行進ニ便ナル如ク側面縱隊又ハ縱隊
 ヲ用フルヲ通常トス

行軍間幹部ノ位置

下士官以下ノ位置

彈藥班器材小(分)隊行李ノ順序

第二百九十三 行軍間各指揮官ハ通常其ノ隊ノ指揮ニ便ナル所ニ位置シ中隊之ニ準ズルニ在リテハ通常一名ノ小隊長之ニ準ズルヲ其ノ隊ノ後尾ニ在リテ行進セシムルヲ可トス但シ「速歩」又ハ「氣ヲ著ケ」ヲ以テ行進スルトキハ通常各自操典所定ノ位置ヲ占メ中隊長之ニ準ズルハ其ノ隊ノ先頭ニ位置スルモノトス

第二百九十四 行軍間下士官以下ハ任務上支障ナケレバ列伍ニ入り缺伍ノ兵ト共ニ伍ヲ作ルモノトス

喇叭手ノ位置ハ中隊長之ニ準ズル以上ノ指揮官之ヲ定ム而シテ喇叭手一名ヲ其ノ隊ノ後尾ニ置クトキハ後方ヨリ號音ヲ傳ヘシムルニ便ナリ

戰備上支障ナケレバ步兵機關銃中隊及步兵砲隊等ノ銃(砲)手、其ノ彈藥小隊ノ兵隊兵ヲ除ク竝ニ砲兵中隊ノ徒步者ノ各大部ヲ先頭其ノ他適宜ノ位置ニ集メテ行進セシムルコトヲ得

戰備ヲ主トスル場合ニ於テハ主計下士官、騎兵及騎砲兵ノ徒步兵等ハ通常其ノ所屬部隊行李ノ前方ニ在リテ行進スルモノトス

第二百九十五 各部隊彈藥班、器材小(分)隊、行李等ニ在リテハ其ノ行進順序ハ指揮及使用ノ便ヲ考慮シ所屬部隊長之ヲ定ムルモ概ネ左ノ順序ニ依ルヲ便トス

通信器材、瓦斯防護資材、衛生材料、彈藥、燃料、歩兵器具、工兵隊器材、糧秣、荷物、金櫃、職工具、輜重携行器具、豫備蹄鐵、蹄鐵工具、被服、給養器具、豫備車輛、豫備輓(駄)馬

豫備乘馬ハ通常彈藥班長、器材小隊長等ノ指揮ヲ以テ其ノ先頭ヲ行進セシメ

路上行進位置

途歩、休

隊間距離

又聯(大)隊本部ノ行李ハ通常頭號大(中)隊ノ行李ニ合スルモノトス

各部隊ハ命令ナクシテ妄リニ規定外ノ物件ヲ携行スベカラズ

第二百九十六 軍隊ハ路上便利ナル方側ヲ選ビテ行進シ若シ道路ノ兩側便利同ジキトキ及他部隊ニ遭遇シタルトキハ左側ヲ行進スルモノトス

廣キ道路ニ於テハ常ニ其ノ一側ヲ空ケ他部隊ノ通過ニ供スベク狹キ道路ニ在リテモ單獨ノ乘馬者又ハ自轉車ヲシテ縱隊ノ行進ヲ妨害スルコトナク疾走シ得シメ又自動車等ト雖モ要スレバ幹部ノ指示ニ依リ迅速ニ通過シ得シムルヲ要ス

上空ニ遮蔽シ或ハ炎熱ヲ避クル等ノ爲行軍縱隊ヲ兩側ニ分チテ道路ノ中央ヲ空クルヲ可トスルコトアリ

第二百九十七 行軍間通常徒步兵種ニ在リテハ「途歩」、其ノ他ノ兵種ニ在リテハ「休メ」ヲ爲ス而シテ其ノ號令若クハ號音ニ依リ指揮官以下刀ヲ納メ銃ヲ各自ノ欲スル肩ニ擔ヒ又ハ懸ケ銃ニ關シテハ要ス自由ノ歩法ヲ取り特別ノ場合ノ外談話、喫煙等ヲ爲スコトヲ得

行軍間各自態ニ服裝ヲ亂スヲ禁ズ然レドモ中隊長之ニ準ズルハ許シ得ベキ事項ニ就キ適時之ヲ指示スルヲ要ス

行軍間兵ハ狀況上差支ナキ限り勉メテ前方ニ重ナリ隊列正面ヲ擴ゲザルコトニ注意シ又隊列ヲ離ルルヲ要スルトキハ小隊長、小隊長附近ニ在ラザルトキハ分隊長以上ノ許可ヲ受クルモノトス

第二百九十八 縱隊中ノ一部隊ニ生ズル行軍長徑ノ變化ハ縱ヒ小ナルモ漸次

他ノ諸部隊ニ影響ヲ及スコト大ナルヲ以テ各兵ハ勉メテ歩度ヲ齊一ニシ距離ヲ伸縮セザルコト緊要ナリ又各部隊間ニハ行軍長徑ノ變化ヲ調節スル爲左ノ隊間距離ヲ置クモノトス

步兵、工兵中隊後ニ 約八米
步兵大隊、工兵聯隊、騎兵中隊後ニ 約十五米
步兵聯隊、騎兵聯隊、砲兵中隊後ニ 約二十米
砲兵聯(大)隊、同聯隊段列後ニ 約三十米
輜重兵中隊後ニ 約四十米
自動車編制ノ中隊、戰車中隊後ニ 約百米

前項以外ノ部隊ニ在リテハ兵種及其ノ長徑ノ大小ニ從ヒ適宜隊間距離ヲ定ムルモノトス

第二百九十九 行軍間遠止、急進等ノ害ヲ防グ爲先頭部隊ハ特ニ歩度ヲ齊一ナラシムルコトニ注意シ後方ノ各部隊ハ隊間距離ヲ墨守スルコトヲ要スレバ適宜之ヲ伸縮シ以テ一時ノ撞著ヲ他部隊ニ波及セシメザルヲ要ス

第三百 行軍縱隊ノ長徑ノ短縮ヲ要スルトキハ其ノ正面ヲ廣クスルカ若クハ行軍縱隊ヲ併列シ要スレバ梯隊間ノ距離ヲ短縮シ時トシテ之ヲ廢スルモノトス

第三百一 出發後通常一時間以内ニ服裝、馬裝ノ改装、車輛ノ機能調整、兩便等ノ爲短時間ノ休憩ヲ行ヒ爾後我が企圖、行程、氣象、季節、地形等ニ應ジテ適宜休憩ヲ爲スモノトス

路上休憩 路上休憩
路外休憩 路外休憩
休憩地ノ選定 休憩地ノ選定
警戒中ノ警戒中
部隊間ノ連絡兵

長キ行軍ニ在リテハ通常約一時間毎ニ其ノ内ノ十乃至十五分ヅツ休憩ニ充テ又食事及飼與ノ爲ニハ通常少クモ三十分ヲ必要トス
獨立シテ行軍スル騎兵部隊ニ在リテハ約一時間三十分毎ニ又自動車編制部隊ニ在リテハ約一時間三十分乃至二時間毎ニ各十乃至二十分ノ休憩ヲ爲スヲ適當トス

第三百二 休憩ハ敵ニ關スル顧慮少ク且道路ヲ閉塞スルノ虞ナキトキハ行軍隊勢ノ儘路傍若クハ路上ノ一側ニ於テ行フヲ便トシ長時間ニ互ル場合ノ休憩ハ路外ニ於テシテ状況ニ依リ開進シテ之ヲ行フモノトス
路外ニ開進シテ休憩スル場合ニ於テハ通常若干ノ休憩地ヲ選定シ之ヲ各部隊ニ配當スルヲ可トス時トシテ大ナル休憩地ヲ選ビ各部隊ヲシテ到着スルニ從ヒ休憩ニ移リ且逐次ニ出發セシムルヲ可トスルコトアリ

行季、輜重長時間停止スル場合ニ於テハ勉メテ隘路、道路ノ分岐點等ヲ避ケ要スレバ適當ノ地ニ開進スルモノトス
第三百三 休憩地ノ選定ニ方リテハ給水、風雨ノ障蔽、遮蔽、陰影要スレバ進入進出路等ニ注意スルヲ要ス
休憩中各部隊ハ警戒ヲ怠ルベカラズ之ガ爲要スレバ部隊毎ニ長徑ヲ短縮シテ戰備ヲ整ヘ狀況嚴ナルニ從ヒ漸次駐軍間ニ於ケル警戒ニ近似セシムルモノトス
第三百四 部隊間ノ距離大ニシテ目視及音聲ニ依ル連絡困難ナルトキハ通常適宜ノ距離ヲ間シ連絡兵ヲ配置ス

夜行軍ノ注意

連絡兵ノ數ハ部隊間ノ距離ノ大小、連絡保持ノ難易等ニ應ジテ之ヲ定メ要ス
 レバ連絡長ヲ設ケテ連絡ノ確實ヲ圖ルモノトス
 縱隊中ノ一部隊他ノ進路ニ移ルニ方リテハ必ズ後方ノ部隊ニ之ヲ通報シ連絡
 ヲ失セザラシムルヲ要ス
第三百五 夜行軍ニ於テハ部隊ノ掌握ヲ確實ニシテ進路ヲ正シク維持シ敵ニ關
 スル顧慮アルトキハ嚴ニ企圖ヲ秘匿スルコト緊要ナリ又勉メテ給養ヲ良好ナ
 ラシムルヲ要ス
 部隊ノ掌握ヲ確實ナラシムルニハ各級指揮官就中隊長以下部下ノ監視ヲ周
 密ニシ各兵ヲシテ確實ニ前方ニ續行セシメ各部隊ハ適時道路ノ障礙ヲ除去シ
 又ハ迂回シ前方ノ部隊ハ所要ニ應ジ後續部隊ノ爲連絡兵ヲ殘置シ要スレバ標
 識ヲ爲シ時トシテ各部隊間ノ距離ヲ短縮スル等ノ處置ヲ講ジ休憩ニ際シテハ
 假眠及遲留ヲ戒ムルコト必要ナリ
 縱隊ノ進路ヲ正シク維持スルニハ爲シ得ル限り晝間ヨリ準備ヲ整ヘ所要ニ應
 ジ嚮導者ヲ附スルコト緊要ナリ廣漠タル地方、地圖不完全ナル地方等ニ於テ
 特ニ然リトス
 企圖秘匿ノ爲ニハ進路ノ選定ヲ適切ニシ住民ニ對スル警戒ヲ周到ナラシムル
 ト共ニ敵ノ近傍ニ於テハ特ニ靜肅ニ行進シ自動車、戰車等ニ在リテハ燈火ヲ
 覆ヒ時トシテ全ク之ヲ滅シ時宜ニ依リ徒歩者ヲシテ誘導セシムルコトアリ又
 敵飛行機ノ照明ニ對シテハ道路ノ中央部ヲ開放シ或ハ一時停止シテ隱蔽ヲ圖
 ルヲ可トス

極寒時ニ於ケル注意

第三百六 極寒時ニ於テハ凍死、凍傷ノ軍隊ヲ損耗スルコト戰闘ヨリモ甚ダ
 シキコトアリ故ニ之ガ豫防ノ特ニ防寒ノ處置ヲ周到ニシ身體各部ノ濕潤ヲ
 防ギ且給養及休憩法ヲ適切ナラシムルコト緊要ナリ
 防寒ノ處置ニ遺憾ナカラシムルニハ當時ノ氣象、我が行動等ニ應ジ防寒被服
 ノ使用ヲ適切ニシ紐、釦等ノ解脫ヲ戒メ窮屈ナル被服就中窮屈ナル靴ノ使用
 ヲ避ケ又徒歩兵ハ適宜銃ヲ肩ニ懸ケ乘馬兵ハ時々下馬行進ヲ行ハシムルヲ可
 トス
 身體ノ濕潤ヲ防グニハ防寒被服ノ過度ノ着用ヲ戒メ爲シ得レバ發汗多キ行動
 及濕潤地ノ跋涉ヲ避ケ若シ被服特ニ手袋、靴下等濕潤シタルトキハ速カニ之
 ヲ交換又ハ乾燥セシムルヲ可トス
 給養ヲ良好ナラシムルニハ勉メテ溫食及溫湯ヲ給シ又適時熱量ニ富ム間食ヲ
 與ヘ勉メテ空腹ヲ感セシメザルコト緊要ナリ之ガ爲辨當ニハ爲シ得レバ「
 ン」類ヲ用ヒ飯盒、水筒等ハ適宜被服下ニ携行スルカ若クハ毛皮等ヲ以テ覆
 ヒ之ガ凍結ヲ防グヲ可トス米ニ少量ノ醬油ヲ加ヘテ炊事シ又湯茶ニ砂糖ヲ加
 フルモ凍結ヲ防グニ效果アリ
 休憩ノ爲ニハ成ルベク防風及給水特ニ馬ノ水與ニ便ナル地ヲ選ビ又嚴ニ屋外
 ノ假眠ヲ戒メ現地ノ物件或ハ携行セル燃料ニ依リテ採暖ノ方法ヲ講ジ又ハ適
 宜ノ人員毎ニ集團シ手足ヲ動かシ暖氣ヲ取ルヲ可トス若シ寒冷ノ爲疼痛ヲ感
 ジタルトキハ直接其ノ部ヲ火熱ニ觸レシムルコトナク摩擦スルヲ可トス狀況
 ニ依リ休憩時間ヲ短クシ回数ヲ増加スルヲ可トスルコトアリ

酷暑時ニ於ケル注意

自動車、橋等ヲ利用スル場合ニ於テハ特ニ凍傷豫防ノ注意ヲ爲シ嚴ニ走行中ノ假眠ヲ戒メ寒氣甚ダシキトキハ適宜徒步行進ヲ交フルヲ可トス

氣温概ネ氷點下三十度ヲ下ルトキハ防寒及採暖ニ關シ特ニ細心ノ注意ヲ必要トス風強キ場合ニ於テ特ニ然リ又出發當日寒氣烈シカラザル場合ニ於テモ氣象ノ變移性ヲ考慮シ所要ノ防寒準備ニ遺憾ナカラシムルコト緊要ナリ

積雪地ニ於ケル斥候、傳令等ニハ「スキー」ヲ使用セシムルヲ得バ便ナリ又吹雪中ニ於テ斥候等ヲ支分スルトキハ連絡ヲ失シ危險ニ陥ラシメザル如ク注意スルヲ要ス

馬蹄ノ保護ニ關シテハ行軍間常ニ注意スルコト緊要ナリ

第三百七 酷暑時ニ於テハ喝病其ノ他ノ疾病ヲ豫防スル爲勉メテ軍隊ノ過勞ヲ防ギ食餌特ニ飲料水ノ供給ヲ適切ナラシムルコト緊要ナリ

軍隊ノ過勞ヲ防グ爲ニハ睡眠ヲ十分ニシ行軍間適宜襟ヲ開キ要スレバ上衣ヲ脱シ帽内ニハ綠葉等ヲ入レ垂布ヲ附シ鐵帽ノ著用時間ハ勉メテ之ヲ減少シ且時々脱帽シ爲シ得レバ列伍ヲ開キ行軍速度ヲ減ジ負擔量ヲ輕減シ休憩ヲ増シ日中ノ大休止ヲ長クシ成ルベク日陰ヲ利用セシムル等ノ處置ヲ必要トス又馬匹ハ適宜帽類等ヲ用ヒテ頭部ヲ保護シ且歩度ノ配合ニ注意スルヲ要ス

飲料水ノ供給ヲ十分ナラシムルニハ豫メ水筒ヲ充填セシメ又休憩地ノ選定ニ方リ特ニ人馬ノ給水ヲ考慮シ要スレバ途中ニモ之ヲ準備セシムルモノトス而シテ軍隊沸水車ヲ携行スルトキハ之ヲ使用シ若シ生水ヲ用フルヲ要スルトキハ淨水、消毒等ヲ行フヲ要ス

自動車行ノ注意

橋行軍

輓獸保護

酷暑時ニ於テハ食品ノ腐敗ヲ防グコト緊要ニシテ之ガ爲少量ノ酸類、梅干等ヲ加ヘテ炊事シ或ハ「パン」類ヲ用ヒ其ノ携帶法ニ就テモ特別ノ注意ヲ必要トス

各級指揮官ハ常ニ部下ノ志氣ヲ振作シ前夜ノ睡眠不足者及食慾不振者ノ状態ニ注意シ狀況ニ依リ救護班ヲ設クル等適宜ノ處置ヲ講ズルヲ要ス

氣温約四十度ヲ超ユルニ至レバ保健上特ニ細心ノ注意ヲ必要トス風ナキ場合ニ於テ特ニ然リ

第三百八 自動車編制部隊ノ行軍ニ在リテハ特ニ機關ノ點檢及調整ヲ周到ニシ進路ノ選定ヲ適切ニシ且操縱者ヲ過勞ニ陥ラシメザルコトニ留意スルヲ要ス

極寒時ニ於テハ特ニ機關部ノ保温、不凍液及不凍油ノ使用、車輛ノ防滑、「ガラス」ノ防曇等ニ關シ特別ノ注意ヲ必要トス若シ急遽出發スルヲ豫期スル場合ニ於テハ豫メ機關部ヲ暖メ嚴ニ其ノ凍結ヲ豫防スルヲ要ス

酷熱時ニ於テハ冷却器ノ點檢及水ノ交換ヲ屢、行ヒ機關ノ過熱ヲ防グコト必要ナリ

第三百九 橋ニ依ル行軍ニ於テハ各橋及部隊間ノ連絡方法ヲ定メ之ヲ嚴守セシメ以テ部隊ノ掌握ヲ確實ニシ且常ニ搜索ヲ周到ナラシメ不意ノ敵襲ヲ豫防スルコト緊要ナリ而シテ連絡及搜索ノ爲「スキー」ハ屢、有利ニ使用セララルコトアリ

輓獸ノ保護ニ關シテハ絶エズ注意スルヲ要ス

長途輸送
後ノ行軍
行進位置
交代

眼鏡
眼鏡

橋梁通過

徒涉場通

第三百十 長途ノ輸送後ニ於ケル行軍ノ實施ニ方リテハ人馬特ニ馬匹ノ状態ニ周到ナル注意ヲ拂ヒ無益ノ損耗ヲ豫防スルヲ要ス

第三百十一 道路不良ナルトキ、炎熱、積雪、沙塵等甚ダシキトキ、強風ノトキ等ニ在リテハ先頭部隊又ハ一側ヲ行進スル兵ヲ時々交代セシムルヲ可トス

沙塵飛揚スル場合及積雪地ニ在リテハ眼鏡若クハ眼鏡等ヲ使用スルヲ得バ有利ナリ

第三百十二 橋梁通過ニ方リテハ之ヲ主管スル橋梁哨長等ノ示ス橋梁通過ノ規定ヲ遵守スベキモノトス故ニ各部隊長等ハ橋梁ニ達スル前豫メ之ト連絡スルヲ要ス

制規ノ材料ヲ以テ架設セル橋梁ヲ渡過スルニハ通常其ノ中央部ヲ行進シ歩ヲ揃ヘザルモノトス而シテ乘馬者ハ豫メ馬匹ヲ沈静ナラシムルコトニ勉メ要ス

レバ互ニ適當ノ距離ヲ取リ以テ馬匹騷擾等ノ爲橋梁ヲ毀損スルコトナカラシムルヲ要ス又自動車ハ適當ノ距離ヲ保チテ行進シ橋梁上ニ停止シ或ハ速度ヲ變更セザルヲ要ス而シテ自動車ニ在リテハ要スレバ乗員若クハ積載品ヲ卸スモノトス人馬及車輛ハ縱ヒ其ノ前方ノ距離ヲ失フコトアルモ橋梁上ニ於テ之ヲ恢復セザルヲ要ス

應川材料ヲ以テ架設セル橋梁又ハ在來ノ橋梁ニ在リテハ其ノ強度ニ應ジ前項ノ要領ニ準ジテ行進シ要スレバ特別ノ規定ヲ設クルモノトス

第三百十三 徒涉場ノ通過ニ際シテハ狀況之ヲ許セバ徒歩兵ヲ先ニシ馬匹及車輛ヲ後ニスルヲ可トス

流速大ナルトキハ軍隊ヲ幅廣キ小群ニ分チ徒歩兵ハ互ニ手又ハ腕ヲ組ミテ密集シ各群間ニハ若干ノ距離ヲ存シ水面ヲ諦視スルコトナク通過セシムルヲ可トス又彈藥ノ濕潤ヲ避クル爲ニハ豫メ之ヲ背囊ニ納メシムルカ或ハ舟筏等ニ依リテ渡スヲ可トス

自動車ニ在リテハ河底ノ狀況ニ注意シ水深大ナルトキハ機關部及電氣裝置ニ防水ノ慮置ヲ講ジ又戰車及裝甲車ニ在リテハ水深大ナルトキハ出入口及鐵窓ヲ密閉シ要スレバ進路ヲ標示シ又ハ車外ヨリ誘導スルモノトス

徒涉シ得ル水深ハ流速、河幅、河底ノ狀況等ニ依リ異ナルモノトス

第三百十四 氷上ヲ通過スルニハ成ルベク土砂、藁、灰、木屑等ヲ撒布シ或ハ十字鉞等ヲ以テ氷面ヲ粗ニシ或ハ靴ニ滑止メヲ附シ特殊ノ踏鐵ヲ使用スル等ノ慮置ヲ講ジ人馬ノ滑走ヲ防グヲ可トス

氷ノ抗力十分ナラザルトキハ氷厚ノ増加ヲ圖リ或ハ板等ヲ敷キ若クハ各兵ノ距離間隔ヲ疎開スルヲ必要トス

通過シ得ル氷厚ハ諸般ノ狀況特ニ凍結度ニ依リ異ナルモノニシテ解氷期ニ於テハ其ノ抗力薄弱ナルコト多キニ注意スルヲ要ス

第三百十五 舟筏ニ依ル渡河ニ方リテハ通常渡河部隊ノ指揮官ハ豫メ渡河作業ヲ掌ル將校ニ就キ渡場ノ位置、舟筏ノ搭載量、乗船、上陸法其ノ他必要ノ事項ヲ承知シ乗船前舟筏ノ搭載量ニ應ジ軍隊ヲ區分シ所要ノ準備ヲ整フルモノトス

過

氷上通過

舟筏渡河

車輻ヲ後ニスルヲ可トス
流速大ナルトキハ軍隊ヲ幅廣キ小群ニ分チ徒歩兵ハ互ニ手又ハ腕ヲ組ミテ密集シ各群間ニハ若干ノ距離ヲ存シ水面ヲ諦視スルコトナク通過セシムルヲ可トス又彈藥ノ濕潤ヲ避クル爲ニハ豫メ之ヲ背囊ニ納メシムルカ或ハ舟筏等ニ依リテ渡スヲ可トス
自動車ニ在リテハ河底ノ狀況ニ注意シ水深大ナルトキハ機關部及電氣裝置ニ防水ノ慮置ヲ講ジ又戰車及裝甲車ニ在リテハ水深大ナルトキハ出入口及鐵窓ヲ密閉シ要スレバ進路ヲ標示シ又ハ車外ヨリ誘導スルモノトス
徒涉シ得ル水深ハ流速、河幅、河底ノ狀況等ニ依リ異ナルモノトス
第三百十四 氷上ヲ通過スルニハ成ルベク土砂、藁、灰、木屑等ヲ撒布シ或ハ十字鉞等ヲ以テ氷面ヲ粗ニシ或ハ靴ニ滑止メヲ附シ特殊ノ踏鐵ヲ使用スル等ノ慮置ヲ講ジ人馬ノ滑走ヲ防グヲ可トス
氷ノ抗力十分ナラザルトキハ氷厚ノ増加ヲ圖リ或ハ板等ヲ敷キ若クハ各兵ノ距離間隔ヲ疎開スルヲ必要トス
通過シ得ル氷厚ハ諸般ノ狀況特ニ凍結度ニ依リ異ナルモノニシテ解氷期ニ於テハ其ノ抗力薄弱ナルコト多キニ注意スルヲ要ス
第三百十五 舟筏ニ依ル渡河ニ方リテハ通常渡河部隊ノ指揮官ハ豫メ渡河作業ヲ掌ル將校ニ就キ渡場ノ位置、舟筏ノ搭載量、乗船、上陸法其ノ他必要ノ事項ヲ承知シ乗船前舟筏ノ搭載量ニ應ジ軍隊ヲ區分シ所要ノ準備ヲ整フルモノトス

空襲ニ對スル事項

一六

機甲部隊ニ對スル攻撃事項

各部隊ハ順序ニ從ヒ乗船シ又上陸ニ際シテハ速カニ上陸點ヲ離レ以テ混雜ヲ豫防スルコト必要ナリ
 航行中ハ各人其ノ位置ヲ離レ或ハ姿勢ヲ變ズル等ノコトナク又特ニ漕手ノ動作ヲ妨害セザルコトニ注意スルヲ要ス
 第三百十六 行軍中敵ノ空襲ニ對シテハ事前ノ準備ト各部隊ノ獨斷協同トニ依リ沈著機敏機宜ノ處置ヲ講ズルヲ要ス之ガ爲準備スルべき事項概ネ左ノ如シ
 一、對空射撃ニ任ズル部隊ハ敵機我が有效射界ニ入ルヤ直チニ射撃ヲ開始ス此ノ際友軍ニ危害ヲ及サザルコトニ注意シ又縱ヒ敵機我が縱隊上ニ煙幕ヲ展張シ或ハ瓦斯ヲ雨下スルモ射撃ヲ續行シ得ル如ク適時一部隊ヲ航路ノ側方ニ配置スルヲ得バ有利ナリ
 二、第三百十八第一項ノ各部隊長ハ必要ニ應ジ對空射撃部隊ヲ増加シテ速カニ敵機ノ撃滅ヲ圖リ又一時部隊ノ行進ヲ停止セシムル等機宜ノ處置ヲ講ジ爾他ノ各部隊長モ亦要スレバ獨斷此ノ趣旨ニ準ジテ處置スルモノト爲準據スルべき事項概ネ左ノ如シ
 一、豫メ指定セラレアル部隊ハ神速ニ陣地ヲ占メ敵我が有效射界ニ入ルヤ

瓦斯對スル攻撃ニ對スル處置

直チニ射撃ヲ開始ス此ノ際友軍ニ危害ヲ及サザルコトニ注意スルヲ要ス
 二、第三百四十三第一項ノ各部隊長ハ狀況ニ應ジ戰闘ニ任ズべき部隊ヲ増加スルト共ニ爾餘ノ部隊ノ行動ヲ統一シ其ノ掌握ヲ確實ニシ他ノ方面ニ對シテモ必要ノ對策ヲ考慮スルコトヲ要スナリ爾他ノ各部隊長モ亦要スレバ獨斷此ノ趣旨ニ準ジテ處置スルモノトス
 三、爾餘ノ部隊ハ速カニ前記部隊ノ射界ヲ解放スルヲ要ス而シテ行進ヲ續行スベキヤ或ハ一時停止スベキヤハ狀況ニ依ル
 四、敵戰車至近ノ距離ニ迫ルトキハ當面ノ部隊ハ狀況之ヲ許ス限リ射撃ヲ集中シ次テ肉薄攻撃ヲ敢行シ敵戰車ノ撃滅ヲ圖ルモノトス此ノ際射撃部隊ト肉薄攻撃部隊ト互ニ其ノ行動ヲ妨害セザルコト竝ニ我が火力ヲ免レテ撞ニ行動スル敵ノ瓦斯攻撃ニ對シテハ各個防護ノ處置ヲ講ジ中隊長之ニ準ズル以上ハ適時地形、地物ヲ利用シ隊形ヲ疎開スル等損害減少ノ處置ヲ講ズルヲ要ス
 被毒セル人馬、材料等アルトキハ各部隊長ハ速カニ應急ノ消毒ヲ行ヒ撒毒地域ヲ標示シ適當ナル迂回路ナキトキハ適宜消毒ノ方法ヲ講ズベキモノトス斯クノ如キ狀況ニ於テハ上級指揮官ハ速カニ全般ノ行動ヲ統制スルコト緊要ナリ

第三百十九

第三章 交通整理
 高級指揮官ハ作戰地域内ノ交通統制ニ關シ機ヲ失セズ必要ナル

輻輳道路ノ整理

交通整理班

交通整理班ノ動作

事項ヲ規定シ混雜ヲ豫防スルヲ要ス若シ豫メ之ヲ明示シ難キ狀況ニ於テハ所要ノ地點ニ幕僚等ヲ派遣シ機ヲ失セズ之ヲ處理セシムルコト緊要ナリ

第三百二十 諸部隊ノ輻輳スベキ隘路、市街ノ要點、行違ヒヲ許サザル長隘路、主要道路ノ交叉點等特ニ交通ノ混雜ヲ豫想スベキ地點ニ對シテハ該地點通過ノ諸部隊ニ對シ區處權ヲ有スル指揮官ハ豫メ交通整理班ヲ配置シ明確ニ意圖ヲ示シテ混雜ヲ豫防セシメ要スレバ更ニ幕僚ヲ派遣シテ的確ニ區處セシムルヲ要ス

第三百二十一 高級指揮官交通整理班ノ必要ヲ豫想スルトキハ豫メ之ヲ編成シ隨時配置シ得ルノ準備ヲ爲スコト緊要ナリ

交通整理班ハ將校ヲ長トシテ編成シ所要ニ應ジ移動及通信機關ヲ屬スルモノトス此ノ際班長ノ人選ニ關シテハ特ニ留意スルヲ要ス

橋梁哨ヲ配置セル場所ニ於テハ交通整理ノ任務ヲ該橋梁哨ヲシテ兼ネシムルコトアリ

第三百二十二 交通整理班ハ所屬指揮官ノ意圖ニ基キ通過諸部隊ノ爲通過時期、順序、隊形、隘路等ニ於ケル前後ノ開放區間ヲ整理テ容易ナラシムル爲開放區間ヲ設待期部隊ノ開進地區等交通整理ニ關シ所要ノ規定ヲ設ケ必要ナル地點ニ幹部以下ヲ配置シテ之ヲ徹底セシメ又通常哨兵ヲ適宜ノ位置ニ配置シテ秩序ヲ維持シ要スレバ隘路等ニ達スル前ニモ之ヲ配置シテ通過部隊ニ必要ナル豫告ヲ與フルモノトス

交通整理班ニ屬スル者ハ白布ニ^⑤ト墨書シタル標識(止ムヲ得ザルトキハ白

通過規定

不意ノ交通整理

行進交叉

輻重、自動車等

宿營部署ノ決定
舍營ノ利
害

布)ヲ左腕ニ纏フモノトス

第三百二十三 各部隊ハ交通整理ノ必要ナル所以ヲ理解シ秩序ヲ重ンジ克ク交通整理班等ノ定ムル通過規定ヲ遵守セザルベカラズ

第三百二十四 不意ニ交通整理ノ必要ヲ生ジタル場合ニ於テハ其ノ地ニ在ル高級先任ノ指揮官ハ適宜ノ方法ヲ講ジ交通整理ヲ爲スノ責任ヲ有ス各部隊モ亦進ンテ其ノ統制ニ服シ全般ノ行動ヲ滯ナカラシムルコト緊要ナリ

第三百二十五 行進交叉ヲ爲ス部隊ハ通常各、所要ノ間隙ヲ作り他部隊ヲシテ之ヲ通過セシムルコトヲ圖リ通過スベキ部隊ハ若干部隊毎ニ其ノ長徑ヲ閉縮シ急速ニ通過スルモノトス自動車編制ノ如キ速度大ナル部隊ト然ラザル部隊トノ行進交叉ニ於テハ通常先ヅ速度大ナル部隊ヲシテ急ギ通過セシムルヲ有利トス

第三百二十六 輻重兵隊或ハ自動車隊等同一部隊ニ屬スルモノノミノ往復スル隘路等ニ對シテハ當該部隊長本章ノ規定ニ準ジ適宜ノ方法ヲ以テ交通整理ヲ爲スヲ通常トス

第六篇 宿營

第三百二十七 高級指揮官ハ諸般ノ狀況ヲ較量シ戰術上ノ要求ト休養ノ爲考慮スベキ程度トヲ定メ之ニ應ジテ宿營ノ部署ヲ定ムルモノトス

第三百二十八 舍營ハ縱ヒ貧弱ナル住民地ニ在リテモ人馬ノ休養上露會ニ優ル故ニ戰術上及衛生上妨ナケレバ宿營ハ舍營ニ依ルヲ最良トス

給水處置
宿留長キ
トキ宿營
地ノ施設
滯留短キ
トキ
宿營地出
發
宿營間ノ
通信

宿營地ヲ敵ニ察知セシメザル爲時トシテ日没ヲ待チテ就宿スルヲ可トスルコトアリ又夜間上空ニ對シ僞宿營地ヲ設クルヲ可トスルコトアリ
第三百三十四 給水困難ナル地方ニ在リテハ適時作井、濾水、淨水要スレバ飲料水輸送等ノ處置ヲ講ズルト共ニ水ノ節用ヲ圖ルコト緊要ナリ
作井機關ハ狀況ノ許セバ宿營地ニ先行セシムルヲ可トス
第三百三十五 一地ニ長ク滯留スルトキハ諸勤務ヲ衛戍地ニ於ケル要領ニ準ジテ規定シ特ニ防空、交通、衛生、瓦斯防護、防火要スレバ防寒、防暑等ノ施設ヲ十分ニシ間諜ノ取締ヲ周到ニシ且各司令部、本部、病院、倉庫等ハ要スレバ案内所ヲ設ケテ其ノ所在ヲ明カニシ警備上差支ナケレバ宿營地ノ入口、停車場等ニ之ヲ揭示シ且適宜道標ヲ設クルヲ可トス
滯留短キトキニ於テモ各宿營部隊ハ前項ニ準ジ成ルベク速カニ必要ナル工事及施設ヲ行フモノトス
宿營地出發ニ方リテハ我が兵種、兵力、企圖等ヲ察知セラルベキ痕跡及物件ヲ殘スコトナク又後方部隊等ノ使用ニ供シ得ルモノハ勉メテ清潔ヲ保持シ之ヲ存置スルノ著意ヲ必要トス
第三百三十六 宿營間ニ於ケル通信施設ハ敵情、宿營地ノ廣狹、宿營期間ノ長短等ニ依リ異ナルモ成ルベク必要ノ最小限度ニ止メ且爲シ得ル限り既設通信線ヲ利用スルヲ可トス然レドモ前哨、本隊間ノ通信施設等ノ如ク緊急處置ニ備フルモノニ在リテハ缺陷ナカラシムルヲ要ス

第一章 宿營地ノ配當

露營ノ利
害竝採用
村落露營
ヲ爲ス場
合
宿營地偵
察
宿營命令
宿營地掩
蔽

第三百二十九 露營ハ戰鬪準備迅速ナリ故ニ敵ト接觸シ迅速ナル戰鬪準備ヲ必要トスル部隊ノ宿營竝ニ住民地ニ乏シキカ又ハ傳染病等ノ爲住民地ヲ利用スル能ハザル部隊ノ宿營ハ露營ニ依ル
第三百三十 村落露營ハ戰術上若干部隊ノ迅速ナル戰鬪準備ヲ必要トスル場合又ハ住民地不足ノ爲全隊舍營ヲ爲ス能ハザル場合ニ於テ之ヲ行フ村落露營ハ戰鬪準備ヲ殆ド露營ニ等シカラシメタル場合ニ於テモ尙軍隊休養上ニ於テハ之ニ優ルヲ通常トス
第三百三十一 高級指揮官宿營ニ決セバ速カニ偵察者ヲ先遣シ現地ヲ偵察セシムルヲ可トス此ノ際宿營地ニ於ケル傳染病及撒毒ノ有無、井水ノ検査、民情ノ調査等ノ爲必要ノ人員ヲ同行セシムルヲ要ス
第三百三十二 高級指揮官ハ軍隊宿營ノ爲宿營地、宿營法、舍(露)營區ノ配當、警戒法、給養法、要スレバ防空ニ關スル事項、戰備ノ度、警急大集合場、舍(露)營司令官等ニ關シ命令ヲ下スモノトス
行軍ヨリ宿營ニ移ルニ際シテハ成ルベク行軍中ニ於テ命令ノ要旨ヲ傳へ各部隊ヲシテ無益ニ駐止セシムルコトナキヲ要ス又此ノ際宿營地ニ入りシ部隊ハ速カニ本道ヲ開放シ一般ノ交通特ニ補給ニ支障ナカラシムルノ注意ヲ必要トス
第三百三十三 宿營地ハ敵眼、敵火ニ對シ爲シ得ル限り掩蔽スルヲ要ス縱ヒ掩蔽困難ナル場合ニ於テモ勉メテ我が企圖ヲ判斷シ得ザラシムル爲宿營地ノ位置ノ選定ヲ適切ニシ且主力砲兵、戰車等ノ秘匿ニ關シ注意スルヲ要ス

領配宿ノ要
第三百三十七 宿營地及其ノ廣狹ハ我が企圖及一般ノ狀況ニ應ジ指揮掌握
 宿營地ノ防衛、給養、衛生等ノ諸件ヲ考慮シテ之ヲ定ム而シテ行軍間ノ宿營
 地ハ通常就宿及集合ニ多クノ時間ヲ要セザル如ク概ネ縱隊ノ長徑ニ應ジテ之
 ヲ設クルモノトス
第三百三十八 宿營地大ナルトキハ之ヲ若干ノ舍(露)營區ニ分チ又特ニ小ナ
 ル舍(露)營地相接近シアルトキハ其ノ若干ヲ合シテ一舍(露)營區ト爲スヲ通
 常トス
 一舍(露)營區ノ大イサハ部隊ノ建制又ハ當時ノ軍隊區分ト宿營地ノ大イサト
 ヲ考慮シ高級指揮官ノ指揮統御ト各舍(露)營區内ニ於ケル業務ノ統一實施ト
 ニ便ナラシムル如ク之ヲ定ムルモノトス特ニ行軍間ノ宿營ニ在リテハ宿營地
 到着迄ノ軍隊區分及爾後豫想スル軍隊區分ニモ適應セシムルヲ要ス
第三百三十九 敵ニ關スル顧慮多キ場合ニ於テハ戰術上ノ要求ニ基キテ宿營
 地及其ノ區分ヲ定メ過度ニ之ヲ分散セシムルコトヲ避ケ強大ナル步兵ヲ最前
 線ニ置キ要スレバ若干ノ砲兵ヲ附シ騎兵ハ安全ト休養トヲ考慮シ多少離隔ス
 ルモ警戒ニ便ナル位置ニ在ラシメ砲兵ハ之ヲ孤立セシメズ要スレバ若干ノ步
 兵、工兵等ヲ附シ砲兵聯隊段列ハ狀況ニ依リ聯隊ニ合シ或ハ分レテ宿營セシ
 メ機械化部隊ハ騎兵ニ準ジ特ニ車輛ノ整備及補給ニ便ナルコトヲ考慮シテ其
 ノ位置ヲ定ムルモノトス
第三百四十 行李ハ狀況妨ナケレバ高級指揮官ノ命ニ依リ各所屬部隊ノ位置
 ニ分進セシメ然ラザルトキハ別ニ宿營地、宿營法等ヲ示シ獨立シテ宿營セシ

輜重
 司令部本
 部位置
 舍(露)營
 司令官

△後ノ場合ニ於テハ糧秣其ノ他一部ノ行李ヲ先ヅ各部隊ノ位置ニ分進セシメ
 其ノ用ヲ辨シタル後自己ノ宿營地ニ歸還セシムルヲ通常トス
 行李ノ分進ニ對シテハ各部隊長ハ其ノ到着ヲ迅速確實ナラシムル爲適時誘導
 ノ手段ヲ講ズルヲ要ス
第三百四十一 輜重ハ概ネ其ノ行軍長徑ニ應ジテ宿營セシムルモノトス之ガ
 爲高級指揮官ハ通常概略ノ地域ヲ示シ輜重兵聯隊長ヲシテ其ノ範圍内ニ於テ
 適宜宿營セシムルモノトス
第三百四十二 司令部、本部ノ位置 舍營司令官又ハ營司令官ハ指揮及連絡容易ナル
 地點ニ之ヲ選定シ各衛兵所及宿營地ノ出口ニ在ル各步哨ニ知ラシメ置クモノ
 トス而シテ敵ノ目標トナリ易キ顯著ナル地點及直接警戒困難ナル地點等ハ勉
 メテ之ヲ避クルヲ可トス

第二章 勤務員

第三百四十三 各舍(露)營區ニ舍(露)營司令官 村務營ニ在リテハヲ置ク而シテ高
 級指揮官ヨリ特ニ命ゼラレザルトキハ各舍(露)營區ニ於ケル高級先任ノ將校
 ハ舍(露)營司令官トス然レドモ將官ハ要スレバ他ノ將校ヲシテ此ノ任ニ當ラ
 シムルコトヲ得
 舍(露)營司令官ハ舍(露)營區ノ配宿、内務及警戒ニ關スル事項ヲ統轄スルモ
 ノトス之ガ爲舍(露)營命令ニ於テ示スベキ事項概ネ左ノ如シ
 各部隊ノ舍(露)營地區
 舍(露)營日直將校及巡察將校(下士官)

部隊日直
將校(下
士官)三五
巡察將校
(下士官)

舍(露)營衛兵、要スレバ直轄ノ對空監視哨、對空射擊部隊等ノ兵力、差出

區分及配置

戰備ノ度

各種警報ニ際シ取ルベキ特別處置
高級指揮官及舍(露)營司令官ノ位置
要スレバ緊急集合場及之ニ到ル道路

前項ノ外要スレバ連絡、衛生、防火、瓦斯防護、日課時限、防諜其ノ他住民

ニ關スル事項等ニ就キ所要ノ規定ヲ爲スモノトス

第三百四十四 各舍(露)營區ニ通常舍(露)營日直將校一名 通常大尉、大部隊
在リテハ佐官 及所

要ニ應ジ巡察將校(下士官)若干名ヲ置ク

舍(露)營日直將校ハ舍(露)營司令官ノ命ヲ受ケ舍(露)營衛兵及同司令官直轄

ノ對空監視哨、對空射擊部隊等ヲ指揮シ且内務及警戒ニ關スル舍(露)營司令

官ノ指示ヲ部隊日直將校(下士官)ニ傳ヘ同司令官ノ業務ヲ輔佐スルモノトス

巡察將校(下士官)ハ舍(露)營司令官ノ命ヲ受ケ内務及警戒ニ關シ舍(露)營區

内ノ監視ニ任ズルモノトス

第三百四十五 大隊若クハ之ニ準ズル部隊(輜重兵ニ在リテハ中隊)ハ小隊長

若クハ之ニ準ズル者一名ヲ又獨立セル中隊若クハ之ニ準ズル部隊(輜重兵ニ

在リテハ小隊)ハ將校若クハ下士官一名ヲ以テ通常部隊日直ト爲ス部隊日直

ヲ置カザル部隊アルトキハ適宜最寄ノ部隊日直將校(下士官)ヲシテ其ノ業務

ヲ兼ネシムルモノトス

人員寡少
ノ場合
飛行戰隊
宿營地
警戒法戰
備警報
三三、三四
宿營ニ移
ル警戒
舍(露)營
衛兵

部隊日直將校(下士官)ハ所屬部隊長ノ命ヲ受ケ同部隊ノ部隊衛兵ヲ指揮スル
ト共ニ速カニ舍(露)營日直將校ニ届告シ内務及警戒ニ關スル指示ヲ受ケ之ヲ
所屬部隊長ニ報告シ之ニ基ク部隊長ノ命令ノ實行セラレアリヤ否ヤヲ監視ス
ルモノトス

前項ノ外各部隊ハ其ノ内務ノ實行ヲ容易ナラシムル爲所要ニ應ジ衛戍地ニ於

ケル要領ニ準ジ日直下士官、日直上等兵等ヲ置ク

第三百四十六 一舍(露)營區ノ部隊寡少ナルトキハ舍(露)營日直將校ヲ置ク

コトナク舍(露)營司令官自ラ之ヲ兼ネ或ハ部隊日直將校ヲシテ之ヲ兼ネシム

ルコトアリ

第三百四十七 飛行戰隊ノ宿營ニ方リ其ノ宿營地ノ勤務ハ通常當該飛行場ノ

地上勤務部隊之ヲ擔任スルモノトス

第三章 警戒

第三百四十八 宿營ニ於ケル警戒法、戰備ノ度、警報ニ際シ取ルベキ處置等

ニ關シテハ第三百三十二及第三百四十三ニ據リ高級指揮官及舍(露)營司令官

ノ特ニ規定スルモノノ外各部隊長ニ於テ更ニ必要ノ事項ヲ定ムルモノトス

第三百四十九 敵ニ近接シアルトキ又ハ住民敵意ヲ有スルトキハ宿營ニ移ル

際適當ノ警戒法ヲ講ズルコト必要ナリ

第三百五十 各舍(露)營區ニ一又ハ數箇ノ舍(露)營衛兵ヲ設ク其ノ數及兵力

ハ危險ノ度、地形、舍(露)營區ノ大小等ニ應ジ之ヲ定ムルモノニシテ諸兵種

混合ノ舍(露)營區ニ於テハ通常歩兵部隊ヨリ之ヲ出シ喇叭手一名及所要ニ應

對空射擊
對戰車
對毒部隊
ノ警戒

部隊衛兵
三四

ジ機關銃等ヲ屬スルモノトス
 舍(露)營衛兵ハ舍(露)營日直將校ノ指揮ヲ受ケ舍(露)營區内外ノ警戒ニ任ズ
 ルモノニシテ通常擔任區域ノ外圍及區域内ノ要點ニ單哨、複哨若クハ分哨等
 ヲ配置シ主力ハ交通容易ナル位置ニ集結シ隣接衛兵トノ連絡ヲ保チ以テ舍
 (露)營區ヲ直接警戒シ住民ノ行動ヲ監視シ舍(露)營區内ノ安寧秩序ヲ維持ス
 ルモノトス而シテ其ノ勤務ハ小哨ノ要領ニ準ズ
 時宜ニ依リ舍(露)營司令官ハ各部隊ニ警戒區域ヲ分チ各々舍(露)營衛兵ヲ配
 置セシムルコトアリ又舍(露)營衛兵ニ對空監視ノ任務ヲ兼ネシムルコトアリ
 然ルトキハ此ノ衛兵ハ所要ノ哨兵ニ對空監視ヲ兼ネシメ或ハ特ニ對空監視哨
 ヲ配置スルモノトス
 第三百五十一 第三百四十五第一項ノ各部隊ハ通常一箇ノ部隊衛兵ヲ設ク
 部隊衛兵ハ部隊日直將校(下士官)ノ指揮ヲ受ケ所要ニ應ジ軍旗、司令部、本
 部、銃廠、砲廠、車廠、馬繫場、又銃線、行李等ニ哨兵ヲ配置シ之ガ直接警
 戒ニ任ズルモノトス而シテ其ノ勤務ハ小哨ノ要領ニ準ズ
 時宜ニ依リ各部隊長ハ對空班ヲ設クルコトナク其ノ任務ヲ部隊衛兵ニ兼ネシ
 メ又時トシテ部隊衛兵ヲ設クルコトナク舍(露)營衛兵ヲシテ所要ノ哨兵ヲ配
 置セシムルコトアリ
 第三百五十二 對空射擊部隊、指定セラレタル對戰車部隊、消毒部隊等ハ警
 報ニ應ジ直チニ射擊又ハ作業等ヲ開始シ得ルノ態勢ヲ以テ休憩シ夜間ハ通常
 交互ニ假眠シ哨兵ヲ設ケテ警戒スルモノトス

非常警報
飛行機警報
一七

第三百五十三 非常警報ハ高級指揮官、各舍(露)營區ニ於ケル高級先任ノ將
 校或ハ舍(露)營司令官之ヲ發ス若シ事件突發シ猶豫スベカラザル狀況ニ於テ
 ハ將校、衛兵司令官自ラ其ノ責任ニ任ジ之ヲ發スルモノトス
 飛行機警報及瓦斯警報ヲ發スルノ責任ハ舍(露)營司令官、舍(露)營日直將校
 及部隊日直將校之ヲ有スルノ外第四百十七ニ據ルモノトシ若シ猶豫スベカラ
 ズト認メタルトキハ部隊日直下士官及衛兵司令官モ亦自ラ其ノ責任ニ任ジ之ヲ發
 スルモノトス
 一部隊ヲ速カニ使用センガ爲號音或ハ信號ヲ用フルコトナク緊急集合ヲ爲サ
 シメントスルトキハ豫メ之ガ準備ヲ命令シ置クヲ要ス
 住民地、家屋等ノ構造上號音ノ聽取困難ナル場合ノ警報傳達ハ各種ノ手段ヲ
 併用シ各家屋毎ニ不寢番ヲ設ケシムルヲ要ス冬季ニ於テ特ニ然リトス
 第三百五十四 非常警報アルトキハ舍營ニ在リテハ各自速カニ武裝ヲ整ヘ先
 ズ小隊又ハ分隊等毎ニ集合シ然ル後歩兵ハ中隊ノ集合地ニ集合シ更ニ緊急集
 合場ニ赴クカ或ハ豫メ命ゼラレタル地點ヲ守備シ騎兵ハ之ニ準ジテ其ノ緊急
 集合場ニ集合シ砲兵ハ其ノ勤務ノ區分ニ從ヒ先ヅ速カニ砲廠若クハ馬繫場ニ
 到リ武裝ヲ整ヘタル後更ニ砲廠ニ集合シ機關銃、步兵砲等ハ砲兵ニ準ジテ集
 合シタル後歩兵中隊ニ準ジテ行動シ工兵及航空兵ハ緊急集合場ニ、自動車編
 制部隊ハ車廠ニ、行李、輜重ハ勤務ノ區分ニ從ヒ車廠若クハ馬繫場ニ集合シ
 衛兵其ノ他警戒部隊等ハ豫メ受ケタル命令ニ從ヒテ行動シ爾餘ノ部隊ハ以上
 ノ規定ニ準ジテ行動スルモノトス

非常警報
動作
ニ對スル

飛行機警報動作
瓦斯警報動作
舍營區配
項當注意事

露營ニ在リテハ各部隊ハ直チニ又銃線、馬繫場、銃廠、砲廠、車廠等ニ集合シ後命ヲ待ツモノトス
敵兵不意ニ我が宿營地ヲ襲撃シ所屬部隊ニ合スル能ハザル者ハ現在人員協力シテ敵ニ當ルモノトス
第三百五十五 飛行機警報アルトキハ對空射撃ニ任ズル部隊ハ敵機我が有效射界ニ入ルヤ直チニ射撃ヲ開始シ爾餘ノ部隊ハ豫メ規定セラレタル所ニ從ヒ遮蔽、瓦斯防護、防火、消燈等ニ遺憾ナキヲ期スルモノトス此ノ際對空射撃ノ爲友軍ニ危害ヲ及スガ如キコトナキヲ要ス
第三百五十六 瓦斯警報アルトキハ速カニ各個防護ヲ爲シ各部隊ハ適宜防毒ノ處置ヲ講ズルモノトス此ノ際一名ト雖モ睡眠者ナカラシムベシ
警報ニ方リ室内ニ在ル者ハ窓扉ヲ確實ニ閉塞スルコト緊要ナリ
撤毒地域ニ對シテハ所在ノ宿營部隊ハ速カニ之ヲ標示シ通常部隊衛兵ヲシテ哨兵ヲ配置セシメ要スレバ消毒作業ヲ行ヒ或ハ一部宿營地ノ移動ヲ行フモノトス

第四章 舍營

第三百五十七 各部隊ニ舍營地區ヲ配當スルニ方リ注意スベキ事項概ネ左ノ如シ
各部隊舍營地區ノ宿營力ハ成ルバ均等ニシテ且明瞭ナル境界ニ依リ區分スルコト
各部隊ハ適當ナル警急集合場、砲(銃)(車)廠、馬繫場等ノ位置ヲ得ルニ便

設營隊
動作三毛
舍營地配
意當上ノ注

ナルコト
必要ニ應ジ井泉、貯水、水流等ノ分配ヲ適當ナラシムルコト
其ノ他交通ノ便否、傳染病ノ有無等ニ關シ考慮スルコト
第三百五十八 豫メ舍營區ヲ決定シ得ルトキハ高級指揮官ハ爲シ得ル限り舍營司令官又ハ其ノ指定スル將校、各部隊ノ設營隊要スレバ瓦斯勤務員、主計、軍醫、獸醫等ヲ先行セシメ諸偵察ヲ行ヒ地方官(公)吏ト協議シ宿營ノ準備ヲ爲サシメ又舍營司令官ハ勉メテ行軍中ニ於テ各部隊ニ舍營地區ヲ配當シ各部隊毎ニ所要ノ準備ヲ爲サシメ以テ全隊ヲシテ迅速且容易ニ就宿セシムルヲ要ス
第三百五十九 設營隊ハ配當セラレタル舍營地區内ニ於テ第三百五十七ニ準ジ各小部隊ノ爲家屋、馬繫場等ヲ配當シ就宿ノ準備ヲ爲ス若シ必要ノ諸件ヲ揭示シ各宿舎前ニ所要ノ標記ヲ爲スヲ得バ就宿ニ便ナリ然レドモ揭示又ハ標記ハ間諜等ニ解シ得ラレザル如ク注意シ必要ナキニ至レバ直チニ撤去スルヲ要ス
第三百六十 各部隊ハ配當セラレタル地區内ニ配宿ス但シ其ノ行李ハ舍營司令官ノ命令ニ依リ常該部隊ノ舍營地區外ニ休宿スルコトアリ
砲廠、銃廠、車廠及馬繫場ハ通常當該部隊ノ舍營地區内ニ於テ敵襲及火災ニ對シ安全且遮蔽セル位置ニ之ヲ選定シ對空、對瓦斯ノ顧慮上要スレバ適宜分置シ且偽裝ヲ施スモノトス
給水不便ノ地ニ在リテハ水ノ使用區分ヲ明カニシ要スレバ之ヲ標示シ適宜防

不意ノ舎

毒ノ設備ヲ爲シ哨兵ヲ配置スルモノトス
屋外ニ於ケル炊事ハ上空ニ暴露スルヲ以テ勉メテ之ヲ避ケ又常ニ焚火及燈火
ニ注意シ住民逃亡セシ村落ニ宿營シタルトキハ出發ノ際火氣ヲ消滅スルヲ要
ス

警急集合

第三百六十一 豫メ準備ヲ爲スノ暇ナクシテ軍隊ヲ舍營地ニ入ラシムルヲ要
スルトキハ速カニ現地ノ状態ヲ一瞥シ直チニ各部隊ニ舍營スベキ地域ヲ配當
シ各部隊モ亦此ノ要領ニ準ジ時間ヲ徒費スルコトナク人馬ヲ就宿セシムルヲ
可トス
第三百六十二 歩兵ハ大隊、輜重兵ハ小隊、其ノ他ノ兵種ハ中隊又ハ之ニ準
ズル部隊毎ニ其ノ舍營地區内ニ一箇ノ警急集合場ヲ設ケ所屬上級指揮官及舍
營司令官ニ報告スルモノトス
歩兵砲及砲兵ハ砲廠ヲ、騎兵ハ通常馬聚場ヲ、戰車、裝甲車其ノ他自動車編
制部隊及輜重兵ハ車廠在リテハ馬聚場ニ、飛行隊ハ通常格納庫前格納庫ナキトキハ
警急集合場ト爲ス

警急大集
合場

高級指揮官ハ時宜ニ依リ其ノ部隊ノ一部若クハ全部ヲ集合セシムル爲一箇若
クハ數箇ノ警急大集合場ヲ定ムルコトアリ此ノ場合ニ於テハ指定セラレタル
アリ

戰闘ニ依
リ占領シ
タル住民
地

住民敵意
ヲ有スル
トキ

警急舎營

各部隊ハ非常警報ニ際シ命令ヲ待ツコトナク其ノ警急集合場ヨリ直チニ警急
大集合場ニ到ルモノトス之ガ爲各部隊ノ行進路ヲ規定スルヲ要スルコトアリ
第三百六十三 戰闘ニ依リ占領シタル住民地ニ豫メ準備セズシテ大部隊ヲ舍
營セシムルトキハ高級指揮官ハ速カニ所要ノ軍隊ヲ部署シ或ハ之ヲ舍營司令
官ニ屬シ以テ内外ノ警戒及靜肅ヲ維持スルヲ要ス斯クノ如キ場合ニ於テハ速
カニ舍營地内外ノ要點及給水、交通、通信、照明等ノ諸機關ヲ占領管理シ住
民ノ緩撫鎮壓、敗殘兵及瓦斯等ノ搜索、武器ノ押收、消火及消毒ノ準備、貯
藏品ノ監視等ヲ行フヲ要ス此ノ際敵ノ詭計ニ陥ラザルノ注意ヲ必要トス
第三百六十四 住民敵意ヲ有スルトキハ其ノ敵對行爲、間諜行爲等ニ對スル
警戒ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス之ガ爲嚴重ナル罰則ヲ定メ人質ヲ拘留シ交
通、通信ヲ制限シ若クハ禁止シ家屋ヲ開放セシメ要スレバ街路ヲ照明スル等不
逞行爲豫防ノ手段ヲ講ズルモノトス
警戒ヲ嚴ナラシムルヲ要スルトキハ所要ニ應ジ舍營地防禦ノ設備ヲ爲シ有力
ナル對空射擊部隊、消毒部隊、對戰車部隊其ノ他必要ノ部隊ヲシテ嚴肅ナル
戰備ヲ保持セシムルヲ要ス然ルトキハ此ノ部隊ハ警急舎營ヲ爲スヲ通常トス
第三百六十五 警急舎營ヲ爲ス部隊ハ勉メテ建制部隊毎ニ一家屋ニ舍營シ武
器、裝具ヲ身邊ニ置キ直チニ出動シ得ル準備ヲ整ヘテ假眠シ窓戸ヲ開キ各家
屋ニハ少クモ一名ノ警戒兵ヲ置キ又馬聚場、車廠等ハ閉塞セル庭園等ヲ避ケ
要スレバ通路ヲ開キ馬ハ通常勒及鞍ヲ裝シ又ハ輓具ヲ附シテ厩外適當ノ場所
ニ繋ギ又ハ繫駕セシメ必要ナル車輛等ハ機ヲ失セズ出動シ得ルノ姿勢ニ在ラ

戰術上及
休養上ノ
必要條件
極寒地熱

戰術上ノ
考慮アルノ
露營

住民地乏
衛生

司令部本
露營司令

シムルモノトス

第五章 露營

第三百六十六 戰術上露營地ニ必要ナル條件ハ敵ニ遮蔽シ瓦斯滞留ノ虞ナク迅速且容易ニ集合若クハ出發シ或ハ豫定陣地ヲ占領シ得ルニ在リ

休養上露營地ニ必要ナル條件ハ良水ヲ得ルコト容易ニシテ土地乾燥シ風雨ノ障礙ニ便ニシテ爲シ得レバ其ノ近傍ニ於テ各種需用品ヲ調達シ得ルニ在リ

極寒時ニ於テ村落ノ近傍ハ水ヲ得易ク高地南側ハ暖カナリ又谷底ハ吹雪ニ際シ堆積甚ダシキコトアルニ注意スルヲ要ス

熱地ニ於テハ疫病、害虫、毒蛇等ノ被害ニ關シ顧慮スルコト必要ナリ

第三百六十七 戰術上ノ考慮ヨリ露營スル場合ニ於ケル配宿ハ爾後ニ於ケル軍隊ノ使用ニ便ナルコトヲ主トシ適宜ノ部隊毎ニ露營セシムルヲ通常トス

狀況上大部隊ヲ一露營地ニ集メザルベカラザルトキハ土地ノ許ス限リ各部隊間ニ十分ノ間隔ヲ存シ以テ靜肅及暗夜ノ識別ヲ容易ナラシムルト共ニ敵飛行機、瓦斯等ニ因ル損害ヲ局限スルヲ要ス

住民地乏シキカ或ハ衛生上ノ顧慮ニ依リ止ムヲ得ズ露營スルトキハ人馬ノ休養及保健ニ便ナル地ヲ選定シ統御ニ便ナル如ク建制部隊毎ニ分置スルヲ可トス

露營ニ於テモ狀況之ヲ許セバ司令部、本部等ハ執務ノ便ヲ得ンガ爲家屋内ニ在ラシムルヲ可トス

第三百六十八 露營司令官ハ通常軍隊ニ先行シテ露營地ヲ選定ス此ノ際各部

官配宿動

露營地區
内諸規定

上空ニ秘

露營地ノ
衛生

警急集合
場

露營司令官ハ速カニ人馬ヲ休憩セシメ又之ニ風雨ノ障蔽ヲ與フル爲各部隊ヲシテ所要ノ方法ヲ講ゼシムルモノトス

第三百六十九 露營地區内ニ於ケル露營ノ隊形、設備、炊事、給水等ニ關スル事項ハ當時ノ狀況ニ應ジ各部隊長之ヲ規定スルモノトス但シ露營司令官ハ特ニ必要ノ事項ヲ規定スルコトアリ

第三百七十 露營地ヲ上空ニ對シテ秘匿センガ爲ニハ地形ヲ適當ニ利用シ偽裝、遮蔽ノ手段ヲ施シ露營ノ配置就中砲廠、車廠、馬繫場等ヲ不規ニ分散シ要スレバ露營地ニ通ズル道路ノ迷彩、轍痕ノ抹殺、各種偽工事ノ利用等ヲ行フモノトス

第三百七十一 露營地ニ於ケル衛生上ノ施設ニ就テハ特ニ注意スルヲ要ス炊事場、厠、馬繫場等ノ清潔保持ノ如キ特ニ然リトス

一地ニ長ク露營スルトキハ人馬ノ衛生上時々其ノ位置ヲ變更スルヲ可トス

極寒、酷熱ノ季節ニ際シテハ特ニ人馬保健上ノ施設ヲ良好ナラシムルコト緊要ニシテ天幕内ニ於テ炭火ヲ用フルトキハ特ニ換氣ニ注意スルヲ要ス

第三百七十二 警急集合場ハ通常別ニ之ヲ設クルコトナシテ警急大集合場ハ狀況之ヲ要スレバ高級指揮官之ヲ定メ且集合ノ爲所要ノ規定ヲ爲スモノトス

舍(露)營ノ準用ノ顧慮ノ家屋不足ノ爲
聯絡ノ主要手段
副通信

トス
第六章 村落露營
第三百七十三 村落露營ノ爲村落内ニ舍營スル部隊ハ舍營ニ準ジ村落外ニ露營スル部隊ハ露營ニ準ジ宿營スルモノトス
第三百七十四 敵ニ近接シ戰術上ノ考慮ヨリ村落露營ヲ爲ス場合ニ於テハ通常高級指揮官又ハ露營司令官ハ露營スベキ部隊數時トシテ部隊號ヲ指定スルモノトス
家屋不足ノ爲村落露營ヲ爲ス場合ニ於テハ各部隊ヲ相隣接セル數村落ニ分配ス而シテ各部隊ハ其ノ配當セラレタル地區内ニ於テ適宜家屋ヲ利用シ止ムヲ得ザル部隊ハ庭内及其ノ附近ノ空地若クハ村落外ニ露營スルモノトス然レドモ之カ爲交通ヲ妨害セザルコトニ注意スルヲ要ス
第七篇 通信
第三百七十五 通信ハ聯絡ノ主要ナル手段ニシテ其ノ良否ハ指揮、協同動作等ニ重大ナル關係ヲ有ス故ニ各級指揮官ハ通信機關ノ性能ニ通曉シ其ノ機能ヲ確實ニ保持セシムルト共ニ之ヲ適切ニ運用シ以テ其ノ特性ヲ遺憾ナク發揮セシムルヲ要ス
第三百七十六 通信施設ハ天然人爲ノ障礙ニ對シテ之ヲ掩護シ又主通信施設ノ外常ニ副通信施設要スレバ他ノ連絡機關ヲ準備シ以テ一局部ニ於ケル故障ノ爲全般ノ通信ニ支障ナカラシムルコト緊要ナリ

通信諸部隊ノ任務
師團通信
電信部隊
航空通信
無線通信

第一章 通信機關
第三百七十七 各部隊(砲兵ヲ除ク)ノ通信隊(通信班)(連絡班)ハ當該部隊長ト直屬下級指揮官其ノ他重要機關間ノ通信ニ任ジ時トシテ該部隊長ト所屬上級指揮官間ノ通信ニ任ズルモノトス
砲兵各部隊ノ指揮班(指揮小隊)ハ通常當該部隊長ノ職域ニ應ジ之ト所屬上級指揮官、補助觀測所、放列陣地、關係歩兵部隊長要スレバ飛行機其ノ他重要機關間ノ通信ニ任ズルモノトス但シ砲兵團司令部ト其ノ直轄部隊間ノ通信施設ハ通常該砲兵團指揮班之ヲ擔任スルモノトス
騎兵ニ在リテ當該部隊長ト高級指揮官ト有線通信ヲ行フ場合ニ於テハ最寄通信所ヲ基點トシ通信網ヲ構成スルコトアリ
第三百七十八 師團通信隊ハ主トシテ師團司令部ト直屬部隊、飛行機其ノ他所要ノ部隊トノ通信ニ任ズルモノトス
第三百七十九 電信部隊ハ主トシテ所屬軍司令部ト其ノ直屬部隊、隣接軍ハ飛行機トノ間並ニ軍内各兵團司令部ト關係飛行部隊トノ間ニ通信網ヲ構成スルノ外軍ノ作戰地域内ニ骨幹通信網ヲ構成シテ之ヲ後方通信網ニ連接シ其ノ通信ニ任ズルモノトス
第三百八十 航空通信部隊ハ主トシテ航空部隊各司令部間及各司令部ト其ノ所屬部隊間等ニ通信網ヲ構成シ其ノ通信ニ任ズルモノトス
第三百八十一 無線通信ニ在リテハ以上ノ外關係部隊相互ニ各々其ノ所有ノ無線機ヲ以テ直接交信セシムルヲ可トスルコトアリ歩戰砲各部隊間、航空部

發信權特許 三九

前號ニ揭グル者、師團長、飛行集團長、陸軍次官、參謀次長、大本營參謀タル少將(大佐)、兵站總監ニ隸屬スル長官、陸軍省局長、參謀本部部長、運輸通信長官部隸屬機關ノ高級先任者、參謀長^{之ニ準ズル}、獨立シテ行動スル部隊ノ長、分遣セラレタル幕僚、兵站司令官^{其ノ支隊ノ長ヲ含ム}、鐵道及船舶輸送諸部ノ司令官^{其ノ支隊ノ長ヲ含ム}、海岸監視哨、要塞監視哨、防空監視哨及將校斥候長

三、通常官報

前二號ニ揭グル者、高等司令部ノ各部長^{之ニ準ズル}、軍參謀部各課高級參謀、高級副官、獨立部隊(諸機關)ノ長及分遣隊長

危急ノ場合ニ於テハ軍用通信網内ニ限リ將校ハ自ラ其ノ責ニ任ジ通信所長ニ必要ノ證明ヲ與ヘ各種ノ電報ヲ發スルコトヲ得

第四百 陸軍大臣、參謀總長及軍司令官ハ其ノ指揮下ニ在ル諸官中第三百九十九第一項第二、第三號ニ揭グル者ニ臨時權限外ノ發信權ヲ附與スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ電報ノ種類及特許ノ有效期間ヲ記載セル證明書ヲ交付スルモノトス而シテ發信權ヲ特許セラレタル者ハ賴信ニ方リ證明書ヲ通信所ニ示スヲ要ス

第三百九十九第一項第一號ニ揭グル者、兵站司令官^{其ノ支隊ノ長ヲ含ム}、鐵道及船舶輸送諸部ノ司令官^{其ノ支隊ノ長ヲ含ム}ハ所要ニ應ジ發信權ヲ有セザル者ニ通常官報發信ノ特許ヲ與フルコトヲ得此ノ場合特許ヲ與ヘタル者ハ當該軍用電報紙ノ餘白ニ其ノ職、氏名ヲ記載シ捺印又ハ花押スルモノトス

返信人ノ發信權

電信部隊外ノ通信網ノ發信權

電話通話權

軍司令官等ノ權限

軍機電報至急官報

長文電報

暗號ト混用禁制

電文文字

第四百一 返信人ハ返信ニ限リ往信ト同一順位若クハ其ノ以下ノ電報ヲ發信スルコトヲ得若シ返信人發信權ヲ有セザルカ又ハ自己ノ發信權ヨリ上位ノ返信ヲ發スルトキハ之ニ對スル往信ヲ通信所ニ示スヲ要ス

第四百二 電信部隊以外ノ構成スル通信網内ニ於ケル發信權及通話權ニ關シテハ上級指揮官ノ定ムル連絡規定ニ基キ各級指揮官適宜之ヲ定ムルモノトス

第四百三 高級指揮官ハ電話ノ輻湊ヲ防ギ重要通信ノ速通ヲ圖ル爲メ緊急^{他ノ通シム至急ヲ通ス}普通等ノ區分ヲ設ケ此等ノ通話權ヲ有スル者ヲ指定スルモノトス

第四百四 軍司令官、獨立シテ作戰スル師團長、兵站監及之ト同等以上ノ職權ヲ有スル者ハ作戰上必要ト認ムルトキハ所管內軍用通信網及在來ノ通信網ニ依ル通信ヲ一時制限又ハ禁止スルコトヲ得

第四百五 軍機電報及至急官報ハ眞ニ其ノ必要ヲ認ムル場合ニ限リ發信スルモノトス然ラザレバ同一順位ノ電報輻湊シ途ニ緊要ナル通信ヲ妨害スルニ至ルノ虞多シ

第四百六 長文ノ電報ハ有線電信ニ在リテハ約四百字、無線電信ニ在リテハ約二百字毎ニ一通ト爲シ且發信順序ヲ明カニスルヲ要ス

第四百七 同一電文中ニハ暗號ト普通辭トノ混用ヲ禁ズ而シテ本文及發信者名ノ暗號ノ組立(翻譯)ハ發(受)信者ニ於テ行フベキモノトス又無線電信ニ在リテハ宛名、發(受)信地名等ハ通信所自ラ書換フルモノトス

第四百八 電文記載ノ爲ノ文字、數字、記號等ハ左ノモノヲ使用スルモノト

意事項

暗號ノ使

窃信注意

ユル手段ヲ盡クシテ之ガ秘匿ニ勉ムルヲ要ス之ガ爲通信ノ開始及停止、通信量ノ激變、通信施設ノ改變等ヲ敵ニ偵知セラレザル如ク處置スルト共ニ通信關係書類就中暗號書、連絡規定、電報原書等ノ保管ヲ確實ニシ又方向探知ヲ困難ナラシメ且通信所ノ遮蔽、警戒等ヲ適切ナラシムルコト緊要ナリ又各級指揮官ハ適時部下部隊ノ通信實施ヲ監督スルコト必要ナリ

暗號書及連絡規定ヲ紛失セルノ兆アル場合ニ於テハ速カニ之ヲ高級指揮官ニ通告スルモノトス

第四百十三 無線電信ニ在リテハ其ノ通信ノ内容ヲ秘匿スル爲暗號ヲ使用スルモノトス

有線電信ト雖モ暗號ヲ使用スルニアラザレバ秘密保持ノ完全ヲ期シ得ザルモノトス

有線其ノ他ノ通信網ヨリ無線通信網ニ中繼スベキモノハ暗號ヲ使用スルモノトシ若シ普通電報中内容秘密ト認ムルモ中繼通信所ニ於テ處理シ難キトキハ之ヲ其ノ地ノ司令部、本部等ニ提出シ暗號化シタル後發信スルモノトス

電話、視號通信、音響通信、鳩通信等ニ在リテモ亦勉メテ略號又ハ隱語ヲ普通シテモ意味ニ用ヒ要スレバ暗號ヲ使用ス

第四百十四 有線通信特ニ電話、震動器ニ依ル信號及震動通信ハ漏洩、誘導等ノ爲敵ニ窃取セララルノ虞アリ故ニ戰線ニ於ケル通信線ハ爲シ得レバ之ヲ往復線ト爲シ以テ窃取ヲ防止スルヲ可トス又在來線若クハ敵ノ遺棄セル電線ノ利用ニ方リテハ敵及其ノ間諜ノ窃信ニ對シテ警戒シ且敵方ニ通ズル電線ヲ

無線電信

視號通信

領所秘匿要

掩護義務

各部隊長

敵ノ作戦

我ガ作戦

地域内ノ

通信網ノ

壊破

互ニ通信スルノ

考慮アル場合ニ

限リ獨立セル

部隊ノ指揮官

之ヲ命令スルコト

切斷スルコト必要ナリ

第四百十五 無線電信ハ暗號ノ使用ニ依リ某期間通信ノ内容ヲ秘匿シ得ルモ通信ノ實施ハ之ヲ秘匿シ得ズ故ニ之ガ使用ヲ極力制限シ又通信諸元及通信法

ノ變更並ニ電報送受ノ敏速等ニ依リ通信系及通信所位置ヲ秘匿スルヲ要ス

無線電話ニ在リテハ極力其ノ使用ヲ制限シ勉メテ隱語ノ利用及偽通信ニ依リ通信ノ秘匿ヲ圖ルモノトス

第四百十六 視號通信ハ通信器材及通信所ノ適切ナル選定、暗號ノ使用等ニ依リ通信ノ秘匿ニ勉ムルヲ要ス

第四百十七 第五節 通信施設ノ掩護及破壞

敵及敵意ヲ有スル住民ニ對シ通信施設ヲ掩護スルハ其ノ附近ニ在ル軍隊ノ義務トス

第四百十八 各部隊長ハ部下ヲシテ通信施設ノ掩護ニ關シ周密ナル注意ヲ拂

ハシムルト共ニ所要ニ應ジ斥候或ハ部隊ヲ派遣シ又部隊、住民若クハ部落ニ

擔任區域ヲ與ヘテ掩護ノ責ニ任セシムルモノトス

第四百十九 敵ノ作戦地域内ニ在ル通信施設ハ勉メテ之ヲ破壞又ハ撤去スル

モノトス然レドモ其ノ實施ニ方リテハ情報勤務ノ爲之ガ利用上ノ價値ヲ考察

スルコト必要ナリ

第四百二十 我ガ軍ノ作戦地域内ニ在ル通信施設ノ破壞及撤去ハ退却ニ在リ

テハ後衛司令官ノ任トシ駐軍若クハ前進ニ在リテハ敵及敵意ヲ有スル住民相

互ニ通信スルノ願慮アル場合ニ限リ獨立セル部隊ノ指揮官之ヲ命令スルコト

ノ破壊撤去
報告

ヲ得然レドモ重要ナル通信施設ノ根本的破壊並ニ地下線及水底線ノ破壊又ハ撤去ハ獨立シテ作戰スル師團長以上ノ命令ニ依ルモノトス
第四百二十一 我が軍ノ通信施設ヲ破壊又ハ撤去セル場合並ニ之ヲ破壊又ハ撤去セラレアルヲ發見セル場合ニ於テハ其ノ地點、日時、方法、程度等ヲ所屬上級指揮官及最寄通信所ニ急報スルヲ要ス

作戰要務令 綱領、總則 終
及第一部

作戰要務令 (第二部)

三
作戰
I

1 次目 部二第 令務要戰作

作戰要務令 第二部 目次

第一篇	戰鬪指揮	一
第一章	戰鬪指揮ノ要則	一
第二章	諸兵種ノ運用及協同	七
第三章	戰鬪ノ爲ノ搜索竝ニ戰鬪ノ警戒及連絡	一六
第二篇	攻	三〇
第一章	戰鬪ノ爲ノ前進	三〇
第二章	遭遇戰	三三
第三章	陣地攻撃	三五
第三章	陣地攻撃	四〇
第一節	攻撃準備	四〇
第二節	攻撃實施	四三
第四章	夜間攻撃	五九
第三篇	防	六四
第一章	防禦陣地及陣地占領	六四
第二章	防禦戰鬪	七九

第四篇	追撃及退却	八六
第一章	追撃	八六
第二章	退却	八六
第五篇	持久戰	九一
第六篇	諸兵連合ノ機械化部隊及大ナル騎兵部隊ノ戰鬪	九五
通則	戰鬪ノ爲ノ前進	九七
第一章	戰鬪ノ爲ノ前進	一〇一
第二章	防禦	一〇一
第三章	防禦	一〇四
第四章	追撃及退却	一〇五
第七章	陣地戰及對陣	一〇六
第一章	陣地戰	一〇六
要則	陣地戰	一〇六
第一節	攻撃	一〇六
要旨	攻撃	一〇七
第二款	攻撃準備	一〇七
第三款	攻撃實施	一〇八
第二節	防禦	一一二
要旨	防禦	一一六

軍隊部署ノ要訣

トス所望ノ時期、所望ノ地點ニ兵力ヲ集中スルニハ軍隊ノ大ナル機動力ヲ必要トス而シテ指揮ノ敏活、行軍能力ノ發揮、夜間ノ利用、各種交通機關ノ活用等ハ之ガ爲緊要ナル條件ナリ

第四 軍隊ヲ部署スルニ方リテハ戰闘指導ノ方針ニ基キ我が軍ノ兵力、敵情地形、側方依托ノ關係、明暗ノ度等ヲ考慮シ戰闘正面、縱長區分、諸兵種協同ノ方法等ヲ決定スルモノトス

戰闘ヲ實行スルニ方リテハ所要ニ充テザル兵力ヲ逐次ニ使用スルハ大ナル過失ニ屬ス斯クノ如クスルトキハ絶エズ優勢ナル敵ト戰ハザレテ得ズシテ自ラ主動ノ利益ヲ放棄シ徒ラニ損害ヲ招キ終ニ軍隊ノ志氣ヲ挫折スルニ至ルベシ

第五 豫備隊ハ通常獲得セル戰果ヲ擴張シ所望ノ地點ニ決戰ヲ求メ所要ニ應ジ不時ノ事變ニ應ズル如ク之ヲ使用ス何レノ場合ニ於テモ爲シ得ル限リ主動的ニ使用シ以テ其ノ效果ヲ最大ナラシムベシ而シテ之ガ使用ニ方リ損害特ニ多大ナル戰線ニ注入セバ再ビ同一ノ結果ニ陥ルコトアルニ注意スルヲ要ス

豫備隊ヲ使用シ盡クシタルトキ或ハ然ラザルモ狀況ニ鑑ミ之ヲ要スレバ適時要度少キ方面ヨリ所要ノ兵力ヲ抽出シテ新ニ豫備隊ヲ編成シ或ハ其ノ兵力ヲ増大スルニ勉ムベシ

第六 豫備隊ノ位置ハ狀況特ニ用途ニ關スルモノニシテ多クノ場合決戰ヲ企

位置隊形
戰闘命令
部隊間ノ接續部
戰闘間指揮官ノ位置
置
三〇、五八七
六〇
步兵指揮

圖スル方面ニ之ヲ配置ス

豫備隊ハ常ニ遮蔽ニ注意シ移動ニ際シテモ敵眼、敵火ニ暴露セザルコト緊要ナリ

豫備隊ノ隊形ハ勉メテ掌握ニ便ニシテ地形ニ適合シ運動容易ナルモノヲ選ブベシト雖モ敵火ノ損害ヲ少クスルコトモ亦考慮セザルベカラズ

第七 指揮官軍隊ノ部署ヲ決セバ機ヲ失セズ所要ノ命令ヲ下シ各部隊ノ任務ヲ明確ナラシムルモノトス此ノ際各部隊相互ノ協同就中步戰砲ノ協同ヲ緊密ナラシムルヲ要ス

戰闘間指揮官ハ戰況ノ推移ニ應ジ適時所要ノ命令ヲ下シ部下指揮官ヲシテ常ニ其ノ嚮フ所ヲ明カナラシムルコト緊要ナリ

第八 部隊間特ニ隣接兵團トノ接續部ハ弱點ヲ成形スルコト多キヲ以テ指揮官ハ戰闘地域ノ劃定、相互協同ノ方法及歩、砲兵力ノ配置等ヲ適切ナラシメ此ノ弱點ヲ除去スルニ勉ムルヲ要ス狀況ニ依リ一部隊ヲ其ノ接續部附近ニ配置スルヲ可トスルコトアリ

第九 戰闘間指揮官ノ位置ハ部下軍隊ヲ指揮スルニ便ニシテ成ルベク廣ク彼我ノ狀況ヲ觀察シ得上下、左右ノ連絡容易ナルコトヲ主トシ狀況ノ許ス限リ第一線ニ近ク之ヲ定メ尙敵ノ搜索及攻撃ニ對スル掩蔽ニ關シ考慮スルヲ要ス

而シテ其ノ位置ハ妄リニ之ヲ移動スルコトナク戰闘ノ進捗ニ伴ヒ移動スルニ方リテハ連絡施設ノ關係ヲ考慮スルコト緊要ナリ

步兵指揮官ハ第一線ニ近ク位置シ變轉極リナキ戰況ニ即應シ戰闘指揮ヲ適切

官 戰車指揮	官 砲兵指揮	官 工兵指揮	官 師團司令	師 師團長	師 師團長	師 師團長	各 各部隊長
-----------	-----------	-----------	-----------	----------	----------	----------	-----------

ナラシムルト共ニ軍隊ノ志氣ヲ鼓舞スルコト緊要ナリ
 戰車指揮官直接戰闘ヲ指揮セザル場合ニ於テハ師團長若クハ配屬セラレタル
 歩兵ノ指揮官ト同位置ニ在ルヲ通常トス
 師團砲兵指揮官ハ其ノ位置ヲ成ルベク師團長ノ附近ニ選定スルニ勉ムルヲ要
 ス
 師團工兵指揮官直接作業ヲ指揮セザル場合ニ於テハ前項ニ準ズ
 歩兵ニ直接協同スル砲兵ノ指揮官ハ其ノ戰闘指揮ニ支障ナキ限リ歩兵ノ指揮
 官ト成ルベク同一地點ニ位置スルヲ可トス
 師團司令部ハ之ヲ適當ニ區分シ直接戰闘行動ニ關與セザルモノハ之ヲ適宜ノ
 位置ニ在ラシムルヲ通常トス而シテ師團長ハ所要ニ應ジ彼我ノ狀況ヲ觀察シ
 戰闘ヲ指揮スルニ便ナル地ニ戰闘司令所ヲ設ケ必要ノ幕僚等ト共ニ此處ニ位
 置スルモノトス
 第十 戰闘間師團長ハ戰闘指導ノ方針ニ基キ常ニ全般ノ狀況ヲ考察シ戰況ノ
 推移ニ應ジ適時砲火ヲ所望ノ方面ニ指向シ或ハ戰車其ノ他ノ部隊ニ新ナル任
 務ヲ課シ時トシテ敏速ナル部署ノ變更及兵力ノ移動ヲ斷行シ或ハ豫備隊ヲ適
 切ニ運用スル等各種ノ手段ヲ盡クシテ終始全局ノ戰闘ヲ統一指導スルヲ要
 ス
 戰闘間各部隊ノ指揮官ハ他ノ援助ニ依頼セズ一意任務ノ達成ニ勉メ常ニ戰機
 ヲ看破シ敵ノ不意ニ出テ其ノ弱點ニ乗ズルヲ要ス而シテ局部ニ於テ收メタル
 戰勝ハ益々之ヲ擴張シテ全般ニ及スト共ニ不利ナル戰況ヲ他所ニ波及セシメ

ノ 戰場豫期	戰 況不利	念 必勝ノ信	責 任觀念	指 揮官ノ
-----------	----------	-----------	----------	----------

ザルコトニ就テハ身ヲ以テ責ニ任セザルベカラズ又狀況ノ變化ニ際シテハ空
 シク命令ヲ待ツコトナク機宜ノ處置ヲ決行スルニ躊躇スベカラズ
 第十一 戰況ハ變轉極リナク必ズシモ豫期ノ如ク發展スルモノニアラズ此ノ
 間ニ處シクク所期ノ目的ヲ貫徹スルハ指揮官ノ旺盛ナル責任觀念及不屈ノ意
 志ニ依ルコトヲ銘心セザルベカラズ
 戰闘ノ酣ナルヤ彼我軍隊ノ奮戦力闘ハ極度ニ達シ勝敗將ニ岐レントスルヤ戰
 勢混沌トシテ戰闘慘烈ヲ極ムルニ至ルベシ此ノ時ニ方リ指揮官ハ敵モ亦既ニ
 我ト同一若クハ以上ノ苦境ニ在ルベキヲ想ヒ必勝ノ信念ノ下ニ堅確ナル意志
 ヲ以テ當初ノ企圖ヲ遂行スルヲ要ス
 戰闘間豫期セザル方面ニ於テ奏功スルモノアラバ全般ノ狀況ニ稽ヘ決然之ヲ
 利用スルニ躊躇スベカラズ
 第十二 各級指揮官ハ縦ヒ戰況不利ナル場合ニ於テモ尙諸種ノ手段ヲ盡クシ
 テ戰勢ヲ挽回シ勝利ニ導クコトヲ圖ルベシ此ノ際指揮官ノ言動ハ戰闘ノ勝敗
 ニ重大ナル影響ヲ與フルモノナルニ鑑ミ身ヲ以テ戰勝ノ途ヲ拓クノ概ナカル
 ベカラズ
 各級指揮官ハ戰況ヲ悲觀シ敵情ヲ過大視スルノ弊ヲ深ク戒メ縦ヒ危急ニ瀕ス
 ルモ妄リニ増援隊ヲ請求スルカ如キコトアルベカラズ
 第十三 師團長戰勝ヲ豫期シ得ルニ至レバ敵ヲ戰場ニ捕捉殲滅スル爲各部隊
 ヲシテ機ヲ失セズ準備ヲ整ヘ速カニ之ニ應ズル如ク有利ナル態勢ニ移ラシム
 ルコト特ニ緊要ナリ此ノ際各級指揮官ハ成ルベク前方ニ在リテ機ヲ失セズ所

敵兵ノ隨
意退却
戰勝ト追
擊ニ二
三〇歩
八、三三三
九、三〇一、六
一、六三三
退却ニ三
一三三四歩
三〇三、三〇三、
六三三、六三三
敵ノ瓦斯
使用
歩二、三四
五六

要ノ準備ヲ爲スヲ要ス
敵兵隨意ニ退却スルノ虞アル場合ニ於テハ猛烈ニ攻撃シ極力之ヲ抑留スルト
共ニ速力ニ退却ノ機ヲ察シ直チニ之ニ乗ズルヲ要ス
第十四 戰勝ヲ得ルヤ各級指揮官ハ敵ヲシテ戰場ヲ離脱スル能ハザラシムル
如ク猛烈ナル攻撃ヲ續行スルト共ニ機ヲ失セズ果敢ナル追撃ヲ斷行シ之ヲ捕
捉殲滅スルヲ要ス此ノ際部隊ノ整頓等ノ爲メ機ヲ失スルガ如キコトアルヲ許サ
ズ
師團長ハ適時命令ヲ下シテ自己ノ企圖及各部隊ノ任務ヲ明確ニシ以テ放膽且
統一アル追撃ニ移リ戰勝ノ成果ヲ完ウスルヲ要ス
第十五 戰闘ノ經過遂ニ不利ナルニ方リ退却ヲ實行スルハ上級指揮官ノ命令
ニ依ルヲ本則トス
第十六 敵ノ瓦斯使用ヲ豫想スルトキハ地形、氣象等ヲ考慮シ搜索及警戒ノ
處置ヲ適切ナラシメ諸微候ニ注意スルト共ニ敵ノ偽瓦斯、偽撒毒等ニ欺騙セ
ラルルコトナク速力ニ其ノ眞企圖ヲ看破シ機先ヲ制シテ之ヲ破摧スルヲ要ス
此ノ際我が各部隊ノ配置、陣地ノ設備、防護資材ノ分配等對應ノ準備ヲ適切
ニシ敵ノ瓦斯使用ニ會スルモ其ノ實效ヲ正當ニ判斷シ機宜ノ處置ヲ講ジ以テ
我が企圖スル行動ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス
狀況ニ依リ敵ノ瓦斯使用ヲ逆用シテ意表ニ出テ戰況ノ發展ヲ圖ルヲ可トスル
コトアリ

戰線ノ後
第十七 戰線ノ後方ハ戰列部隊ノ外補給、衛生機關等ノ頻繁ナル移動ニ依リ

方統制
統合戰闘
諸兵種協
同ノ目的
步兵指揮
官
輕裝甲車
ノ使用

人馬、車輛ノ輻輳甚ダシキヲ常態トス故ニ師團長ハ此等ノ交通統制ニ關シ速
カニ必要ナル處置ヲ講ズルヲ要ス
第十八 戰闘ノ爲メ諸兵種ヲ運用スルノ要ハ一途ノ方針ニ從ヒ各、固有ノ能力
ヲ遺憾ナク發揮シテ克ク協同セシメ其ノ統合戰闘力ヲ適時適所ニ指向スルニ
在リ
第十九 諸兵種ノ協同ハ步兵ヲシテ其ノ目的ヲ達セシムルヲ主眼トシテ行ハ
ルベキモノトス而シテ之ガ基礎ハ師團長ノ適切ナル部署ト指導トニ在リト雖
モ諸兵種相互ノ緊密ナル精神的結合竝ニ他兵種ニ對スル十分ナル理解及信頼
ハ協同ヲ完全ナラシムル爲メ必須ノ要件ナリ
第二十 步兵指揮官ハ師團長ノ命令ニ依リ通常緊要ナル方面ニ於ケル步兵及
必要ナル他部隊ヲ指揮シ關係部隊ト協同シテ該方面ノ戰闘遂行ニ任ズルモノ
トス
狀況ニ依リ師團長ハ步兵指揮官ヲシテ第一線歩兵ノ全部ヲ指揮セシムルコト
アリ
第二十一 輕裝甲車ハ戰闘間敵彈下ニ於ケル彈藥ノ補充、戰闘資材ノ運搬及
消(除)毒作業ニ任シ要スレバ緊急ナル搜索、指揮連絡等ニ任ズルコトアリ
師團長輕裝甲車ヲ使用スルニ方リテハ緊要ナル方面ノ第一線部隊ニ配屬スル
ヲ通常トス
輕裝甲車ヲシテ能ク其ノ特色ヲ發揮セシメンガ爲ニハ常ニ車輛ノ整備及燃料

騎兵ノ使

其ノ他ノ補充ニ關シ遺憾ナカラシムルコト緊要ナリ
 第二十二 騎兵ハ戰闘ノ終始ニ互リ師團ノ爲主要ナル搜索ニ任ズルモノトス
 時トシテ敵ノ側背ヲ脅威シ若クハ敵ノ退路ヲ遮斷シ或ハ我が側背ヲ警戒シ若
 クハ掩護スル等ノ諸任務ニ服スルコトアリ又敵ノ司令部或ハ砲兵ヲ奇襲スル
 等戰局ニ重大ナル影響ヲ及スベキ好機ヲ發見セバ斷乎トシテ之ニ乗ズルヲ要
 ス
 騎兵ノ使用ニ方リテハ常ニ其ノ兵力ヲ集結チ圖ルト共ニ濫用ヲ戒メ以テ必要
 ニ際シ最大ノ威力ヲ發揮セシムルノ著意ヲ必要トス
 騎兵ノ任務達成ヲ容易ナラシムル爲歩兵其ノ他ノ部隊ヲシテ支援セシメ時ト
 シテ之ヲ配屬スルコトアリ
 第二十三 砲兵ハ適時所望ノ場所ニ所望ノ火力ヲ指向シ特ニ決戰ヲ企圖スル
 方面ニ最大威力ヲ發揮シ得ル如ク諸般ノ部署ヲ定ムルヲ要ス之ガ爲師團長ハ
 師團砲兵指揮官ヲシテ師團固有ノ砲兵及臨時配屬セラレタル砲兵全部ヲ統一
 指揮セシムルヲ本則トス然レドモ狀況ニ依リ所望ノ兵力ヲ第一線歩兵ニ配屬
 スルコトアリ
 軍直轄砲兵ハ主トシテ遠距離ノ對砲兵戰、堅固ナル陣地設備ノ破壞、交通遮
 斷、擾亂等ニ任ジ且戰機ニ應ジ第一線師團ノ戰闘ニ直接協力スルモノトス
 師團砲兵ト軍直轄砲兵トノ任務ノ分界、相互ノ協同要スレバ配置ノ關係及各
 隣接兵團砲兵トノ協同ハ軍司令官之ヲ律スルヲ通常トス而シテ師團砲兵ト軍
 直轄砲兵トノ任務ノ分界ヲ示スニハ戰闘區域ヲ以テシ或ハ軍直轄砲兵ニ與フ

砲兵ノ使

砲兵使用

ル目標ノ種類ヲ以テシ或ハ此等ノ方法ヲ併用シ時トシテ任務ノ分界ヲ示スコ
 トナク軍直轄砲兵ニ其ノ達成スベキ目的ノミヲ示シ戰闘セシムルモノトス
 狀況ニ依リ軍直轄砲兵ヲ以テ歩兵直接協同ノ火力ヲ増加スルコトアリ此ノ場
 合ニ於テハ師團砲兵指揮官ヲシテ該砲兵ヲ區處セシムルモノトス
 師團長ハ砲兵使用ノ爲隣接兵團トノ協同ニ關シ直接協定ヲ遂グルヲ要スルコ
 トアリ
 第二十四 師團長ハ砲兵ノ使用ニ關シ通常配置ノ概要、所望ノ火力、其ノ目
 的、步戰砲協同ノ基準トナルベキ事項要スレバ彈藥補充等ニ關シ命令スルモ
 ノトス
 砲兵ノ配置ハ成ルベク同一陣地ヨリ戰闘ノ經過ニ伴ヒ適時必要ナル方面就中
 決戰ヲ企圖スル方面ニ最大威力ヲ發揮シ得ルコトヲ主トシ併セテ狀況ノ變化
 ニ對應シ得ル如ク之ヲ決定スルヲ要ス此ノ際各種火炮ノ特性ヲ考慮シ最初ヨ
 リ勉メテ第一線ニ近ク進出セシムルヲ要ス
 所望ノ火力ヲ指示スルニハ火力ヲ發揮スベキ時期、場所及所望ノ效果ヲ明カ
 ナラシムルモノトス狀況ニ應ジ適宜之ヲ概示シ或ハ單ニ射擊スベキ方面及其
 ノ兵力ノミヲ示スコトアリ
 師團長ハ砲兵ヲシテ其ノ威力ヲ發揮セシムル爲爲シ得ル限リ準備ニ必要ナル
 時間ヲ與ヘ又砲兵戰闘ニ必要ナル情報ノ收集及射擊ノ觀測等ノ爲勉メテ氣球
 飛行機等所要ノ機關ヲ配屬シ或ハ協力セシメ且自己ノ得タル情報中砲兵ノ行
 動ニ資スベキ事項ヲ通報スル等適切ナル援助ヲ與フルコト緊要ナリ

砲兵配置

火力指示

準備

掩護

師團砲兵ノ擔任

師團砲兵指揮官

砲兵ト歩

砲兵ハ戰闘一般ノ部署ニ依リ掩護セラレテ通常トスルモ狀況ニ依リ特別ノ掩護隊ヲ附スルコトアリ敵ノ戰車、飛行機等ニ對スル顧慮多キ場合ニ於テ特ニ然リ

第二十五 師團砲兵ハ戰闘ニ方リ步兵直接協同 歩兵ノ直接支援、歩兵ノ行動ニ直接關係アル敵ノ阻止並ニ障礙物及側防機能

ノ破 戰車ノ支援、對砲兵戰及其ノ他ノ遠戰、陣地設備ノ破壞等ニ任ズ 師團砲兵指揮官ハ師團長ノ企圖ニ基キ各部隊ニ對シ機ヲ失セズ狀況ノ推移ニ應ズル任務ヲ與ヘ戰闘セシムルモトス而シテ戰闘ニ關スル諸準備ヲ周到ナラシムル爲所要ノ事項ハ成ルベク速カニ之ヲ指示スルヲ要ス 砲兵ノ協同ヲ適切ナラシムル爲必要ノ部隊ニ對シテハ主トシテ其ノ直接協同スベキ

歩兵部隊及之カ時期ヲ豫メ指定スルヲ要ス此ノ際同一砲兵部隊ヲシテ常ニ一定ノ歩兵部隊ニ協同セシムル如ク著意スルハ戰闘ノ成果ヲ大ナラシムル爲特ニ緊要ナリ

師團砲兵指揮官ハ師團固有ノ砲兵聯隊長ヲシテ所要ノ部隊ヲ指揮シ主トシテ重點方面ニ於ケル步兵ニ直接協同セシムル如ク部署スルヲ通常トス此ノ場合ニ於テモ爾餘ノ砲兵部隊ヲ以テ適時其ノ火力ヲ步兵直接協同ノ爲ニ増加シ得ルノ準備ニ在ラシメ又直接協同ニ任ズル部隊ノ火力ヲ所要ニ應ジ指定セラレタル以外ノ歩兵部隊ノ正面ニ指向シ又ハ其ノ他ノ目的ニ使用シ得ル如ク準備ヲ爲サシムルモノトス

第二十六 砲兵ハ重要ナル目標ニ對シ大ナル威力ヲ集中發揮スルヲ其ノ主ナ

兵砲ノ任

務區分

特色

工兵ノ任

師團通信

ル特色トシ步兵砲ハ近距離ニ不意ニ現出スル敵ノ重火器其ノ他必要ナル目標時トシテ砲兵ノ火制困難ナル地區ノ近キ目標ヲ迅速ニ制壓(破壞)スルヲ其ノ主ナル特色トス此ノ兩者ハ各々其ノ特色ヲ發揮シ相俟テ步兵ノ支援ニ遺憾ナキナキ期セザルベカラズ

第二十七 工兵ハ戰闘ニ方リ直接諸兵種就中步兵ノ戰闘ヲ容易ナラシムベキ各種ノ作業ヲ擔任若クハ援助シ又ハ諸兵種ノ爲交通路及進路ノ開設若クハ補修ニ任ジ或ハ之ヲ遮斷シテ敵ノ行動ヲ阻碍スル等各種ノ技術的作業ニ任ズルモノトス

工兵ハ成ルベク統一指揮ノ下ニ其ノ全能力ヲ發揮セシムル如ク使用スルヲ要ス然レドモ戰況、地形、作業地域ノ關係等ニ依リ之ヲ分割シテ他隊ニ配屬スルコトアリ

狀況特ニ作業ノ種類ニ依リ他兵種ヲシテ工兵ヲ援助セシムルコトアリ此ノ場合ニ於テハ該部隊ヲシテ作業ニ關シ工兵ノ指揮官ノ指揮ヲ受ケシムルヲ通常トス

師團長ハ工兵ヲシテ其ノ威力ヲ發揮セシムル爲成ルベク速カニ企圖ヲ示シ作業準備就中資材ノ整備ニ必要ナル時間ヲ與フルコト緊要ナリ

第二十八 師團通信隊ハ通常戰闘ノ全經過ニ互リ師團長ト部下指揮官其ノ所要ノ機關トヲ連絡シ以テ諸兵種ノ運用及協同ヲ容易ナラシムルモノトス而シテ通信網ハ各種通信機關ノ特性ヲ發揮シ長短相補ヒ戰闘指揮上緊要ナル方面ト時期トニ於テ特ニ完全ヲ期シ得ル如ク之ヲ構成シ以テ連絡ノ確實迅速ヲ期

配屬速射砲隊
戰車ノ用
法歩九三
一七〇三

セザルベカラズ
第二十九 師團長ハ配屬セラレタル速射砲隊ヲ必要ノ部隊ニ適宜配屬シ以テ
對戰車戰闘ノ重點ヲ構成スルヲ通常トス
第三十 師團長ハ配屬セラレタル戰車ヲ重要ナル方面ニ成ルベク多數集結シ
密ニ步兵ニ協同シ最モ緊要ナル時機ニ於テ敵ヲ奇(急)襲シ迅速且徹底的ニ之
ヲ壓倒セシムル如ク使用スルモノトス之ガ爲適時戰車ヲ步兵ニ配屬シ狀況ニ
依リ其ノ一節若クハ全部ヲ直轄使用スルモノトス
戰車ヲシテ適時最大ノ威力ヲ發揮セシメンガ爲進路ノ開設、敵ノ對戰車火砲
制壓、對空掩護、煙幕展張等ノ爲歩、砲、工兵、飛行機等ヲシテ援助セシム
ルヲ要スルコトアリ
戰車ハ常ニ其ノ行動ヲ秘匿シツツ敵ニ近接シ勉メテ同時ニ戰闘ニ加入シ以テ
奇襲的效果ヲ收ムルコト緊要ナリ
師團長ハ前諸項ノ外狀況特ニ之ヲ要スレバ師團ニ屬スル各種裝甲車輛ヲ集結
シ緊急ナル地點ノ戰闘ニ參加セシムルコトアリ
第三十一 師團長ハ配屬セラレタル野戰高射砲隊ヲシテ重要ナル部隊ノ行動
ヲ秘匿若クハ掩護シ或ハ大ナル部隊ノ開進若クハ隘路通過等危險ナル行動ヲ
掩護セシムル狀況ニ依リ飛行機ノ行動ヲ支援セシムルコトアリ
野戰高射砲隊ハ之ヲ他ノ對空部隊ト合シ適宜ノ指揮官ヲシテ統一指揮セシム
ルコトアリ
第三十二 師團長ハ配屬セラレタル高射機關砲隊ヲ野戰高射砲隊ニ準ジテ中

配屬野戰高射砲隊

配屬高射砲隊

機關砲隊

配屬氣球

配屬直協飛行隊

直協飛行

空以下ノ防空ニ使用スルモノトス此ノ際成ルベク兵力ノ分散ヲ避ケ重要ナル
任務ニ專念セシムルコト緊要ナリ
對戰車戰闘ノ爲他ニ十分ノ手段ナキトキハ一時高射機關砲ヲ利用スルコトアリ
高射機關砲隊ハ狀況ニ依リ其ノ一部時トシテ全部ヲ砲兵其ノ他必要ノ部隊ニ
配屬スルコトアリ
第三十三 師團長ハ配屬セラレタル氣球ヲ直轄シテ戰場ノ監視ニ任セシメ或
ハ砲兵ニ配屬スルモノトス
氣球陣地ハ勉メテ敵ノ地上及空中搜索ニ對シ遮蔽シ敵砲火ニ對シ掩護セラレ
且進入進出容易ナルヲ要ス第一線ヨリ離隔スベキ距離ハ任務、戰況、地形及
通視ノ度ニ依リ差異アリ
氣球ヲ使用スルニ方リテハ敵ノ飛行機ニ對シ掩護ノ處置ヲ講ズルヲ要ス之ガ
爲使用ノ時期ヲ適切ナラシムルノ外高射部隊ヲシテ直接掩護セシムルコトアリ
第三十四 師團長ハ配屬セラレタル直協飛行隊ヲ搜索、指揮連絡及砲兵任務
ノ爲使用シ狀況ニ依リ步兵其ノ他ノ部隊ニ協同セシムルモノトス然レドモ嚴
ニ濫用ヲ戒メ其ノ任務ハ緊急ナル事項ニ限定スルコト緊要ナリ
師團長ハ飛行隊ノ活動ヲ容易ナラシムル爲適時彼我ノ狀況、敵機活動ノ狀
態、戰場附近ニ於ケル氣象等ヲ飛行隊ニ通報スルヲ要ス
第三十五 師團ニ配屬セラレタル直協飛行隊搜索ニ任ズルトキハ主トシテ師

隊ノ各種任務

飛行部隊ト地上部隊ト協同

輜重ノ活動

團ノ戰鬥ニ直接關係アル範圍ノ敵情ヲ搜索シ指揮連絡ニ任ズルトキハ友軍ノ狀態ヲ明カニスルト共ニ所要ニ應ジ地上部隊ノ連絡ヲ爲シ砲兵任務ニ服スルトキハ目標ノ搜索、射撃ノ準備及射撃ノ觀測ニ任ジ步兵ニ協同スルトキハ其ノ戰鬥經過ヲ明カニシ他兵種トノ連繫ニ協力シ戰鬥指導ヲ容易ナラシメ又戰車ニ協同スルトキハ戰車ノ爲目標ノ搜索、戰車ノ誘導、連絡等ニ任ズルモノトス

軍ニ屬スル偵察飛行隊師團ニ協力スル場合ニ於ケル行動ハ前項ニ準ズ時トシテ特ニ緊急ナル地上ノ目標ヲ攻撃スルコトアリ

第三十六 偵察飛行隊ノ外有リナル飛行部隊地上ノ作戰ニ參加スル場合ニ於テハ適時要點ニ其ノ威力ヲ集中發揮シ以テ地上部隊ノ戰鬥ニ直接協同シ或ハ敵空中勢力ヲ制壓シテ地上部隊ノ行動ヲ容易ナラシムルモノトス此ノ際地上部隊及飛行部隊相互ノ行動ハ爲シ得ル限リ緊密ナル協調ヲ保ツコト必要ナリ

特ニ飛行部隊地上部隊ノ戰鬥ニ直接協同スル場合ニ於テハ該正面ノ師團長ハ機ヲ失セズ飛行部隊指揮官ト連絡シテ的確ナル協定ヲ遂ゲ戰鬥ニ方リテハ關係各指揮官ハ手段ヲ盡クシテ空地ノ連絡ヲ保チ統合戰鬥力ヲ遺憾ナク發揮セザルベカラズ

第三十七 師團長ハ戰鬥ノ爲師團輜重ヲシテ軍需品特ニ彈藥及瓦斯防護資材ノ補給並ニ衛生ノ施設ニ遺憾ナカラシムルト共ニ戰鬥間兵站ノ推進ヲ考慮シ常ニ後方機關ノ充實及整理ヲ圖リ以テ各種戰況及神速且遠大ナル追撃ノ爲支障ナカラシムルヲ要ス

戰砲ノ協

同歩五、六

一歩戰砲隊

長會同

步戰砲協

定事項

戰闘間歩

軍需品ノ補給ニ方リテハ戰鬥ノ重點方面ヲ豐富ニシ其ノ戰鬥力ヲ最大限度ニ發揮セシムルノ著意特ニ緊要ナリ

第三十八 諸兵種特ニ歩戰砲ノ協同ハ戰鬥ノ目的ヲ達成スル爲極メテ緊要ナリ故ニ協同スベキ部隊ノ指揮官ハ戰鬥ノ當初ヨリ緊密ナル連絡ヲ保持シ戰鬥ノ進捗ニ伴ヒ益々之ヲ密接ナラシムルヲ要ス

歩兵ニ直接協同スベキ戰車及砲兵ノ指揮官ハ戰鬥開始前爲シ得ル限リ該步兵ノ指揮官ト會同シ勉メテ現地ニ就キ各知得セル敵情、地形ヲ通報シ戰鬥實行上必要ナル協定ヲ爲スチ要ス會同ノ爲砲兵ノ觀測所ヲ利用スルヲ便トスルコトアリ而シテ協定スベキ事項及其ノ精粗ハ戰況、部隊ノ大小、地形等ニ依リ差異アリト雖モ概ネ左ノ諸件ニ關シ之ヲ爲スモノトス

戰闘各期ニ於ケル歩兵ノ企圖及行動ニ即應スル爲戰車及砲兵戰鬥ノ要領戰車戰鬥加入ノ時機及方法、歩兵線超越法、其ノ行動ト砲兵射撃トノ協調要スレバ其ノ行動區域

砲兵ノ陣地變換、推進砲兵及歩兵ニ配屬スベキ砲兵ニ關スル事項

戰闘各期ニ於ケル指揮官及觀測所ノ行動、關係部隊相互ノ連絡法要スレバ地點ノ指示法

相互ノ援助及掩護等

前項ノ協定及通報事項ハ狀況之ヲ許ス限リ更ニ下級ノ關係指揮官ヲシテ此ノ趣旨ニ基キ協定ヲ遂ゲシムルコト緊要ナリ

第三十九 戰闘間歩戰砲ノ協同ヲ緊密ナラシムル爲歩兵ハ機ヲ失セズ敵情就

戰砲ノ協同

中重火器、砲兵等ノ位置及状態、對戰車障礙物ノ狀況、我が砲兵射撃ノ效果ノ事項ヲ通報シ戰車及砲兵モ亦自ラ情報ノ收集ニ勉メ必要ノ事項ヲ他ニ通報スルコト緊要ナリ狀況ニ依リ砲兵ハ觀測者ヲシテ戰車ニ同乗シ之ト行動ヲ共ニシ連絡及射撃觀測ニ任セシムルヲ有利トスルコトアリ
歩兵ハ戰車ニ難路通過其ノ他必要ナル場合ニ於テ援助ヲ與ヘ又砲兵ニ最良ナル陣地就中觀測所ヲ得シメ且其ノ陣地偵察及設備等ニ援助ヲ與フルヲ要ス又歩兵ハ近傍ニ在ル戰車及砲兵ヲ掩護スルノ義務アルモノトス
歩兵ニ直接協同スベキ砲兵ノ指揮官ハ歩兵ノ指揮官ト確實ナル連絡ヲ保持シ且機會ヲ得ル毎ニ會同スルニ勉メ協定ヲ補綴シ以テ歩砲ノ協同ニ遺憾ナキヲ期セザルベカラズ
砲兵ハ狀況之ヲ要スルトキハ猛烈ナル歩兵火ヲモ冒シ敵ニ近接シテ最大威力ヲ發揚シ歩兵ニ有形無形上至大ノ援助ヲ與フルコト緊要ナリ
第四十 隣接部隊ノ協同
相互ノ連絡ヲ保持スルコト緊要ナリ然レドモ連絡センガ爲自己ノ任務遂行ヲ躊躇スルガ如キハ本末ヲ誤ルモノニシテ嚴ニ之ヲ戒メザルベカラズ
第三章 戰闘ノ爲メノ警戒及連絡
第四十一 搜索ノ周到ナルハ戰闘ノ部署及指導ヲ適切ナラシムル爲極メテ緊要ナリ故ニ各級指揮官ハ機ヲ失セズ其ノ部署ヲ定メ且之ヲ組織的ナラシメ爾後一部隊ノ得タル情報ハ直チニ之ヲ必要ノ部隊ニ通報シテ其ノ搜索ヲ的確ナ

戰闘前及戰闘間ノ搜索

搜索ノ要領

警戒要領

ラシメ要スレバ特ニ搜索手段ヲ強化シ或ハ必要ノ援助ヲ與フル等絶エズ統一指導シ以テ搜索ノ完全ヲ期セザルベカラズ
第四十二 戰闘前ニ於ケル搜索ハ主トシテ戰闘部署ヲ適切ニシ且爾後ノ戰闘指導ヲ有利ナラシメンガ爲又戰闘間ニ於ケル搜索ハ戰闘前ノ搜索ニ引續キ主トシテ各部隊ノ戰闘實行及上級指揮官ノ爾後ノ戰闘指導ニ必要ナル資料ヲ得ンガ爲實施スルモノトス而シテ戰闘ハ敵ヲシテ兵力、配置時トシテ企圖ヲモ暴露セシムルガ故ニ常ニ深甚ノ注意ヲ以テ之ガ候察ニ勉メザルベカラズ
第四十三 搜索ハ第一部ニ示ス要領ニ準ジ之ヲ實施スルモノニシテ指揮官ノ職域及時期ニ應ジ適宜取捨スベキモノナルモ戰場ニ於テハ特ニ威力ヲ用フルヲ要スルコト少カラズ而シテ情報ハ戰闘ノ經過ニ伴ヒ益々之ヲ詳細的確ナラシムルニ勉メ特ニ狀況ノ變化ニ對シ細心ノ注意ヲ拂ヒ之ガ報告及通報ノ速達ヲ圖ルコト緊要ナリ
夜間及薄暮ニ在リテハ敵ノ兵力移動、配備變更其ノ他新企圖ニ關シ著意スルコト特ニ緊要ナリ
第四十四 戰闘間敵ノ搜索ヲ妨グ以テ我が企圖及行動ヲ秘匿スルト共ニ豫期セザル敵ノ攻撃ヲ豫防スル爲各級指揮官ハ常ニ地上及上空ニ對シ警戒ノ處置ヲ忽セニスベカラズ然レドモ警戒ノ爲使用スル兵力ハ之ヲ最小限度ニ制限シ且決戦ノ機迫ルカ或ハ戰闘遂行上切要止ムヲ得ザルニ至レバ警戒ニ使用セル部隊モ之ヲ戰闘ニ使用スルヲ要スルモノトス
軍隊疲勞セル場合ニ於テハ特ニ警戒心ニ弛緩ヲ生セシメザルコト緊要ナリ

